

平成27年度 事業報告書

| | |
|------------------------------|-----|
| はじめに | P 3 |
| I. 法人の概要 | P 4 |
| 1. 学校法人の沿革（概要）等 | P 4 |
| 2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念 | P 4 |
| 3. 寄附行為に定める事業内容 | P 5 |
| 4. 所管官庁に関する事項 | P 5 |
| 5. 設置する学校・学部・学科等 | P 5 |
| 6. 理事・監事・評議員（第22期）、顧問 | P 6 |
| 7. 学園組織 | P 7 |
| 8. 専任教職員の概要 | P 8 |
| 9. 学外施設 | P 9 |
| II. 事業の概要 | P10 |
| 1. 当該年度の主な事業の概要 | P10 |
| 2. 教育研究の概要 | P12 |
| ・女子大学 | P12 |
| (1) 女子大学の概要 | P12 |
| (2) 女子大学の実績 | P19 |
| ・中学校高等学校 | P47 |
| (1) 中学校高等学校の実績 | P47 |
| 3. 管理運営の概要 | P63 |
| III. 財務の概要 | P76 |
| (1) 決算の概要 | P76 |
| (2) 経年比較 | P78 |
| (3) 主な財務比率 | P81 |
| (4) その他 | P81 |
| (5) 計算書類 | P81 |
| IV. 収益事業の概要 | P91 |
| (1) 概要 | P91 |
| (2) 貸借対照表について | P92 |
| (3) 損益計算書について | P92 |
| (4) 経年比較 | P93 |
| 監査報告書 | P94 |

はじめに

世界情勢が流動化し混迷を深めるなか、18歳人口の急減にさらされる私学の今後について、日本私立学校振興・共済事業団が試算を示しています。2040年の18歳人口は82万人、大学進学率を50%とすると入学者数は41万人、国立大学入学者10万人、公立大学入学者3万人とすると、私立大学入学者は28万人となります。私立の大規模大学上位70大学の入学定員（1500名以上）は25万人なので、これに28万人は、ほぼ収まってしまう結果となり、試算とはいえ、残る500以上の私立大学には、極めて厳しい運命が待ち構えている、ということとなります。

現在、学園は、大学にあっては、新学部開設後の既存の教育課程の再構築と文京キャンパスの再整備、中学高校にあっては、難関大学進学競争に勝ち残る実力校として、生徒の力を最大限に引き伸ばせる教育体制への刷新に取り組んでいます。

しかし、学園における平成28年度入試は、大学入試にあっては厳しい入学者確保の状況が続き、一方、中学入試にあっては、平成27年度に続き、平成28年度入試においても募集定員を20名下回る定員割れを起こしたところであります。

学園の帰属収支差額（基本金組入前当年度収支差額）は、初めてマイナスを示した平成26年度予算に続いて、平成27年度予算でも、入学者減に伴う学納金収入減により、△267,417千円となりました。また、繰越支払資金も60億円にまで下がり、収支尻が細りつつあります。

このような学園の置かれた現状に正面から向き合うため、理事長は、平成27年度の状況を勘案し、平成28年2月9日の経営会議において、平成28年度予算については、当初予算編成を実際に近い数字を用いて改めて編成し直すように指示し、学納金収入の算定基礎となる生徒・学生数については、中学1年252名（募集定員270名ではなく、2月9日経営会議の校長報告の入学予定者数。）、大学1年970名（学則定員×1.15倍ではなく、学則定員×1.0倍。）とすること、また、平成28年度の予算シーリングについては、ゼロシーリングから△1%シーリングに改める、こととなりました。

このような厳しい競争的環境を乗り越え、将来に向けて学園が「選ばれる私学」の伝統を守りつつ変革を遂げて行くためには、多様で質の高い学修ニーズや進路希望に応え、満足度の高い学修成果が提供できる「常に改革し前に動いている跡見」として、内外に通じる女子教育の新しい地平を、他に先駆けて開拓していかなければなりません。このためには、財務基盤の自立性をより強固なものにするとともに、教職員の団結と間断なき改革により、他にはない「優れた教育」の実践を一段と前に進めていかなければなりません。

学園は、幕末にルーツをもち、近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の革新の伝統を継ぐ教育機関として、高い財務規律と女子教育に対する深い使命感に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる強固な財務基盤を堅持し、些かの不安も生じることのない、揺るぎない学校経営に取り組んでいく所存であります。

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年 跡見学校開校
- 大正2年 財団法人跡見女学校となる
- 昭和19年 跡見女学校を廃し、跡見高等女学校となる
- 昭和21年 跡見高等女学校専攻科設置（文科、家政科）
- 昭和22年 跡見学園中学部設置
- 昭和23年 跡見学園高等学校設置
- 昭和24年 跡見学園高等学校専攻科設置
- 昭和25年 跡見学園短期大学（文科、家政科〈家政課程、生活芸術課程〉修業年限2年）を設置
跡見学園中学部を跡見学園中学校へ名称変更
- 昭和26年 学校法人跡見学園となる
- 昭和27年 跡見学園短期大学、生活芸術科増設
- 昭和40年 跡見学園女子大学（文学部・国文学科、美学美術史学科）を設置
- 昭和42年 跡見学園女子大学文学部英文学科増設
- 昭和49年 跡見学園女子大学文学部文化学科増設
- 昭和57年 跡見学園短期大学文科英文専攻課程増設（文科・国文専攻、英文専攻となる）
- 昭和61年 跡見学園短期大学文科英文専攻臨時的定員増
- 平成3年 跡見学園女子大学文学部臨時的定員増
- 平成7年 跡見学園短期大学を跡見学園女子大学短期大学部に名称変更
- 平成12年 跡見学園女子大学文学部・跡見学園女子大学短期大学部英文専攻、臨時的定員増延長
- 平成14年 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科を改組して人文学科を設置、臨床心理学科を増設、マネジメント学部マネジメント学科を新設
跡見学園女子大学短期大学部文科、家政科、生活芸術科の入学定員を変更
- 平成16年 跡見学園女子大学短期大学部文科を言語文化科へ、国文専攻を日本語専攻へ、英文専攻を英語専攻へそれぞれ名称変更し、言語文化科及び家政科の入学定員を変更
- 平成17年 跡見学園女子大学大学院（人文科学研究科・日本文化専攻、臨床心理学専攻）を設置
- 平成18年 跡見学園女子大学に文学部コミュニケーション文化学科、マネジメント学部生活環境マネジメント学科、大学院マネジメント研究科（マネジメント専攻）を増設、文学部美学美術史学科を廃止
- 平成19年 跡見学園女子大学文学部国文学科、英文学科、文化学科を廃止
跡見学園女子大学短期大学部を廃止
- 平成22年 跡見学園女子大学に文学部現代文化表現学科、マネジメント学部観光マネジメント学科を増設
- 平成23年 跡見学園女子大学の本部を文京キャンパスへ移転
- 平成27年 跡見学園女子大学に観光コミュニティ学部（観光デザイン学科、コミュニティデザイン学科）を新設

2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念

大正二年十一月二十一日制定
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前

身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来經營して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局私学部
東京都生活文化局私学部

5. 設置する学校・学部・学科等

平成27年 5月1日現在

| 学校名 (所在地) | 学部・学科等名 | 開設年度 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 |
|--|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 年度 | 人 | 人 | 人 |
| 跡見学園女子大学 (埼玉県新座市中野一丁目9番6号) (東京都文京区大塚一丁目5番2号) | 大学院 | | | | |
| | 人文科学研究科 | 平成17年 | 8 | 16 | 3 |
| | 日本文化専攻 臨床心理学専攻 | 平成17年 | 12 | 24 | 29 |
| | マネジメント研究科 マネジメント専攻 | 平成18年 | 10 | 25 | 6 |
| | 跡見学園女子大学大学院 合計 | | 30 | 65 | 38 |
| 文京キャンパス (本部) (3・4年次) (東京都文京区大塚一丁目5番2号) 新座キャンパス (1・2年次) (埼玉県新座市中野一丁目9番6号) | 文学部 | | | | |
| | 人文学科 | 平成14年 | 160 | 700 | 765 |
| | 現代文化表現学科 | 平成22年 | 120 | 390 | 467 |
| | コミュニケーション文化学科 | 平成18年 | 110 | 470 | 452 |
| | 臨床心理学科 | 平成14年 | 120 | 480 | 514 |
| | マネジメント学部 | | | | |
| | マネジメント学科 | 平成14年 | 180 | 810 | 912 |
| | 観光マネジメント学科 | 平成22年 | 0 | 270 | 335 |
| | 生活環境マネジメント学科 | 平成18年 | 80 | 260 | 288 |
| | 観光コミュニティ学部 | | | | |
| 観光デザイン学科 | 平成27年 | 120 | 120 | 148 | |
| コミュニティデザイン学科 | 平成27年 | 80 | 80 | 20 | |
| | 跡見学園女子大学 合計 | | 970 | 3,580 | 3,901 |
| 跡見学園高等学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号) | 全日制課程普通科 | 昭和23年 | 300 | 900 | 785 |
| 跡見学園中学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号) | | 昭和22年 | 300 | 900 | 810 |
| 跡見学園 合計 | | | 1,600 | 5,445 | 5,534 |

※中学校の募集定員は270名

6. 理事・監事・評議員（第22期）、顧問

(1) 理事 13名

平成27年 5月 1日現在

| 氏名 | 区分・学園との関係 | 氏名 | 区分・学園との関係 |
|--------|-------------------------------------|---------|--------------|
| 山崎 一 穎 | 理事長 学識経験者 | 山下 陽 枝 | 評議員理事（卒業生） |
| 嶋田 英 誠 | 職務上・中高校長 常務理事（教学担当） | 大塚 和 子 | 評議員理事（卒業生） |
| 山田 徹 雄 | 職務上・女子大学長 常務理事（財務担当） | 見米 孝 尚 | 評議員理事（保証人） |
| 大塚 博 | 職務上・女子大副学長 | 佐藤 正 昭 | 評議員理事（学識経験者） |
| 住川 明 子 | 職務上・中高副校長 | 日下部 禧代子 | 評議員理事（学識経験者） |
| 堀 雅 裕 | 職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事（総務・人事担当） | 平木 典 子 | 学識経験者 |
| 小仲 信 孝 | 評議員理事（教職員） | | |

(2) 監事 2名

平成27年 5月 1日現在

| 氏名 | 区分・学園との関係 | 氏名 | 区分・学園との関係 |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 金井塚 清 | 学識経験者 | 伊澤 辰 雄 | 学識経験者 |

(3) 評議員 36名

平成27年 5月 1日現在

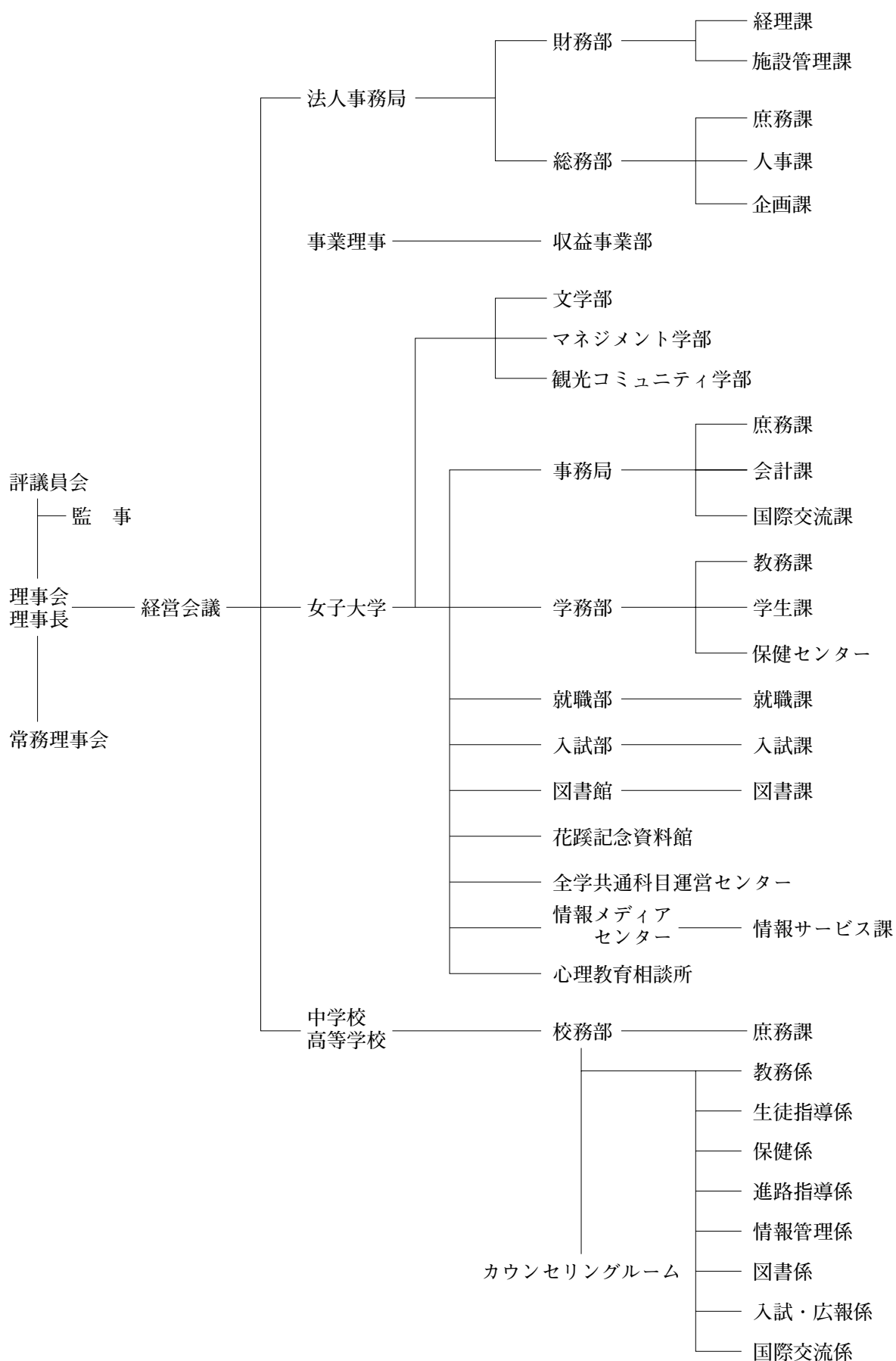
| 氏名 | 区分・学園との関係 | 氏名 | 区分・学園との関係 |
|--------|----------------|---------|------------|
| 小川 功 | 教職員（大学） | 山田 徹 雄 | 職務上・女子大学長 |
| 小仲 信 孝 | 教職員（大学） | 大塚 博 | 職務上・女子大副学長 |
| 山口 豊 一 | 教職員（大学） | 嶋田 英 誠 | 職務上・中高校長 |
| 山澤 成 康 | 教職員（大学） | 住川 明 子 | 職務上・中高副校長 |
| 伊東 利 博 | 教職員（中高） | 堀 雅 裕 | 職務上・法人事務局長 |
| 内山 康 和 | 教職員（大学） | 五十嵐 勝 紀 | 保証人（大学） |
| 詫磨 学 | 教職員（法人） | 大関 勝 浩 | 保証人（大学） |
| 岡田 章 子 | 卒業生（泉会） | 河野 政 美 | 保証人（大学） |
| 川合 智 子 | 卒業生（泉会） | 橋本 禎 介 | 保証人（大学） |
| 松浦 仁 子 | 卒業生（泉会） | 吉田 修 一 | 保証人（大学） |
| 深井 えり子 | 卒業生（泉会） | 上村 明 | 保証人（中高） |
| 山下 陽 枝 | 卒業生（校友会長・桃李の会） | 川崎 聖 朋 | 保証人（中高） |
| 萬葉 洋 子 | 卒業生（桃李の会） | 見米 孝 尚 | 保証人（中高） |
| 田中 恵美子 | 卒業生（桃李の会） | 日下部 禧代子 | 学識経験者 |
| 唐木 フ ク | 卒業生（桃李の会） | 佐藤 正 昭 | 学識経験者 |
| 大塚 和 子 | 卒業生（一紫会） | 今野 雅 裕 | 学識経験者 |
| 藤田 理恵子 | 卒業生（一紫会） | 宮本 文 昭 | 学識経験者 |
| 池田 文 子 | 卒業生（一紫会） | | |
| 羽吹 綾 子 | 卒業生（一紫会） | | |

(4) 顧問 1名

平成27年 5月 1日現在

| 氏名 | 区分・学園との関係 | 備考 |
|--------|-----------|------|
| 跡見 純 弘 | 学識経験者 | 前理事長 |

7. 学 園 組 織 (平成27年 4 月 1 日現在)



8. 専任教職員の概要 (平成27年5月1日現在)

(1) 教職員数等

(単位：名)

| 研究科等名 | 専任 | | | | | 非常勤 |
|-------------------------|----|-----|----|----|----|-----|
| | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | |
| 大学院 | | | | | | |
| 人文科学研究科 (学部専任教員15名兼任) | | | | | | |
| 日本文化専攻 | 6 | 1 | 0 | 0 | 7 | 5 |
| 臨床心理学専攻 | 7 | 1 | 0 | 0 | 8 | |
| マネジメント研究科 (学部専任教員12名兼任) | | | | | | |
| マネジメント専攻 | 11 | 1 | 0 | 0 | 12 | 1 |
| 跡見学園女子大学大学院 合計 | 24 | 3 | 0 | 0 | 27 | 6 |

| 学部・学科等名 | 専任 | | | | | 非常勤 |
|---------------|----|-----|----|----|-----|-----|
| | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | |
| 大学 | | | | | | |
| 文学部 | | | | | | |
| 人文学科 | 17 | 6 | 0 | 3 | 26 | 114 |
| 現代文化表現学科 | 5 | 4 | 0 | 1 | 10 | 15 |
| コミュニケーション文化学科 | 8 | 2 | 0 | 1 | 11 | 26 |
| 臨床心理学科 | 9 | 2 | 0 | 0 | 11 | 30 |
| マネジメント学部 | | | | | | |
| マネジメント学科 | 9 | 5 | 0 | 3 | 17 | 37 |
| 観光マネジメント学科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 生活環境マネジメント学科 | 5 | 2 | 0 | 1 | 8 | 23 |
| 観光コミュニティ学部 | | | | | | |
| 観光デザイン学科 | 7 | 3 | 0 | 0 | 10 | 8 |
| コミュニティデザイン学科 | 4 | 5 | 0 | 0 | 9 | 4 |
| 跡見学園女子大学 合計 | 65 | 29 | 0 | 9 | 103 | 257 |

| 中学校高等学校 | 専任 | | | | | 非常勤 |
|----------------|----|-----|----|----|----|-----|
| | 校長 | 副校長 | 教諭 | 講師 | 計 | |
| 高等学校 | | | | | | |
| 中学校 | — | 0 | 32 | 0 | 32 | 27 |
| 中学校 | | 1 | 35 | 0 | 36 | 28 |
| 跡見学園中学校高等学校 合計 | — | 1 | 67 | 0 | 68 | 55 |

※校長は役員なので含めず

| 事務・技術・用務職員 | 専任 | | | 合計 | アルバイト 契約等 |
|--------------|------|------|------|-----|--------------|
| | 事務職員 | 技術職員 | 用務職員 | | |
| 法人事務局 (含事業部) | 19 | 0 | 1 | 20 | 3 |
| 女子大学 | 70 | 0 | 2 | 72 | 57 |
| 中学校高等学校 | 8 | 0 | 0 | 8 | 29 |
| 跡見学園 合計 | 97 | 0 | 3 | 100 | 89 |

以上 専任教職員 271名
 その他 407名
 合計 678名

9. 学 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 跡見学園女子大学専用寮

住 所 〒112-0012 東京都文京区大塚2-4-10

電 話 03-5981-6461

収容人数 94名

設 備 全室個室（洋室）

パソコンデスク、チェスト、書棚、ベッド、クローゼット、シューズBOX、シャワー付トイレ、シャンプードレッサー、2ドア冷蔵庫、エアコン、IP電話、インターネット接続回線等完備

パブリックスペース

ダイニング&多目的スペース、パブリックバス、プライベートシャワー、ミストサウナ、リラクゼーション&パウダールーム、ランドリー、ピアノルーム、コミュニティスペース等設置

食 事 朝食・夕食

※新座寮（埼玉県新座市野火止五丁目17番17号）は平成27年3月31日をもって閉寮

(3) 菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）

住 所 〒113-0033 東京都文京区本郷5-9-4

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業の概要

平成27年度実績の主な概要は、次のとおりである。

<法人関係>

○次年度予算編成について

平成28年度予算編成は、平成28年度入試の状況を勘案し、学生生徒等納付金収入の算出の基礎となる学生生徒数について、女子大学は新入生数を学則定員数、在学生数は平成28年2月1日現在の在学生数を、中学高等学校は平成28年2月9日現在の新入生数、在校生数は平成28年2月1日現在の在校生数を、それぞれ算出基礎数とし、学生生徒数の実態に合わせた編成を行うこととした。これに伴い、女子大学及び中学高等学校には前年度予算に対しマイナス1%シーリングによる予算編成を改めて依頼した。

○監事及び副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更の認可について

平成27年7月21日の理事会・評議員会で承認され、8月4日付で行った監事及び副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更の認可申請について、9月11日付にて、文部科学大臣の認可(27受文科高第1091号)を得た。今回、特に留意事項が付されることはなかった。

○役員の追加選任について

大学運営におけるガバナンス改革が進められ、強い権限が付与されることとなる学長の業務遂行状況について、大学を設置する学校法人として、監事が教学面についても実効的に監査を行うために教学監査を担う監事1名を、併行して、その最高意思決定機関である理事会の機能強化を図り、学園運営に多様な意見を採り入れるため、外部から学識経験者理事1名を、それぞれ平成28年3月22日の理事会で追加選任した。

○コンプライアンス関係規程の整備について

学園の設置機関における内部牽制を担保するとともに、公益を確保し社会が求める監査水準に適った監事監査にも資するため、その基盤となる公益通報及び内部監査の体制を整備する必要の観点から、「学校法人跡見学園公益通報に関する規程」及び「学校法人跡見学園内部監査規程」を新たに制定した。

○ホームカミングデーの実施について

学園創立140周年の記念事業として、泉会及び桃李の会関係は平成27年10月25日(日)に、一紫会関係は10月31日(土)に、それぞれ卒業生を学園(一紫会関係は新座キャンパス)にお招きしてホームカミングデーを実施した。当日の来場者総数は1529名(泉会関係514名、桃李の会関係569名及び一紫会関係446名)で、非常に好評であった。

○跡見純弘氏からの寄贈・寄付について

跡見純弘氏(学園顧問・前理事長)は、同氏が自宅に保管されてきた花蹊先生及び李子先生関係の遺品(花蹊及び李子位牌、過去帳、花蹊人形のほか14点)を、平成28年2月18日及び2月25日の2回に分けて学園に寄贈された。また、遺品寄贈に当たり、供養に必要な費用に充てるため、学園に対して2月22日付で2百万円を寄付された。

○有価証券の活用について

学園隣接地を有する金融機関との良好な関係を継続するために、その傘下にある証券会社を介して、次のような有価証券を新たに購入した。

- ①SMBC三井住友FGの個別株にリンクした他社株転換債(EB債)(1億円 期間5年 クーポン2.0%)を平成27年4月14日に購入。
- ②三菱商事の個別株にリンクした早期償還条項付他社株転換債(2億円 期間5年 クーポン2.0%)を平成27年4月23日に購入。

- ③日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債（1億5千万円 期間5年 クーポン1.3%）を平成27年6月26日に購入。
- ④日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債（1億5千万円 期間5年 クーポン1.3%）を平成27年7月13日に購入。
- ⑤SMBC三井住友FGの個別株にリンクした早期償還条項付他社株転換債（EB債）（1億円 期間5年 クーポン2.1%）を平成27年7月21日に購入。
- ⑥三菱商事の個別株にリンクした早期償還条項付他社株転換債（2億円 期間5年 クーポン1.9%）を平成27年8月6日に購入。

<大学関係>

○大学基準協会の認証評価結果について

このたび、大学基準協会から、大学の自己点検評価及び平成27年10月5日・6日に行われた実地調査を踏まえ、跡見学園女子大学に対する大学評価（認証評価）結果について、次のとおり平成28年3月11日付で通知（大基委大評第138号）があった。

評価の結果 貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。

認定期間 2023（平成35）年3月31日まで。

○大学創立50周年記念式典・祝賀会の実施について

平成27年10月24日（土）に大学創立50周年記念式典・祝賀会をブロッサムホール及び文京3号館で実施した。来場者数は265名であった。式典では、佐藤禎一氏（文部科学省顧問）、清家篤氏（日本私立大学連盟会長）より心温まる祝辞を頂戴した。祝賀会では、大学50年を迎える写真のほか、学園創立140周年を記念して購入した森鷗外の『舞姫』自筆原稿や旧伊勢屋質店のジオラマを展示・公開した。この式典において、一紫会から3千万円のご寄付を頂いた。

○『跡見学園女子大学五十年史』の発行について

大学創立50周年記念式典・祝賀会に合わせて、『跡見学園女子大学五十年史』及びそのDVD版が平成27年10月24日に発行された。通史を基本としつつ、大学の歴史に参加した方々の姿が読者に届くような臨場感にあふれる作りとなっている。

○「旧伊勢屋質店」の文京区指定文化財への移行について

平成28年1月25日に平成27年度第4回文京区文化財保護審議会が開催され、「旧伊勢屋質店」（菊坂跡見塾）を、歴史的又は学術的価値が高い建物として、文京区指定有形文化財（建造物）とすべき旨の答申がなされ、文京区教育委員会より「旧伊勢屋質店」を文京区指定文化財に指定する通知（同意確認）があった。なお、この指定に伴い、所有者からの申告に基づく登録有形文化財の取扱いについては取り消しとなる。

○跡見ギャラリーの賃借期間延長について

平成25年2月28日から賃借している跡見ギャラリー（茗荷谷交通ビル）の賃貸借契約期間については、平成28年3月31日をもって期間満了となるところであったが、東京都交通局の旧大塚車庫の敷地の土壌汚染調査及び埋蔵文化財調査の進捗状況等を勘案し、賃貸借期間が平成28年7月31日まで4ヶ月延長された。

<中学高校関係>

○次期校長・副校長の選任について

平成28年3月31日付で任期満了となる嶋田英誠校長の後任校長候補者について、平成27年11月24日（火）の経営会議で跡見学園女子大学文学部人文学科教授（教職課程主任）の杉本昌裕氏が、また同じく住川明子副校長の後任副校長候補者についても、平成27年12月1日（火）の経営会議で和田俊彦教諭がそれぞれ推薦され、平成27年12月8日の理事会で選任（副校長は報告）された。

○中学高校の「跡見新ロマン派宣言。」について

中学高校は、新しい教育の創造をめざしたグランドデザインによる改革を学園内外に強く印象付けるために、未来を切り拓き、世界に羽ばたく浪漫（ロマン）ある人材を養成する新しいプロジェクトであるグランドデザインを先導する「跡見新ロマン派宣言。」を制定した。

○中学高校における新制服の導入について

中学高校は、平成28年度から新制服を導入することとなった。中学生は平成28年度入学者から、高校生は平成29年度入学者からとし、平成31年度には全校生徒が新制服を着用する。デザイナーは日本の「伝統美」と「ものづくり」を大切にする廣川玉枝さん。「過去・現在・未来をつなぐ」21世紀の跡見学園にフィットする新制服は、跡見花咲から始まり、現代に至るまで築いてきた跡見学園の歴史と伝統及び日本の美を重んじるデザインとなっている。

○中学校入試制度の変更について

平成28年度中学校入学者よりKAKEI INDEPENDENT CLASSとATOMI PRINCIPLED CLASSの2つのクラスを設定するにあたり、従来の2月1・2・3日の3日間にわたり3回実施してきた中学校入学試験（一般入試）において、クラスごとの募集定員を設定することに加えて、2月1日午後に「特別入試 I 選考」、2月2日午後に「特別入試 P 選考」を新たに実施することとした。

○中学校の特待生制度について

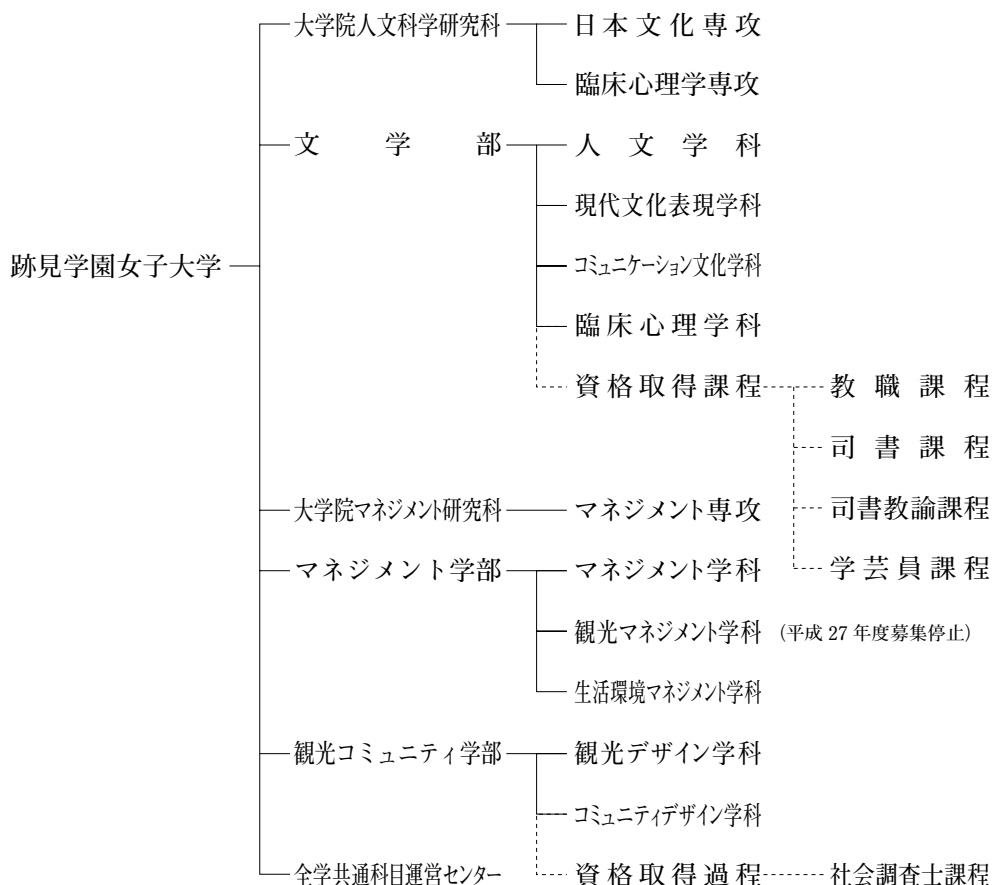
平成28年度中学校入試から特待生制度を導入した。この制度は、優秀な入試成績で入学した中学1年生について授業料の全額免除又は半額免除を行うもので、完成年度となる平成30年度においては、全額免除が中学各学年4名、中学1年のみ適用の半額免除が5名となる予定である。

2. 教育研究の概要

・女子大学

(1) 女子大学の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報（学部、学科、課程等の名称）



(2) 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報

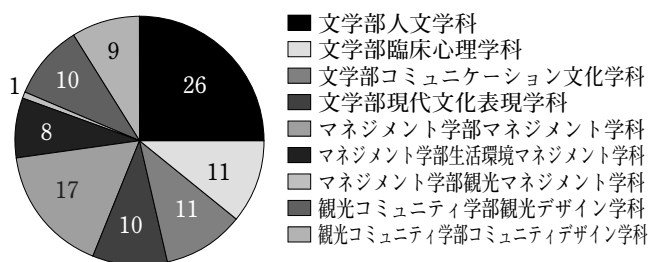
| 大学等 | 学部・研究科等 | 学科 | 教員数 |
|------------|--------------|---------------|-----|
| 学 部 | 文学部 | 人文学科 | 26名 |
| | | 臨床心理学科 | 11名 |
| | | コミュニケーション文化学科 | 11名 |
| | | 現代文化表現学科 | 10名 |
| | マネジメント学部 | マネジメント学科 | 17名 |
| | | 生活環境マネジメント学科 | 8名 |
| | | 観光マネジメント学科 | 1名 |
| 観光コミュニティ学部 | 観光デザイン学科 | 10名 | |
| | コミュニティデザイン学科 | 9名 | |
| 大学院 | 人文科学研究科 | | 15名 |
| | マネジメント研究科 | | 12名 |

【教員の保有学位または職務上の実績等】
 博士後期課程修了または単位取得満期退学者
 文学部38名、マネジメント学部17名、観光コミュニティ学部13名、人文科学研究科13名、マネジメント研究科5名

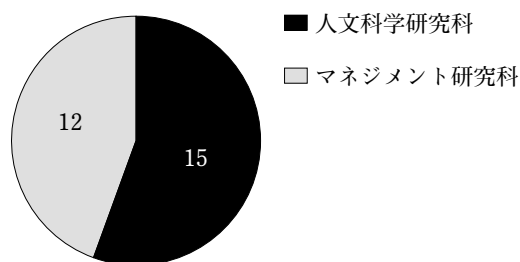
教員に占める博士課程修了または単位取得満期退学者の比率

| 大学等 | 学部・研究科等 | 博士課程修了または 単位取得満期退学者 | そうでない者 | 教員数 |
|-----|------------|------------------------|--------|-----|
| 学 部 | 文学部 | 38 | 20 | 58 |
| | マネジメント学部 | 17 | 9 | 26 |
| | 観光コミュニティ学部 | 13 | 6 | 19 |
| 大学院 | 人文科学研究科 | 13 | 2 | 15 |
| | マネジメント研究科 | 5 | 7 | 12 |

学科別教員数（学部）



研究科別教員数（大学院）



(3) 学生に関する情報

【入学に関する基本的な方針】
 跡見学園女子大学は、大学教育に耐え得る基礎的な学力を持ち、物事に積極的に取り組むチャレンジ精神によって、自律的かつ自立的な社会人を目標とする受験生を求める。入学後、幅広い視野を身につけ、学問を通じて問題を自ら設定し、情報を収集・分析して企画・立案できるスキルを修得するためには、本学の教育課程に対する理解と本学の教育課程を修得しようとする意欲が求められる。

| 学部・研究科 | 入学者数 | 収容定員 | 在学者数 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 |
|------------|------|--------|--------|------|------|------|
| 文学部 | 547名 | 2,040名 | 2,198名 | 527名 | 21名 | 423名 |
| マネジメント学部 | 276名 | 1,340名 | 1,535名 | 381名 | 2名 | 353名 |
| 観光コミュニティ学部 | 168名 | 200名 | 168名 | — | — | — |
| 人文科学研究科 | 15名 | 40名 | 32名 | 17名 | 0名 | 14名 |
| マネジメント研究科 | 1名 | 25名 | 6名 | 5名 | 0名 | 5名 |

* 在学者数は平成27年 5月 1日現在

(4) 教育課程に関する情報

別紙をご覧ください。

(別紙省略)

別紙項目

ー平成22年度教育課程

- 1) 全学共通科目 (前期課程)
- 2) 全学共通科目 (後期課程)
- 3) 人文学科専門科目 (前期課程)
- 4) 人文学科専門科目 (後期課程)
- 5) 現代文化表現学科専門科目 (前期課程)
- 6) 現代文化表現学科専門科目 (後期課程)
- 7) コミュニケーション文化学科専門科目 (前期課程)
- 8) コミュニケーション文化学科専門科目 (後期課程)
- 9) 臨床心理学科専門科目 (前期課程)
- 10) 臨床心理学科専門科目 (後期課程)
- 11) マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 12) マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 13) 観光マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 14) 観光マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 15) 生活環境マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 16) 生活環境マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 17) 人文科学研究科日本文化専攻
- 18) 人文科学研究科臨床心理学専攻
- 19) マネジメント研究科マネジメント専攻

別紙項目

ー平成27年度教育課程

- 1) 全学共通科目 (前期課程)
- 2) 全学共通科目 (後期課程)
- 3) 人文学科専門科目 (前期課程)
- 4) 人文学科専門科目 (後期課程)
- 5) 現代文化表現学科専門科目 (前期課程)
- 6) 現代文化表現学科専門科目 (後期課程)
- 7) コミュニケーション文化学科専門科目 (前期課程)
- 8) コミュニケーション文化学科専門科目 (後期課程)
- 9) 臨床心理学科専門科目 (前期課程)
- 10) 臨床心理学科専門科目 (後期課程)
- 11) マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 12) マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 13) 生活環境マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 14) 生活環境マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 15) 観光デザイン学科専門科目 (前期課程)
- 16) 観光デザイン学科専門科目 (後期課程)
- 17) コミュニティデザイン学科専門科目 (前期課程)

- 18) コミュニティデザイン学科専門科目（後期課程）
 19) 人文科学研究科日本文化専攻
 20) 人文科学研究科臨床心理学専攻
 21) マネジメント研究科マネジメント専攻

(5) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

(平成22年度教育課程)

| 学部・研究科等 | 学科 | 修業 年限 | 必要修得 単位数 | 科目区分ごとの | | 取得可能な学位及び 専攻名称 |
|-----------|---------------|----------|-------------|---------|-----|-------------------|
| | | | | 必修 | 選択 | |
| 文学部 | 人文学科 | 4 | 124 | 23 | 101 | 学士（人文学） |
| | 現代文化表現学科 | 4 | 124 | 21 | 103 | 学士（文化表現学） |
| | コミュニケーション文化学科 | 4 | 124 | 30 | 94 | 学士（コミュニケーション文化学） |
| | 臨床心理学科 | 4 | 124 | 33 | 91 | 学士（臨床心理学） |
| マネジメント学部 | マネジメント学科 | 4 | 124 | 25 | 99 | 学士（マネジメント学） |
| | 観光マネジメント学科 | 4 | 124 | 23 | 105 | 学士（マネジメント学） |
| | 生活環境マネジメント学科 | 4 | 124 | 23 | 105 | 学士（マネジメント学） |
| 人文科学研究科 | 日本文化専攻 | 2 | 30 | 14 | 16 | 修士（人文学） |
| | 臨床心理学専攻 | 2 | 30 | 22 | 8 | 修士（臨床心理学） |
| マネジメント研究科 | マネジメント専攻 | 2 | 30 | 6 | 24 | 修士（マネジメント学） |

(平成27年度教育課程)

| 学部・研究科等 | 学科 | 修業 年限 | 必要修得 単位数 | 科目区分ごとの | | 取得可能な学位及び 専攻名称 |
|------------|---------------|----------|-------------|---------|-----|-------------------|
| | | | | 必修 | 選択 | |
| 文学部 | 人文学科 | 4 | 124 | 13 | 111 | 学士（人文学） |
| | 現代文化表現学科 | 4 | 124 | 17 | 107 | 学士（文化表現学） |
| | コミュニケーション文化学科 | 4 | 124 | 15 | 109 | 学士（コミュニケーション文化学） |
| | 臨床心理学科 | 4 | 124 | 25 | 99 | 学士（臨床心理学） |
| マネジメント学部 | マネジメント学科 | 4 | 124 | 19 | 105 | 学士（マネジメント学） |
| | 生活環境マネジメント学科 | 4 | 124 | 21 | 103 | 学士（マネジメント学） |
| 観光コミュニティ学部 | 観光デザイン学科 | 4 | 124 | 21 | 103 | 学士（観光学） |
| | コミュニティデザイン学科 | 4 | 124 | 21 | 103 | 学士（社会学） |
| 人文科学研究科 | 日本文化専攻 | 2 | 30 | 14 | 16 | 修士（人文学） |
| | 臨床心理学専攻 | 2 | 30 | 22 | 8 | 修士（臨床心理学） |
| マネジメント研究科 | マネジメント専攻 | 2 | 30 | 6 | 24 | 修士（マネジメント学） |

(6) 学修環境に関する情報

| 大学等 | キャンパス | 学部・研究科 | 所在地 | 主な交通手段 |
|--|---------|--|--|--|
| 大 学 | 文京キャンパス | 文学部 (3,4年) マネジメント学部 (3,4年) 大学院マネジメント研究科 | 〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2 TEL.03-3941-7420 | 丸ノ内線 茗荷谷駅 より徒歩2分 有楽町線 護国寺駅 より徒歩8分 |
| | | 【キャンパス概要】 1号館(茗荷谷図書館、視聴覚ホール、学生食堂)、2号館(Atomi Blossom Hall)、3号館 | | |
| | 新座キャンパス | 文学部 (1,2年) マネジメント学部 (1,2年) 観光コミュニティ学部 (1年) 大学院人文科学研究科 | 〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL.048-478-3333 | JR武蔵野線 新座駅 より大学バス7分 東武東上線 志木駅 より西武バス15分 |
| 【キャンパス概要】 1号館、2号館(花蹊記念資料館、視聴覚教室)、3号館、4号館、花蹊メモリアルホール、新座図書館、グリーンホール(学生食堂、ラウンジ)、体育館、グラウンド、心理教育相談所 | | | | |
| <p>【授業】 文京キャンパスにおいては、学部の後期課程科目の全学共通科目及び専門科目並びにマネジメント研究科の専門科目の授業が行われている。新座キャンパスにおいては、学部の前期課程の全学共通科目及び専門科目並びに人文科学研究科の専門科目の授業が行われている。授業期間は、文京、新座両キャンパスとも、春学期(4月から9月)及び秋学期(10月から3月)の2期に分かれている。</p> <p>【課外活動の状況】</p> <p>クラブ・サークル活動</p> <p>体育系) 競技ダンス部、体育会ラクロス部、ダンス部A☆fig、軟式野球部、ハイキング部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部</p> <p>文化系) 跡見エコキャンパス研究会、跡見ウィンドオーケストラ部、跡見ニューツーリズム研究会、映像映画愛好部、演劇部、合唱団、華道部、軽音楽部、広告研究部、紅茶クラブ、サイコロ倶楽部、茶道部、写真部、書道部、心理学検定部、美術部、文学研究部、放送文化研究部、ボランティアサークルさくら、漫画研究部、マンドリンクラブ、焼き物研究部</p> <p>その他活動) 学生会本部、紫祭実行委員会、跡見学園女子大学防犯リーダー、母子救護所ボランティア、図書館ボランティア</p> | | | | |

(7) 学生納付金に関する情報

| 機 関 | 学部・研究科等 | 授業料 | | 入学金 | | その他の費用徴収 | |
|--|---|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | | 金額 | 納入時期 | 金額 | 納入時期 | 金額 | 納入時期 |
| 大 学 | 文学部 | 371,000円 | 4月末日 | 200,000円 | 入学手続時 | 130,000円 | 4月末日 |
| | | 371,000円 | 10月末日 | | | 130,000円 | 10月末日 |
| | * 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに20,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。 【授業料減免制度の概要】 ①所定期日までに休学願いを提出した者に対し、授業料及び施設設備費を免除する。ただし、在籍料として、休学する学期の授業料半額を徴収する。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づき、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 | | | | | | |
| マネジメント学部 | | 371,000円 | 4月末日 | 200,000円 | 入学手続時 | 130,000円 | 4月末日 |
| | | 371,000円 | 10月末日 | | | 130,000円 | 10月末日 |
| * 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに20,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。 * 入学手続時にオリエンテーション費用を別途徴収する。(平成27年度実績20,000円) 【授業料減免制度の概要】 ①所定期日までに休学願いを提出した者に対し、授業料及び施設設備費を免除する。ただし、在籍料として、休学する学期の授業料半額を徴収する。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づき、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 | | | | | | | |
| 観光コミュニティ学部 | | 371,000円 | 4月末日 | 200,000円 | 入学手続時 | 130,000円 | 4月末日 |
| | | 371,000円 | 10月末日 | | | 130,000円 | 10月末日 |
| * 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに20,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。 * 入学手続時にオリエンテーション費用を別途徴収する。(平成27年度実績20,000円) 【授業料減免制度の概要】 ①所定期日までに休学願いを提出した者に対し、授業料及び施設設備費を免除する。ただし、在籍料として、休学する学期の授業料半額を徴収する。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づき、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 | | | | | | | |
| 大学院 | 人文科学研究科 | 371,000円 | 4月末日 | 200,000円 | 入学手続時 | 130,000円 | 4月末日 |
| | | 371,000円 | 10月末日 | | | 130,000円 | 10月末日 |
| | * 授業料に関しては、2年次に20,000円増となる。 * 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ①所定期日までに休学願いを提出した者に対し、授業料及び施設設備費を免除する。ただし、在籍料として、休学する学期の授業料半額を徴収する。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づき、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 | | | | | | |
| マネジメント研究科 | | 371,000円 | 4月末日 | 200,000円 | 入学手続時 | 130,000円 | 4月末日 |
| | | 371,000円 | 10月末日 | | | 130,000円 | 10月末日 |
| * 授業料に関しては、2年次に20,000円増となる。 * 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ①所定期日までに休学願いを提出した者に対し、授業料及び施設設備費を免除する。ただし、在籍料として、休学する学期の授業料半額を徴収する。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づき、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 | | | | | | | |

(8) 学生支援と奨学金に関する情報

| 支援項目 | 組織名 | 機能 |
|----------------|----------------------|---|
| 就職支援 | 就職部 就職課 | ・学生の就職指導及び相談 ・ATOMIインターンシップに関する事務 ・その他 |
| 進学支援 | 就職部 就職課 | ・他大学大学院への進学に関する相談 |
| | 入試部 入試課 | ・跡見学園女子大学大学院への進学に関する事務 |
| 履修支援 | 学務部 教務課 | ・履修オリエンテーション及びガイダンスの実施 |
| | アカデミック アドバイザー | 個々の学生の問題意識を顕在化させ、履修意欲を明確化させるための指導援助を行い、その学生に最適のコースの組み合わせを選択させ、あるいは個々の学生に固有のカリキュラムを幅広く解放された授業科目群の中から設計するに当たっての指導援助を行う。 |
| 生活支援 | 学務部 学生課 | ・学生の生活相談及び厚生補導 ・学生会活動及び課外活動の指導・助言 ・寮、下宿の斡旋 ・学生寮、合宿舎の管理運営及び合宿生の生活指導 |
| 国際交流支援 | 事務局 国際交流課 | ・海外語学研修の実施 ・留学に関する相談 ・その他国際交流活動に関する相談 |
| 経済支援 | 学務部 学生課 | ・奨学金に関する事務 |
| 保健・衛生・メンタルヘルス等 | 学務部 学生課 保健センター | ・学生の定期健康診断の実施 ・学生の健康相談 ・保健・環境衛生に関わる知識の普及 ・応急処置 ・カウンセリング ・その他 |

| 奨学金の名称 | 概要 | 金額（年額） | 返還有無 | 採用人数 | 対象学年 |
|--------------------|--|---|------|--|-------------------|
| 【学業奨励賞】 | | | | | |
| 跡見花蹊記念奨学金 | 各学年・各学科の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付 | 授業料の一学期分相当額 | 無 | 学部79名 大学院3名 (H27年度実績) | 学部2～4年生 大学院2年生 |
| 跡見校友会一紫会大学院奨学金 | 各専攻の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付 | 授業料の一学期分の二分の一相当額 | 無 | 大学院3名 (H27年度実績) | 大学院2年生 |
| 【修学援助奨学金】 | | | | | |
| 跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金 | (第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 | (第一種) 授業料の一学期分 (第二種) 授業料の一学期分の半額 | 無 | (第一種) 学部12名 (H27年度実績) (第二種) 学部50名 (H27年度実績) | 学部1年次秋学期以降在籍者 |

| 奨学金の名称 | 概要 | 金額（年額） | 返還有無 | 採用人数 | 対象学年 |
|---------------------|---|--|------|--|------------|
| 跡見校友会一紫会 修学援助奨学金 | (第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 | (第一種) 授業料の一学期分 (第二種) 授業料の一学期分の半額 | 無 | (第一種) 学部0名 (H27年度実績) (第二種) 学部5名 (H27年度実績) | 学部2年次以降在籍者 |
| 日本学生支援機構 奨学金 | 人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由のため修学困難な学生に対し奨学金を貸与。 (第一種) 返還時無利子 学力基準有り 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること (第二種) 返還時有利子 学力基準は、学修に意欲があり学業修了見込みのあるもの 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること | 貸与月額 (第一種) 自宅生：30,000円 または54,000円 自宅外生：30,000円 または64,000円 (第二種) 30,000、50,000、80,000、100,000、120,000円から選択 | 有 | | |

(2) 女子大学の実績

(〈※〉印は平成27年度事業計画事業)

(1) 教育研究関係

1) 学士教育課程 〈※〉

1-1 3学部8学科体制における教育の再検討 〈※〉

1-1-1 観光コミュニティ学部における教育の充実 〈※〉

観光コミュニティ学部においては、理論と実践の融合をキーワードに教場外におけるさまざまな企画を実現した。

1-2 文学部、マネジメント学部の教育課程の将来展望 〈※〉

学士教育課程のあり方について、文学部、マネジメント学部における平成27年度教育課程を総括し、次期教育課程を構想する準備を進めている。

2) 修士課程教育 〈※〉

2-1 大学院研究科における専攻分野の再検討 〈※〉

人文科学研究科においては日本文化専攻および臨床心理学専攻それぞれの専攻において将来展望を模索しつつも、研究科総体としての将来展望を描くには至っていない。マネジメント研究科マネ

ジメント専攻においては平成27年度教育課程において学則定員の変更を含めた大幅はカリキュラム改訂を行った。これらの議論を踏まえ、次年度以降に将来展望に関する議論を継続する。

3) 教育支援〈✿〉

3-1 修学支援体制の再検討〈✿〉

本学の教育の内部質保証に資するために、修学支援の一環として本年度は次の2つの改革を行った。教務課では、GPA制度の改革を実施した。学生課では、多面的な学生支援を円滑に推進するべく、昨年度に引き続き部署間の連携を深めた。

3-1-1 教務課 GPA制度〈✿〉

GPA制度の厳密化（過年度未実施の課題）は、平成26年度において教員による成績評価の検証の結果、GPA評価の客観的な基準として活用するに足る結果が得られなかった。この結果を鑑み、より細かい成績評価を行うこと、最上位評価を受講者の10%以内にとどめることなどの統一的運用が提起された。

これを受け、下記のとおり、評価制度の見直しを行い、併せて、「跡見学園女子大学履修規程」および「成績の評価及び単位の認定に関する規程」を改定して、平成28年度から実施することとした。

| 評価 | 点数 | | 評価 | 目安 | 点数 |
|----|---------|---|----|---------|---------|
| A | 100-80点 | ⇒ | S | 概ね5%以内 | 100-90点 |
| B | 79-70点 | | A | 概ね25%以内 | 89-80点 |
| C | 69-60点 | | B | 概ね50%以内 | 79-70点 |
| D | 59-40点 | | C | | 69-60点 |
| E | 39点以下 | | D | | 59-40点 |
| | | | E | | 39点以下 |

3-1-2 学生課 学生支援〈✿〉

学生に対する支援については、これまでもアカデミックアドバイザー、教務課、学生課、保健センター、就職課が連携を取りながら行ってきた。しかし、学生の多様化に伴い、必要な支援内容も複雑化しているため、学生の状況に応じた適切な支援を実現するために、部署間の情報交換ならびに連携を強めている。

なお、障害を持つ学生への支援については、障害者権利条約が整備されたことから、学内における支援体制の整備は急務となっている。現在、担当職員が障害学生支援に関する外部研修等に参加し、情報収集を行っている段階である。

3-2 就職支援〈✿〉

ATOMIインターンシップの推進

就職活動時期の後倒しによる企業の採用活動の変化に対応するべく、3年次夏期インターンシップを拡大した。受入先企業の新規開拓・派遣人員の増員要請等により、受入先数は38先から51先へ、派遣学生数は77名から113名へと大きく増加した。

3-3 FD活動の継続実施

全学教育・研究支援委員会、全学共通科目運営センター、各学部においてFDシンポジウム・FD講演会等を継続的に実施した。また、FD実践報告集として『FDジャーナル』（第14号）の編集作業を行った。

3-4 跡見英会話サロン（6年目）

英語の授業で英会話スキルを習得した学生や海外語学研修に参加した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するため、ベルリッツ・ジャパン（株）との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。

4) 研究支援〈✿〉

4-1 研究支援のための職員機能の充実〈✿〉

平成25年度より引き続き、大学事務局庶務課の職員3名、会計課の連携体制により研究支援関係業務を行っている。学内研究助成に関する業務の円滑な遂行が図られた。

また、教育研究業績入力システムを再構築し、入力、確認、情報公開の利便性向上に取り組み、平成26年度末から新システムを稼働させた。新システムでは年間を通じて随時更新が可能になったことにより、最新の情報を公開できるようになった。

4-2 公的研究費獲得の支援〈✿〉

平成27年度の新規採択は、石田信一教授（文学部人文学科）、要真理子准教授（文学部現代文化表現学科）と佐野美智子教授（観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科）の3名であった。継続課題の8名も含めると計11名となった。

平成22年度より実施している学長主催の科研費の学内説明会を、平成27年9月9日（水）に開催した。参加者は教員・職員合計で25名であった。老川慶喜教授（観光コミュニティ学部観光デザイン学科）、佐野美智子教授（観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科）が、科研費に応募する際に提出する研究計画調書を作成する際の注意事項について講演し、事務局から公的研究費の不正使用防止に関する方針について説明がなされた。

その結果、平成28年度の新規申請は、基盤研究（A）に1名、基盤研究（B）に1名、基盤研究（C）に5名と若手研究（B）に1名の合計8名となった。

平成27年度科学研究費助成事業（日本学術振興会）

| | 学部・職名 | 氏名 | 研究種目 | 研究期間 | H27 直接経費 (円) | 研究課題名 |
|----|---------------|-------|----------|--------|--------------------|---------------------------------|
| 新規 | 文学部 教授 | 石田信一 | 基盤研究 (B) | H27—31 | 3,200,000 | バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と和解の研究 |
| | 文学部准教授 | 要真理子 | 基盤研究 (C) | H27—29 | 1,300,000 | 英国地方都市における前衛美術運動—リーズ・アーツ・クラブの軌跡 |
| | 観光コミュニティ学部 教授 | 佐野美智子 | 基盤研究 (C) | H27—29 | 1,500,000 | これからの消費社会に適合する消費者心理指標の構築 |

継続課題については次頁に続く。

| | 学部・職名 | 氏名 | 研究種目 | 研究期間 | H27 直接経費 (円) | 研究課題名 |
|----|---------------|------|----------|--------|--------------------|---|
| 継続 | マネジメント学部 准教授 | 丹野忠晋 | 基盤研究 (C) | H25—27 | 900,000 | 医療用医薬品流通の経済分析 |
| | マネジメント学部 教授 | 山澤成康 | 基盤研究 (C) | H25—27 | 600,000 | 東日本大震災後の地域景気動向の把握—月次の都道府県別GDPの推計 |
| | 文学部准教授 | 酒井佳永 | 基盤研究 (C) | H25—28 | 800,000 | 気分障害患者の家族を対象としたティラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究 |
| | 文学部 教授 | 山口豊一 | 基盤研究 (C) | H26—28 | 1,200,000 | 学校コミュニティでの心理職活用を促進する学校マネジメントシステムの開発 |
| | 観光コミュニティ学部 教授 | 老川慶喜 | 基盤研究 (C) | H26—28 | 1,100,000 | 川越商業会議所の設立と展開に関する総合的研究 |
| | マネジメント学部 准教授 | 鷹 咲子 | 基盤研究 (C) | H26—29 | 1,200,000 | 大規模災害で被災した子どもの貧困防止策—給付の在り方を中心として |
| | 文学部 助教 | 渡邊大輔 | 若手研究 (B) | H26—27 | 500,000 | 戦後日本映画における児童観客の実態調査 |
| | 文学部 助教 | 寺本敬子 | 若手研究 (B) | H26—28 | 1,000,000 | 近現代にパリ万国博が果たした役割についての実証的研究：万国博組織委員会を中心に |

4-3 教員評価結果の検証

平成27年度においても引き続き、「教員の自己点検評価シート」により、平成26年度の専任教員の教育・研究業績等について自己点検を実施し、全学自己点検・評価委員会において検証を行った。また、個々の専任教員による現状把握と改善を目的として、平成25年度の教員の自己点検評価に関する検証結果を各教員にフィードバックした。

5) 外国語教育センター構想 (✳)

5-1 外国語教育センター設置準備委員会の発足 (✳)

同委員会は、本学の外国語教育の在り方についての報告書を学長に提出した。

6) 新学部設置の申請と新教育課程の実現

6-1 新学部の開設

平成27年4月1日、新学部・観光コミュニティ学部を開設した。

なお、文科省から要請されていた観光デザイン学科における専任教員の増員については、候補者が文科省の審査に合格し、平成28年度に着任の運びとなった。これを以て新学部の教員組織はその体制整備を完了した。

6-2 既存学部学科の再構築

入学定員の異動、グローバル化への対応、学士課程教育の質の保証への対応等に伴い、平成27年度教育課程の運用が開始された。

6-3 大学院カリキュラムの再検討

マネジメント研究科の入学定員の変更、及び平成27年度教育課程の変更を含む大学院学則の一部が改正され運用が開始された。

7) 平成26年度に引き続き諸規程の整備

平成26年度における諸規程大改正に引き続き、平成27年度もいくつかの重要な規程の制定及び改正等を行った。

まず、文科省による公的研究費の不正使用並びに研究活動上の不正行為に関するガイドラインの提示を受けて、「跡見学園女子大学公的研究費の運営・管理に関する規程」及び「跡見学園女子大学における研究活動上の特定不正行為の防止及び対応に関する規程」を制定し、文科省の要請に対応した。

また、学長のガバナンス体制の確立に応じて、「跡見学園女子大学学部長候補者選考規程」「跡見学園女子大学学部長候補者選挙管理委員会規則」「跡見学園女子大学大学評議会における評議員たる附属教育研究組織の長の選考規程」「跡見学園女子大学教員選考規程」「跡見学園女子大学教員選考資格審査基準」等を改正し、施行した。

8) 学生支援

8-1 学生会による学長と語る会の実施

平成27年6月17日（水）、13時より新座キャンパス及び文京キャンパス（中継）にて開催され、「通年科目の増加について」「自動販売機の設置について」「ポータルについて」等、要望が出された。

8-2 一紫会、後援会による修学援助奨学金

イ) 一紫会による修学援助奨学金の継続

| | 申請者 | 採用者 |
|-----|-----|-----|
| 第一種 | 2 | 0 |
| 第二種 | 19 | 5 |

ロ) 後援会による奨学金の継続

春学期

| | 申請者 | 採用者 |
|-----|-----|-----|
| 第一種 | 4 | 4 |
| 第二種 | 31 | 23 |

秋学期

| | 申請者 | 採用者 |
|-----|-----|-----|
| 第一種 | 9 | 8 |
| 第二種 | 38 | 27 |

一紫会ならびに後援会修学援助奨学金申請者のうち採用されなかった学生は、

春学期 第一種 0名 第二種 8名

秋学期 第一種 1名 第二種 15名であった。

8-3 就職支援体制の全学的取り組み

就職活動を乗り越えてきた4年生内定者を「ATOMI就活サポーターズ」として組織、3年生への相談・アドバイス窓口とした。今年度は特に面接練習プログラムでの役割も担ってもらう事で、3年生に向けた支援に止まらず、サポーターズ自身の成長にもつながったとの評価を得た。

また、サポーターズによる就職後の在学生支援を展望したOG会員の組織化も進め、プログラムへの登壇の他、大学案内やキャリアデザインガイドブック等出版物への出稿協力につなげる事ができた。

8-4 防災関係

(両キャンパス共通)

- ・学生配布用「大地震対応マニュアル」を作成し、第1学年と第3学年の学生に配布した。
- ・災害時防災備蓄用品として防災機器、防災用品、医療用品、衛生用品をキャンパス内に追加配

置した。

- ・平成27年9月28日（月）文京キャンパス・新座キャンパス合同防災訓練を行った。

文京キャンパスでは総合防災訓練の後、煙ハウス体験、地震体験を実施、更に東京都助産師会文京地区分会、大塚警察署（平成27年9月1日 警視庁管内初の災害及び防犯ボランティア等に関する協定締結）、文京区防災課の協力を得て、学生ボランティアとともに避難所HUG（防災ゲーム）、母子救護所開設シミュレーション（開設から運営まで）を実施した。新座キャンパスでは、煙体験ハウスによる火災時の避難体験を実施した。

（2）管理・運営

1）大学の運営・管理体制の充実〈❖〉

1-1 戦略的補助金獲得と組織の見直し〈❖〉

- ①補助金獲得に当たっては、「積極的に取りに行く」姿勢で臨む。今年度新たに地域連携担当セクションを設置し、発展的に平成28年度4月1日付で、事務局に地域交流センターを設置し、センター長を配置する。文京区教育委員会との連携により、次年度に向け文京区が文部科学省に補助金申請する予定である。
- ②組織の活性化・成功には、全学的な協力体制とセクショナリズムを払拭し、組織力をいかに発揮することが求められる。学内研修体系を構築し、新入職員研修もそれに組み込み、実施した。

2）学園横断的事務組織の具体化〈❖〉

既に新座キャンパス環境整備課を廃止し、法人事務局施設管理課に業務を集約したが、今年度は学内組織のスリム化として、図書課・情報サービス課を集約した。職員に対しては、課を超え全体を見渡し発想する習慣、大学全体・大学の置かれた環境・大学の将来像・更には学園全体を見渡し発想する習慣を事務連絡会あるいは、研修を通じ、周知し指導しているところである。

3）自己点検評価報告書の完成と点検評価の実施〈❖〉

平成27年3月に大学基準協会に提出した「自己点検・評価報告書」に基づいて、平成27年10月5日、6日に実地調査が実施され、以下のとおり対応した。

①大学基準協会に追加資料提出

6月26日（木）に大学基準協会に追加資料として、平成26年度計算書類、改正学校教育法への対応状況の資料を提出した。

②大学基準協会より「分科会報告書（案）」の送付

8月31日（月）、大学基準協会より「分科会報告書（案）」が送付される。併せて「分科会報告書（案）」の質問への回答が求められた。

③臨時執行部会議の開催

9月2日（水）、臨時執行部会議開催。執行部メンバーに加え、関係教職員も招集。「分科会報告書（案）」の質問に対する回答の執筆分担が指示。

④「分科会報告書（案）」の質問に対する回答

9月14日（月）、「自己点検・評価報告書」の草稿作成者等による回答文案集約。

9月20日（日）、回答文案を検討し、副学長に提示。

9月25日（金）、「分科会報告書（案）」の質問に対する回答を大学基準協会に提出。

⑤実地調査事前打ち合わせ

9月25日（金）、関係者招集。「分科会報告書（案）」に対する回答案が示される。実地調査当日の分担が明示。

⑥実地調査

10月5日（月）、6日（火）、文京キャンパスにおいて実地調査が行われる。分科会委員（4名）による本学関係者に対する意見聴取が全体会と個別のテーマに分かれて実施された。

⑦「大学評価結果（委員会案）」の送付

12月18日（金）、大学基準協会より「大学評価結果（委員会案）」が送付される。

⑧「大学評価結果」の送付・公表

平成28年3月11日（金）、大学評価（認証評価）結果が送付される。

3月23日（水）、大学基準協会より、正式に「適合」認定が公表（認定期間：2023（平成35）年3月31日まで）。

4) 図書館・情報メディアセンター機能の統合〈✳〉

平成26年度から図書館長が情報メディアセンター長を兼務し、平成27年度からは図書課長が情報サービス課長を兼務することとなった。さらに、平成27年8月には情報サービス課事務室を図書館事務室内に移動し、両組織の機能統合に向けての取り組みを進めている。

(3) 施設設備・情報環境整備関係

1) 文京キャンパスの将来構想〈✳〉

キャンパス一元化に向けた情報入手・調整に取り組んでいる。

2) 新学生寮の運用開始〈✳〉

本学園保有の音羽駐車場跡地（東京都文京区大塚2-4-10）に建設した本学専用寮『メゾン音羽』（地下1階・地上4階2,428.31㎡ 94名収容）は、平成27年4月1日に開寮した。開設当初の入寮者は83名（旧学生寮からの転寮者49名、新入寮者34名）であった。平成28年4月1日現在の在寮者数は92名となる予定である（平成28年3月20日現在、27名が入寮予定）。

なお、平成27年度より、学生寮の管理運営については、建物、食事、防犯、募集等を一元管理できる㈱共立メンテナンスへ委託した。

3) 施設環境の整備

①事業計画の事業

*女子大学関係のなかで「新」は新座キャンパス、「文」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

| 事業項目・内容 | 事業費 | 実施時期 |
|---|--------|------|
| 文) 2号館防火シャッター用バッテリー交換工事 防火シャッター57式の停電時の作動を担保するためのバッテリーが更新期限を迎えているため、交換を行った。 | 1,096 | 4月 |
| 文) 1・3号館消防ホース交換 [26本] 工事 平成14年の消防庁告示により、10年経過した消火栓ホースは3年毎の耐圧試験が義務付けられたが、点検コスト等を考慮し、交換を行った。 | 250 | 4月 |
| 新) 1号館各所漏水対策工事 各所で生じていた漏水について、要点を絞ってドレンパン設置、壁クラックの止水工事を行った。 | 2,970 | 4月 |
| 新) 1号館玄関底補修工事 正面玄関底が老朽化し（防水機能が低下し）、ホール内への漏水や下地の腐食が生じていたため、下地板および防水シートの張替を行った。 | 2,997 | 4月 |
| 新) 合宿舎屋根・玄関補修工事 築50年経過し、屋根材の劣化による雨漏りや玄関底の梁・柱の腐食等、各所の老朽化が進行していたため、上屋根の張替、玄関底柱の交換など補修工事を行った。 | 15,444 | 7・8月 |
| 新) グリーンホール厨房出入口庇整備工事 厨房出入口内に風の強い日は雨が吹き込むため、庇の整備を行った。 | 292 | 8月 |

| 事業項目・内容 | 事業費 | 実施時期 |
|--|--------|------|
| 文) 2号館クロスコネクション検査 平成20年の建築基準法改正に従い、特定行政庁の指定する特殊建築物等として、3年毎の上水・雑用水配管の誤接続確認(着色検査)を行った。 | 243 | 8月 |
| 新) 第1受変電所引込ケーブル・碍子交換工事 第1受変電所の絶縁低下が確認されており、引込ケーブル、碍子が設置から23年経過し、その老朽化が要因と疑われたため、交換を行った。 | 5,238 | 8月 |
| 新) 第2受変電所LBS・碍子交換工事 昨年度点検時に第2受変電所において絶縁の低下が確認されたため、要因と疑われたLBSおよび碍子の交換を行った。 | 3,888 | 8月 |
| 新) 図書館空調設備改修工事(1階) 機器の設置から20年以上が経過し劣化が見られ、補充部品も供給終了していたため、改修工事を行った。 | 56,160 | 8・9月 |
| 新) 1・3号館汚水槽清掃 貯水槽・排水槽清掃に、1・3号館汚水槽、グリーンホールグリストラップの清掃を追加した(事業費は以前の契約からの増加分)。 | 786 | 9・3月 |
| 新) 体育館キュービクル更新工事 設置から30年以上経過し、外装や配線端子に劣化が見られたため、更新を行った。 | 22,432 | 2・3月 |

②それ以外の事業

(単位:千円)

| 事業項目・内容 | 事業費 | 実施時期 |
|--|-------|------|
| 新) 1号館玄関庇・渡り廊下照明交換工事 玄関庇および渡り廊下(グリーンホール側)天井照明器具が経年劣化し、漏電の懸念が有ったため、交換を行った。 | 1,082 | 7月 |
| 文) 1号館小荷物専用昇降機オーバーホール 小荷物専用昇降機が設置から33年経過し、保守点検により制御盤やワイヤーロープの交換を推奨されていたため、特に緊急性の高いと思われる項目についてオーバーホールを行った。 | 912 | 8月 |
| 文) 3号館アリーナ水銀灯36基球替え アリーナ水銀灯36基中3箇所の球切れが確認され、その他の球についても概ね定格寿命に達しつつあるものと推測されたが、老朽化した昇降装置を使用すると途中で止まって動かなくなってしまう可能性が有ったため、高所作業車によりすべての球替えを行った。 | 1,307 | 8月 |
| 文) 1号館脇スロープ舗装整備工事 1号館脇スロープにおいて車両が入る際の轍部分の陥没が進行し、地下排水槽の損傷が懸念される状況となっていたため、路盤の整備工事を行った。 | 2,646 | 8月 |
| 新) 新副学長室設置に伴う室内修繕、什器購入 副学長が二名体制になったことにより、室内の修繕および什器を購入した。 | 1,002 | 8月 |
| 新) 浄化槽整備 安定的な運転を担保するため、劣化の見られる箇所、所定の年数に達した機器について整備を行った。 | 3,456 | 9月 |
| 新) 心理教育相談所出入り口扉改修工事 セキュリティ向上のため、出入口を電気錠とし、インターホンカメラで来訪者を確認の上、事務室のスイッチで開錠できる仕様に改修を行った。 | 2,560 | 12月 |
| 新) 第2変電所高圧機器追加更新工事 事業計画に基づき8月に機器更新を行ったが、その後の年次点検において依然として低い絶縁値が確認され、電気主任技術者からも交換を指摘されたため、要因と推定される機器の追加更新を行った。 | 4,860 | 3月 |
| 文・新) 防災備蓄食料購入 期限のせまっていた防災備蓄食料について、3日分を想定して入替を行った。 | 4,260 | 3月 |

4) 情報環境の整備

①事業計画の事業

*女子大学関係のなかで「新)」は新座キャンパス、「文)」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|---|--------|------|
| 事務支援システム更新 既存システムの保守及びハードウェアサポート終了のため、システム・機器の更新を行った。 | 84,487 | 4月 |
| 文) 学生遠隔対面システムサーバー更新 管理用サーバーのハードウェアサポート終了のため更新を行った。 | 9,353 | 4月 |
| 新) 心理教育相談所行動観察システム更新 機器の設置から10年以上が経過し劣化が見られ、部品の供給も終了しているため、システムの更新を行った。 | 7,999 | 4月 |
| 文・新) プリンタ管理システム更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。 | 22,864 | 8月 |
| 図書館システム更新 平成21年度に導入したシステムの保守及びハードウェアサポート終了のためシステム・機器の更新を行った。 | 39,958 | 9月 |
| ネットアカデミー用サーバ更新 管理用サーバのハードウェアサポート終了に伴い、更新を行った。 | 2,503 | 3月 |

②それ以外の事業

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|---|-------|-------|
| 新) 3号館3151サーバー室内装改修工事 サーバー室内スペースを有効活用するため、間仕切り壁設置等内装工事を行った。 | 2,491 | 8月 |
| 事務ファイルサーバHDD増設作業 事務ファイルサーバ(データセンター設置)について、残容量が切迫していたためハードディスク増設作業を行った。 | 821 | 2月 |
| 文) 2号館2階サーバ室間仕切り改修工事 スペースの有効活用を目的にサーバ室の間仕切り改修工事を行った。また、この工事に先立ち8月にサーバ室内の機器移動を実施した。 | 3,964 | 8・12月 |
| 新) 3号館3152・3153教室改修 3151サーバ室を間仕切りし、新たに出来た3152室と、情報サービス課の図書課移動に伴い空き教室となった3153室を教室利用するため改修を行った。 | 9,030 | 2月 |
| 文・新) 観光デザイン学科教員1名増員に伴うPC・什器購入 平成28年度から観光デザイン学科教員が1名増員される事に伴い、文京キャンパス1号館個人研究室にPC・什器、新座キャンパス2号館観光デザイン学科研究室に什器を購入した。 | 1,015 | 2月 |

5) 大学施設利用

①学術・学会等関係(主な大会の開催等)

文京キャンパスの利便性の良さと良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な学会等

| 学会および大会名など | 開催年月日 | 参加者数 |
|----------------------|----------------|-------|
| 交通史学会 | 平成27年5月9日、10日 | 約70名 |
| 生命科学振興会東京支部研究会 | 平成27年7月16日 | 約30名 |
| 臨床動作法研修会 | 平成27年7月25日、26日 | 約150名 |
| 日本学校心理士会スーパーバイザー面接試験 | 平成27年8月17日 | 約50名 |
| 日本ケバック学会研究大会 | 平成27年10月3日 | 約100名 |

| | | |
|---------------------------------|-----------------|-------|
| 社会デザイン学会年次大会 | 平成27年11月28日、29日 | 約100名 |
| 教育実践学会大会 | 平成27年11月29日 | 約100名 |
| 中野重治の会 | 平成27年12月 5日 | 約40名 |
| 日本仏教心理学会 | 平成27年12月19日 | 約200名 |
| 日本医療保育学会全国研修会 | 平成28年 1月10日 | 約130名 |
| 日本食生活学会 | 平成28年 2月27日 | 約60名 |
| 日本心理研修センター研修会 | 平成28年 3月12日 | 約450名 |
| 日本産業カウンセリング学会 (スーパーバイザー養成講座) | 平成28年 3月26日、27日 | 約90名 |

② 本学主催・後援による主なシンポジウムや講演会

| 会名など | 開催年月日 | 参加者数 |
|------------------|-------------|-------|
| 朗読コンテスト (主催：文京区) | 平成27年10月18日 | 約220名 |

(4) 保護者サービス

1) 保護者への情報公開

保護者に対して、「跡見学園女子大学学報」を送付したほか、学園広報誌「Blossom」を送付。また、以下により保護者に情報を発信した。

① 保護者対象大学説明会の継続

前年度に引き続き、「保護者説明会」を4会場で実施した。

| | 年月日 | 会場 | 場所 | 参加者数 |
|---------|-----------------|-------|---------------|------|
| イ) 学外会場 | 平成27年 8月29日 (土) | 高崎会場 | 高崎ワシントンホテルプラザ | 30名 |
| | 平成27年 8月30日 (日) | 新潟会場 | ホテルオークラ新潟 | 12名 |
| | 平成27年 9月 5日 (土) | 宇都宮会場 | チサンホテル宇都宮 | 7名 |
| ロ) 学内会場 | 平成27年10月17日 (土) | 学内会場 | 文京キャンパス 2号館 | 305名 |

② 学生の単位修得状況の通知

平成27年度春学期の成績 (成績通知書) については、9月30日付けで全学生の保証人に郵送した。また、秋学期の成績については、3月30日付けで全学生の保証人に郵送した。

③ 就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催し好評を得た。昨年度比多くの保護者の参加があり、就職状況等への関心の高さがうかがえた。

開催日 平成27年 9月26日 (土)

会 場 文京キャンパス・ブロッサムホール

内 容 講演「跡見学園女子大学の就職事情」講師：本学就職部長

講演「親子で考える、負けない就活」講師：森 吉弘氏 (学び舎道場・森ゼミ代表)

参加者数 368名 (昨年度213名)

(5) 広報・学生募集

1) 広報 (✳)

大学が行う広報は、高校生・保護者を対象とした入試広報に限ることなく、大学の行う諸活動を広く社会に発信した。また、企業の採用担当者を対象とした就職懇談会は学園広報委員会の協力をうけ

開催した。

1-1 学園「広報委員会」の位置づけの確定〈✿〉

平成28年度にかけて、学園広報のあり方について検討しつつ、広報委員会の位置づけについて協議している。

1-2 学科別広報戦略〈✿〉

各学科3ゼミ、合計24ゼミを紹介するサイト（ゼミレポートサイト）を平成27年7月に本学ホームページにアップし、各学科の特徴について情報発信を行った。サイトアップと同時期に業者のリストを用いてダイレクトメールを発送し、同サイトへの誘導を図った。また、複数のサイトに同サイトのバナー広告を掲出した。平成28年3月には、各学科1ゼミを追加して、合計32ゼミを掲出している。

また、新学科であるコミュニティデザイン学科の募集強化のため、受験雑誌に同学科の広告を多数掲載した。併せて、業者のリストを用いて、社会学に関心のある受験生にダイレクトメールを発送。年4回発行するオープンキャンパスのダイレクトメールには、同学科の情報を毎回掲載して、学科の周知を促した。平成28年度に向けて、観光コミュニティ学部の特設WEBサイトを制作し、平成28年3月に本学ホームページにアップ。ダイレクトメールを発送してサイトへの誘導を図った。

さらに、人文学科の募集強化のため、平成28年3月に特設WEBサイトを本学ホームページにアップした。

1-3 跡見ギャラリーの活用〈✿〉

本学園及び文京区の情報発信や文化活動としての役割だけでなく、文京区と連携し地域の活性化と公共の福祉を推進することを目的とした取り組みを積極的に行った。

常設展示並びに特別展示として「花兆会作品展」「中高の繊維工芸部の作品展」「百人一首関連展示」「防災展」「周年事業関連展示」等。また、跡見ギャラリーを会場とした連携事業の「介護予防体操」「文京アカデミア講座」「ぶんにこ大塚」等多世代交流の拠点としても広く活用している。

| | |
|---------------------------------|---|
| 平成27年3月5日（木）～4月7日（水） | 企画展「春のよそおい」 日本刺繍講師の桜の作品を展示。新座キャンパスの桜を紹介。 桜まつりの紹介。 |
| 平成27年4月14日（火）～4月25日（土） | 企画展「花兆会」 学園校友の作品展。 |
| 平成27年5月12日（火）～6月27日（土） | 企画展「中学校高等学校の繊維工芸作品展」 生徒作品（文部科学大臣賞等受賞作品）を中心とした展示。 文京アカデミア講座の受講生の作品も展示。 |
| 平成27年7月13日（月）～8月4日（土） | 企画展「百人一首展」 夏休みこどもアカデミア講座開催。 |
| 平成27年8月6日（木）～8月15日（土） | アトミ・アート展 |
| 平成27年9月10日（木）～9月30日（水） | 企画展「防災展2015」 大塚警察署災害救助隊による関連工具展示。 |
| 平成27年10月5日（月）～12月4日（金） | 企画展「菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）パネル展示」 朗読コンテストに関連した展示。 |
| 平成27年11月17日（火）～12月4日（金） | 企画展「跡見学園中学校高等学校の制服の変遷」 |
| 平成27年12月8日（火） ～平成28年1月29日（金） | 企画展「百人一首関連展示」 特別イベントとして「カルタ取り大会」 |
| 平成28年1月30日（土）～2月6日（土） | 企画展 文の京 地域文化インタープリター養成講座 【レポート展示会】 |
| 平成28年2月12日（木）～2月14日（火） | 企画展「写真部3年生による」写真パネル展示 |
| 平成28年3月3日（木）～3月22日（火） | 企画展「跡見玉枝と尾形月耕が描いた桜」展 |
| 常設展「学祖跡見花蹊と跡見学園の歴史」 | |

1-4 桜まつり

平成28年3月26日（土）一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を開催した。来場者数は1046名（ほかにオープンキャンパス来場者312名）であった。

1-5 就職懇談会

企業の採用担当者を対象に、これから就職活動期を迎える学生も参加する就職懇談会を開催した。

第一部は就職担当教職員による説明会と学生による文京区との地域連携事業「高齢者とのお食事」報告会を、第二部は懇談会を実施した。

開催日 平成27年11月10日（火）15：00～18：00

出席状況 企業53社、学生51名、及び教職員。

会場 第一部：文京キャンパス・ブロッサムホール
第二部：茗溪会館

2) 学生募集〈❖〉

2-1 学生確保の早期化への対応〈❖〉

学生確保の早期化への対応として、推薦入学試験での募集力を強化する観点から、指定校推薦入学試験・公募推薦入学試験・優先入学試験において評定平均値基準を変更した。また、新たに跡見校友会子女推薦入学試験制度を設け、学園各機関の卒業生の子女および大学在学生の姉妹を対象とした推薦入学試験を実施した。

一般入学試験では、日程の早い一般入学試験A1方式および大学入試センター試験利用入学試験I期の募集定員を増やし、学生確保の早期化への対応を行った。

●一般入学試験A1方式 180名→200名

●大学入試センター試験利用入学試験I期 105名→130名

2-2 入学試験制度の変更

入学試験の志願者増を図るため、以下の通り入学試験制度を変更し実施した。

イ) 推薦入試

優先入学試験、指定校推薦入学試験、公募推薦入学試験の評定平均値基準を変更した。また新たに「跡見校友会子女推薦入学試験制度」を設け実施した。

ロ) 一般入学試験

すべての一般入学試験において、同一学部内での第2志望学科選択制を導入した。

ハ) 大学入試センター試験利用入学試験

観光コミュニティ学部において、大学入試センター試験利用入学試験を実施した。

ニ) 追加入学試験の実施

文学部人文学科、観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科において、公募推薦入学試験（3月期）を実施した。

2-3 高校教員対象大学説明会

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

開催日 平成27年6月9日（火）

開催時間 15：00～17：30

会場 文京キャンパス（M2304教室）

参加者数 37校37名

2-4 オープンキャンパス

＜新座キャンパス＞

開催日 平成27年3月28日（土）

5月31日（日）
 7月26日（日）
 10月4日（日）
 10月31日（土）
 11月1日（日）

＜文京キャンパス＞

開催日 平成27年6月21日（日）
 7月19日（日）
 8月2日（日）
 8月16日（日）
 8月22日（土）
 11月22日（日）

参加者数 4,593名（受験生2,596名、保護者他1,997名）

2-5 跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成27年6月12日（金）
 開催時間 15：30～17：00
 会場 文京キャンパス（M2304教室）
 参加者数 43名（生徒22名、保護者21名）

2-6 入試アドバイザー制度

平成27年度は入試アドバイザーによる高校訪問を3回行い志願者の確保に努めた（3回目は職員アドバイザーのみ）。

訪問校数 588校
 アドバイザー数 119名
 訪問時期 ・ 1回目 平成27年6月～7月
 ・ 2回目 平成27年9月～10月
 ・ 3回目 平成28年2月（訪問：99校、電話連絡：160校）

（6）学外団体との交流

1) 国内団体との交流（✳）

1-1 大学間交流（✳）

①図書館の相互利用

イ) 文京区内大学との交流

お茶の水女子大学附属図書館と相互利用に関する覚書を結び、平成21年4月から図書館を相互利用している。平成25年11月1日より新たに日本女子大学図書館と相互利用に関する協定を結び、図書館相互利用を開始した。平成27年度も引き続きお茶の水女子大学附属図書館および日本女子大学図書館と相互利用を実施している。

平成27年度利用状況

跡見→お茶の水女子大学 92名、お茶の水女子大学→跡見 58名
 跡見→日本女子大学 6名、日本女子大学→跡見 8名

ロ) 埼玉県内大学との交流

十文字学園女子大学図書・情報センターと図書館の相互利用に関する覚書を結び、平成24年4月から図書館を相互利用している。平成27年度も引き続き相互利用を実施している。

平成27年度利用状況

跡見→十文字学園女子大学 3名、十文字学園女子大学→跡見 4名

②マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との交流

2007年に締結、2012年に更新した両大学院研究科間の単位互換制度を継続した。

③埼玉県私立大学連絡協議会の継続

埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。

④彩の国大学コンソーシアム

「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。

イ) 2015年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～

平成27年9月17日(木) 15:10～16:30

於：川越西文化会館メルト

演 題 つながりのある社会とは？—コミュニティの諸相と可能性—

講 師 マネジメント学部マネジメント学科 曾田修司教授

受講者数 45名

ロ) 公開講座分科会

平成27年12月4日(金) 於：大東文化大学

ハ) 実務者会

平成27年3月24日(木) 於：川越プリンスホテル

⑤全国私立大学就職指導研究会の継続

全国の私立大学で構成される研究会に参加し、研究会やゼミナール参加及び情報交換を行い、学生の就職活動支援を推進した。

⑥大学職業指導研究会の継続

首都圏を中心とした私立大学で構成される研究会に参加し、就職業務における共通課題について研究や協議及び情報交換を行い、学生の就職活動支援を推進した。

⑦埼玉県大学就職問題協議会

埼玉県内の17大学で構成される協議会に参加し、県内の支援団体と共に合同企業説明会を開催し他情報交換を行い、学生の就職活動支援を推進した。

○17大学合同企業説明会

実施日：平成27年9月4日(金) 13:00～18:30

会 場：ホテルブリランテ武蔵野(さいたま新都心)

参加企業：56社

参加学生：282名(内本学学生28名)

支援団体：埼玉中小企業家同友会、公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会、株式会社埼玉りそな銀行

1-2 その他の団体との交流

①高等学校との交流

高等学校での出張講義を33校で実施した。

②東京商工会議所

同会議所及び同会議所参加の企業との情報交換会等に参加し、学生の就職活動支援を推進した。

③地方人材還流促進協議会参加

厚生労働省「地方人材還流促進事業」(通称：LO活事業)協議会設置に伴い協議会へ参加、地方への就職を希望する学生の就職活動支援を推進した。

2) 国外団体との交流(✳)

2-1 海外語学研修拠点大学の拡充(✳)

2-1-1 フランス語圏大学との交流実現(✳)

平成27年度新規で「西部カトリック大学(フランス)」の海外研修を開始した。

2-1-2 英語圏語学研修拠点大学の拡充 (✿)

平成26年度に新規実施した「ローワーコロンビアカレッジ (アメリカ)」研修の事前学習を和光市の協力のもと実施し、地域コミュニティへの理解を一層深める研修内容とした。

2-1-3 友好協定締結大学での海外語学研修

本学と協定締結している、国立スターリング大学 (イギリス)、国立政治大学 (台湾)、ロイヤルローズ大学 (カナダ)、ローワーコロンビアカレッジ (アメリカ)、及び、西部カトリック大学 (フランス) において、国際交流の一環として語学研修等を実施した。

| 研修先 | 研修期間 | 参加人数 | 概要 |
|-----------------------------|----------------------------------|------|--|
| 国立 スターリング大学 (イギリス) | 平成27年 8月2日 (日) ～9月1日 (火) | 14名 | 基礎的な英語力を徹底的にブラッシュアップし、英語でのコミュニケーション能力を高めることが主たる目的。加えて、学生寮での生活、ネス湖旅行などの課外活動で多くの人々との交流を通じて外国語を学びつつ、異文化への認識を深める。研修の最後2泊3日でロンドン旅行を実施。 |
| | 平成28年 2月11日 (木) ～3月27日 (日) | 13名 | 海外での授業、生活、多くの人々との交流を通じて語学力を向上させ、異文化への理解を深めることが主たる目的。期間中、大学主催の日本文化を紹介するイベント「JAPAN WEEK」に参加し、地域住民に日本文化を伝えると共に学生自身も日本文化の素晴らしさを再認識する機会を得る。 |
| 国立政治大学 (台湾) | 平成27年 8月2日 (日) ～8月24日 (月) | 4名 | 中国語力を磨きながら台湾の歴史・文化に触れることが主たる目的。親日的な環境で、安心して研修に臨むことができる。キャンパス付近一帯がカレッジタウン化しており、市街地にあるビル大学とは異なり、本当の意味でのキャンパスライフが体験できる。 |
| ロイヤルローズ大学 (カナダ) | 平成27年 8月10日 (月) ～9月7日 (月) | 8名 | 教室での講義と、教室外で行われる英語実践 (社会活動体験) の双方を通して、英語の実践的な運用能力を高めることが主たる目的。社会活動やプレゼンテーションを多く取り入れたプログラムを実施。また、ホームステイを通して異文化への理解を深める。(JASSO奨学金有) |
| 西部カトリック大学 (フランス) | 平成27年 8月3日 (月) ～9月1日 (火) | 4名 | 世界各国から集まる留学生との合同クラスで、5～6つのレベル別のクラスに分かれてフランス語を学ぶ。留学生専用の大学寮に滞在し、複数回の課外活動を通じて現地の文化を学ぶ。研修最後には、パリ小旅行を実施。 |
| ローワーコロンビア カレッジ (アメリカ) | 平成28年 2月14日 (日) ～3月6日 (日) | 7名 | 今年度で2回目となった英語&アメリカ文化研修。ロングビュー市全体が関わる体制で学生を受け入れている。今回は和光市の協力のもと、事前学習の充実を図り、日米の地方自治の歴史や違いについても学ぶことができた。 |

2-1-4 友好協定締結大学での本学主催による跡見学園高校春期短期海外研修

本学と協定締結している、国立スターリング大学 (イギリス) が高校生向けプログラムを開発するに当たり、先行的に本学が提案した企画。第1回目は、春期に海外研修の機会がない跡見高校生のために留学体験として企画実施した。

| 研修先 | 研修期間 | 参加人数 | 概要 |
|--------------------------|---------------------------------|------|---|
| 国立 スターリング大学 (イギリス) | 平成28年 3月28日 (月) ～4月7日 (木) | 24名 | 大学生と同様に学生寮で共同生活し、授業は2クラス編成。課外活動には大学スタッフ、学生アンバサダーも参加。また、授業以外でも現地の人と交流機会を設け、短期間ではあるが、生徒にとっては英語に触れる機会の多い充実した研修となった。研修最後には、ロンドンを訪問。 |

2-2 国際交流センターの構想〈✳〉

本年度の夏期海外語学研修は、イギリス、アメリカ、カナダ、台湾に加えて、フランスに拠点を設けた。さらに拠点の充実を図り、それを踏まえて国際交流センターの将来構想を準備する。

2-3 海外の大学との学术交流（研究）

ビシケク人文大学（キルギス共和国）と交流事業の一環として日本文化に関する書籍を寄贈（平成28年2月）した。

(7) 地域との交流・地域貢献

1) 地域交流・地域貢献コンセプトの策定〈✳〉

文京区との協定に基づき、様々な活動を展開した。

一人でも多くの学生がこの連携事業にかかわり、より有意義で実りある学生生活となり、「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」を育て社会貢献できる人材を送り出す。

2) 事務組織に地域交流担当者の配置（兼務）〈✳〉

地域社会との連携を深め、より地域に開かれた大学を目指すため、本年度4月、事務局に地域連携専門部署が設置され本格的に地域連携事業を始動した。発展的に平成28年度4月1日付で、事務局に地域交流センターを設置し、センター長を配置する。

3) 自治体との提携〈✳〉

3-1 文京区との連携の拡充〈✳〉

①文京区との地域連携（本学学生との多世代交流）

| | |
|---|---|
| ①平成27年5月13日（水）～7月29日（水） ②平成27年10月7日（水）～12月16日（水） | 「介護予防体操」①12回、②11回 学生参加協力型の体操教室 |
| 平成27年4月20日（月）、6月2日（火）、 9月3日（木） | 認知症サポーター養成講座 |
| 平成27年7月4日（土）、12月5日（土） | 「シニアカフェ」 |
| 平成27年7月11日（土） | 「ゆかた着付け教室」 関連イベント 朝顔・ほおずき市の運営参加協力 |
| 平成27年7月18日（土）、19日（日） | 朝顔・ほおずき市 |
| 平成27年10月21日（水）、11月18日（水）、 12月21日（月） | 高齢者との食事会（3回） |
| 平成27年11月7日（土） | 「健康まち歩き」 歩き方教室と学生考案のまち歩きツアー |
| 平成27年11月14日（土）、15日（日） | 江戸川橋総合福祉センター福祉祭り |
| 平成27年11月22日（日）～24日（火） | いきいきシニアのつどい |
| 平成28年3月11日（金） | 「介護予防展」 介護予防体操に参加したゼミの学生が参加協力。取りまとめたアンケートを披露 |
| 平成27年5月～12月（活動期間） | 目白台・関口おさんぼ帳作成 |
| 平成27年4月～12月（第3土曜日実施） | ぶんにご大塚 |
| 平成27年11月～ | ハートフル工房 |

②文京区との地域連携

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 平成27年9月1日（水） | 「防災ボランティアの協定締結」大塚警察署 |
| 平成27年9月28日（月） | 「防火防災訓練」 防火防災訓練、母子救護所設置訓練等 |
| 平成27年10月4日（日） | 文京ミライ対話 |

| | |
|----------------|-------------------------|
| 平成27年10月18日（日） | 「文の京ゆかりの文化人顕彰事業」朗読コンテスト |
| 平成27年11月8日（日）～ | 旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）一般公開 |

③文京アカデミア講座（大学キャンパス講座の実施）

平成23年度から、地域社会（東京都文京区）との一層の連携を図る観点から、（公益財団法人）文京アカデミーが主催する「文京アカデミア講座」（大学キャンパス講座）に下記の通り参加した。また、平成27年度は文京アカデミーとの連携事業として「外国人おもてなし英会話講座」と「文の京地域文化・インタープリター養成講座」を実施した。

| | |
|-----------------|-----------------------------------|
| ①文京アカデミア講座（前期） | |
| 開催日 | 平成27年5月11日～平成27年6月8日 毎週月曜日 全5回 |
| 場 所 | 文京キャンパス2号館 |
| テーマ | 19世紀フランス絵画史—アングルからファン・ゴッホまで— |
| 講 師 | 村田宏 教授 跡見学園女子大学文学部人文学科 |
| ②文京アカデミア講座（前期） | |
| 開催日 | 平成27年5月21日～平成27年6月18日 毎週木曜日 全5回 |
| 場 所 | 跡見ギャラリー |
| テーマ | 日本刺繍 |
| 講 師 | 木村久美子 元兼任講師 跡見学園中学校高等学校 |
| ③夏休み子どもアカデミア | |
| 開催日 | 平成27年8月4日 火曜日 全1回 |
| 場 所 | 文京キャンパス2号館 |
| テーマ | 心の歌をよむ～百人一首とわたしの一首～ |
| 講 師 | 植田恭代 准教授 跡見学園女子大学文学部人文学科 |
| ④文京アカデミア講座（後期） | |
| 開催日 | 平成27年10月9日～平成27年12月4日 隔週金曜日 全5回 |
| 場 所 | 跡見ギャラリー（最終日のみ跡見学園中学校高等学校作法室） |
| テーマ | 香道入門～聞香を楽しむ「雪・月・花」～ |
| 講 師 | 上村代志子 元兼任講師 跡見学園女子大学 |
| ⑤文京アカデミア講座（後期） | |
| 開催日 | 平成27年11月17日～平成27年12月15日 毎週火曜日 全5回 |
| 場 所 | 文京キャンパス2号館 |
| テーマ | 名場面から読む『源氏物語』—桐壺巻から夕顔巻まで— |
| 講 師 | 神野藤昭夫 名誉教授 跡見学園女子大学 |
| ⑥文京アカデミア講座（後期Ⅱ） | |
| 開催日 | 平成28年2月18日～平成28年3月24日 毎週木曜日 全5回 |
| 場 所 | 文京キャンパス2号館 |
| テーマ | 私も書ける「草書に挑戦！」 |
| 講 師 | 横田恭三 教授 跡見学園女子大学文学部人文学科 |

| | |
|-----------------------|--|
| ⑦外国人おもてなし英会話講座 | |
| 開催日 | 平成27年10月3日～平成27年11月28日 毎週土曜日 全8回 |
| 場 所 | 跡見ギャラリー、文京キャンパス2号館 |
| 講 師 | マック・カレン 准教授 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科 |
| ⑧文の京地域文化 インタープリター養成講座 | |
| 開催日 | 平成27年10月3日～平成28年2月6日 毎週土曜日 全13回 |
| 場 所 | 文京キャンパス2号館 |
| 講 師 | 第1回 村田宏 教授 跡見学園女子大学文学部人文学科 第2・3回 新井久代 兼任講師 跡見学園女子大学 第4回 山崎一穎 全国文学館協議会会長・跡見学園理事長 第5・7回 増野恵子 兼任講師 跡見学園女子大学 第6・8・9回 倉本幸弘 森鷗外記念会常任理事・事務局長 第10～13回 小仲信孝 教授 跡見学園女子大学文学部人文学科 |

④茗荷谷図書館の文京区民への開放

図書館は、地域貢献の一環として文京区民で文京区立図書館登録を済ませた18歳以上の女性に茗荷谷図書館を開放している。平成27年度においても継続実施している。

平成27年度新規登録者数および利用状況

| | |
|-------|-----|
| 新規登録者 | 3名 |
| 利用者 | 34名 |

3-2 和光市および新座市、志木市との連携 (✳)

①平成24年に本学と包括協定を締結した和光市の協力の下、平成26年度、本学、アメリカ・ワシントン州ロングビュー市（和光市の姉妹都市）、及びローワーコロンビアカレッジ（ワシントン州）間にて三者協定を締結。この協定に基づき、同大学への第2回目の海外研修を実施した（期間：平成28年2月14日～3月6日）。この研修はグローバルコミュニティとしての特色ある研修である。

②和光市の小中学校に、人文科学研究科臨床心理学専攻の大学院生及び文学部臨床心理学科の学部生を対象として、ピアサポーターの派遣を開始した。

③9月18日に志木駅前で開催された秋の全国交通安全運動（主催：新座市交通安全推進協議会）に協力。学生1名を一日警察署長として派遣した。

④JR東日本（新座駅）、新座市役所（観光推進課）、本学（村上ゼミ）の「産・官・学」が連携し、『学生が考えた駅からハイキング』を企画。実施期間は平成28年3月20日～31日で、新座キャンパスの桜の開花時期に合わせて実施した。

⑤以下の通り、新座市で開催される委員会、会議等に教員を派遣した。

| 委員会等 | 教員氏名 |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 新座市学校評価システム推進事業「第三者評価委員会」 | 杉本昌裕教授 藤澤伸介教授 |
| 新座市就学支援委員会 | 宮崎圭子教授 山口豊一教授 |
| 新座市立第四小学校 校内研修会の指導 | 山口豊一教授 |
| 新座柳瀬高等学校 学校評議員 | 横田恭三教授 |
| 新座市子ども・子育て会議 | 鳥咲子准教授（～10月28日） 松寄くみ子教授（10月29日～） |
| 新座市観光都市づくり推進市民会議 | 村上雅巳准教授 |

⑥新座市長との懇談会への参加

平成27年11月7日(土)、新座市内3大学(本学・立教大学・十文字学園女子大学)の学生と新座市長との懇談会が開催された。本学からは文学部1名、マネジメント学部2名、観光コミュニティ学部(観光マネジメント学科)1名、合計4名の学生が参加し、市政への提言を述べた。

⑦新座キャンパスへの防災用備蓄倉庫の設置・備蓄品の搬入

平成26年2月13日に新座市と締結した「災害時における施設の使用に関する覚書」について、防災用備蓄倉庫が設置され、平成27年度に数回にわたり新座市から備蓄品の搬入が行われた。

⑧花蹊記念資料館の開放

平成27年度は180日間、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

⑨新座キャンパスの開放

平成27年3月1日～5月15日、土日祝日を含む74日間(3月18日、4月3日を除く)、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、1,059名が来場した。一般来場者には「構内サクラガイド」を配布した。平成28年も実施しており、新聞報道等により、来場者は増加している。

3-3 その他の自治体との提携(✳)

①長野県

長野県における次代を担う人材の育成・確保と地域の活性化を目的に、長野県との相互協力に関する協定を6月22日に締結した。長野県須坂市峰の原高原でのインターンシップ、御嶽山噴火の影響が続く王滝村の観光戦略の提言などの連携事業を実施した。

②栃木県茂木町

地域活性化の拠点として成功し、観光の目的地としての地位を確立している栃木県の「道の駅もてぎ」において、8月と9月の2回に渡り4泊5日の宿泊型インターンシップを実施した。インターンシップでは、旅行商品の企画を目標に、地元の人へのアンケート調査、周辺地域散策、ツアー企画会議などを行った。その中で、既存の観光資源を外部の女子大学生目線で捉え、「鮭の遡上」に着目。旅行商品を企画し、10月24日にツアーを実施した。

③福島県会津若松市

平成24年7月25日に締結した「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と会津若松市とのパートナーシップ協定」に基づき、8月、観光マネジメント学科の学生が現地でのインターンシップに参加。観光客のリピーターを増やすことを目的に現地のフィールドワークを行い、女子大学生らしいフレッシュな視点からの提案を行った。

④秋田県男鹿市

平成27年12月21日に「秋田県男鹿市と学校法人跡見学園 跡見学園女子大学との連携協力協定」を締結。活力ある地域づくりに関する事項、観光振興に関する事項、人材育成に関する事項について、相互に協力することになった。

⑤山形県西川町

平成27年12月22日に「山形県西川町と学校法人跡見学園 跡見学園女子大学との連携協力協定」を締結。活力ある地域づくりに関する事項、観光振興に関する事項、情報発信に関する事項、人材育成に関する事項について、相互に協力することになった。

(8) 大学創立50周年記念企画

女子大学が創設50周年を迎えるにあたり、その記念事業として、「跡見学園女子大学五十年史」、DVD「跡見学園女子大学50年史 1965-2015」を作成するとともに、「大学50周年記念式典」を開催した。

1) 「大学50周年史」の刊行 (✳)

□書名・刊行時期・出版社

書 名：跡見学園女子大学五十年史
 部 数：1,000部
 仕 様：A4H版 267頁 表紙クロス貼
 刊行日：平成27（2015）年10月7日（水）
 出版社：大日本印刷株式会社

□構成

第一部 五十年のあゆみ

序 章 跡見花蹊の前半生 - 「跡見学校」設立まで -
 第一章 女子大学創設にむけて - 開学への階梯 -
 第二章 「跡見学園女子大学」開学 - 二学科から四学科へ
 第三章 整備されるキャンパス - 四学科の充実と発展 -
 第四章 進化する教育 - 情報化・国際化のさきがけ -
 第五章 新時代の女子大学へ - 新生二学部の始動 -
 第六章 未来への飛翔 - 三学部からの発信 -

第二部 ゆかりのキャンパス

第一章 学生生活
 第二章 教員組織
 第三章 事務組織
 第四章 図書館・花蹊記念資料館・心理教育相談所
 第五章 一紫会の歴史と活動
 第六章 志木・新座・茗荷谷の今昔

第三部 五十年を語る

第一章 大学五十年を振り返る（インタビュー）
 第二章 開学期の学生（卒業生座談会）
 第三章 マネジメント学部創設期を語る（教員座談会）

資料編

跡見学園女子大学50年史DVDの概要

□刊行時期・制作会社

書 名：『跡見学園女子大学50年史 1965-2015』
 部 数：1,000部
 仕 様：DVD-ROM WindowsおよびMacintosh対応
 刊行日：平成27（2015）年10月21日（水）
 制作会社：株式会社文化工房

□構成

- (1) 跡見学園女子大学50年史
- (2) 卒業アルバム（卒業アルバムをPDF化）
- (3) 大学・大学院案内（大学案内・大学院案内をPDF化）
- (4) 学報（学報をPDF化）
- (5) 紫祭パンフレット（紫祭パンフレットをPDF化）
- (6) 大学案内ビデオ

- (7) 校歌（花桜）、学歌（紫の一もと）
- (8) 学術論文紹介
- (9) 資料編

2) 大学50周年式典の実施〈❀〉

10月24日（土）に文京キャンパスにおいて創立50周年記念式典を実施。式典は2号館1階のAtomi Blossom Hallにて11時より、祝賀会は3号館アリーナにて正午より開催した。当日の出席者は、来賓及び教職員含め225名であった。

(9) 図書館

跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで3,000点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のものとしての評価を得ている。

これらを広く一般に広めるべく、さまざまな広報活動を実施している。

1) 企画展

・新収資料展

本学図書館所蔵の百人一首の新収蔵資料を半期に分け、毎年春と秋の2回、新座図書館展示室で展示を行っている。本学学祖跡見花蹊に関する新収蔵資料の展示も合わせて行っている。

平成27年度は下記のとおり実施した。

第8回「百人一首・跡見花蹊関係新収資料展」

会期：平成27年5月8日（金）～5月30日（土）

展示数：35点

第9回「百人一首・跡見花蹊関係新収資料展」

会期：平成27年10月28日（水）～11月9日（月）

展示数：28点

・「百人一首展」

会期：平成27年7月13日（月）～8月4日（火）

会場：跡見ギャラリー

展示数：19点＋パネル7点

・「百人一首展～跡見学園女子大学図書館収蔵資料と学生かるた部～」

会期：平成27年12月8日（火）～平成28年1月29日（金）

会場：跡見ギャラリー

展示数：13点＋パネル他6点

2) 百人一首コレクション画像データベース

百人一首コレクションは、短期大学部図書館で収集保存を行っていたが、短大閉学に伴い、短期大学部図書館から女子大学図書館に移管された。これに伴い、平成20年から資料のデジタル化を進め、平成22年度からデジタルアーカイブとしてインターネット公開を続けてきた。

平成27年度、図書館システムのリプレースを気に、図書館OPACとの連携を含め、デジタルアーカイブを自館所有サーバー内から発信する方式に改めた。

(10) 花蹊記念資料館

1) 企画展

跡見花蹊に関する作品を中心に年間8回の企画展示を開催した。

開館日：月曜日～土曜日 *日曜・祝日、展示替え期間、大学休業日は休館

開館時間：9時30分～16時30分 入館：無料

| No. | 期 間 | 開館 日数 | 展覧会名 展示室1 | 展覧会名 展示室2 |
|-----|--------------------------|----------|----------------------------------|-------------------|
| 1 | 平成27年4月1日(水)～6月1日(月) | 51 | 50周年特別展示Ⅰ 「学祖 跡見花蹊の世界」展 | |
| 2 | 平成27年6月16日(火)～8月3日(月) | 43 | 50周年特別展示Ⅱ 「跡見花蹊の教育－画－画手本の世界」展 | |
| 3 | 平成27年9月24日(木)～11月7日(土) | 40 | 50周年特別展示Ⅲ 「花蹊の芸術性 画手本の世界」展 | |
| 4 | 平成27年11月24日(火)～12月19日(土) | 22 | 50周年特別展示Ⅳ 「花蹊の跡見流－書－」 展 | 第9回跡見廉書会 OG作品展 |
| 5 | 平成28年1月27日(水)～2月9日(火) | 11 | 博物館実習生模擬展示 | |
| 6 | 平成28年3月14日(月)～3月31日(木) | 13 | 「跡見家の女性たち教育・画・書」展 | |
| 合 計 | | 180 | | |

2) 跡見学園中学校高等学校における展示

| 期 間 | 開館 日数 | 中高展示 |
|-----------------------------|----------|----------------|
| 平成27年4月8日(水)～7月18日(土) | 80 | 花蹊記念資料館収蔵展(春期) |
| 平成27年7月24日(金)～平成28年2月20日(土) | 154 | 花蹊記念資料館収蔵展(後期) |
| 平成28年2月22日(月)～3月31日(木) | 33 | 花蹊記念資料館収蔵展(春期) |
| 合 計 | 267 | |

3) その他

- ・日本博物館協会や埼玉県博物館連絡協議会との交流を行い、調査回答、資料や情報を提供した。
- ・花蹊記念資料館発行の『にいくら』を作成して関係機関に配布した。
- ・図録の一部をホームページに公開した。
- ・「花蹊の書簡 収蔵品目録 新シリーズⅢ」を発刊した。
- ・一部英文付き「花蹊記念資料館パンフレット」を配布した。
- ・文京M2609室(スケルトン)において資料館収蔵品のパネルを展示。オープンキャンパスなどの行事に合わせて、随時展示替えを行った。

(11) ATOMIアカデミック・インターンシップ

マネジメント学部の2年生、実践ゼミナール受講者402名が参加した。『アカデミック・インターンシップ2015総括報告書』を作成し、その成果を受け入れ先企業、団体等へ配布した。

(12) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

1) 春学期(新座キャンパス)

| コース | 開催期間 | 受講者数 |
|----------------------------|-----------------------------------|------|
| ①教養コース 「軽井沢リゾート140年の歩み」 | 平成27年5月16日～5月30日 毎週土曜日[全3回] | 94名 |
| ②パソコンコース 「ホームページ作成入門」 | 平成27年4月25日(土)・5月2日(土) [2週連続講座] | 38名 |

| | | |
|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| ③語学コース 「英会話、中国語会話、朝鮮・韓国語会話」 | 平成27年5月9日～7月11日 毎週土曜日 [全10回] | 英会話 34名 中国語 12名 朝鮮・韓国語 14名 |
| ④古文書読解コース | 平成27年5月9日～7月11日 毎週土曜日 [全10回] | 21名 |

2) 春学期 (文京キャンパス)

| コース | 開催期間 | 受講者数 |
|-------------------------------|--------------------------------|------|
| ①教養コース 「異文化との出会い—留学体験を語る—」 | 平成27年6月6日～6月20日 毎週土曜日 [全3回] | 165名 |

3) 秋学期 (新座キャンパス)

| コース | 開催期間 | 受講者数 |
|--|--|---------------------------------|
| ①教養コース 「つながりのある社会を目指して—コミュニティデザインの世界へようこそ—」 | 平成27年10月3日～11月14日 (10月24日、31日は除く) 毎週土曜日 [全5回] | 59名 |
| ②パソコンコース 「Excel入門」 | 平成27年9月19日(土)・9月26日(土) [2週連続講座] | 38名 |
| ③語学コース 「英会話、中国語会話、朝鮮・韓国語会話」 | 平成27年10月3日～12月19日 (10月24日、31日は除く) 毎週土曜日 [全10回] | 英会話 28名 中国語 13名 朝鮮・韓国語 9名 |
| ④くずし字読解コース | 平成27年10月3日～12月19日 (10月24日、31日は除く) 毎週土曜日 [全10回] | 24名 |

4) 秋学期 (文京キャンパス)

| コース | 開催期間 | 受講者数 |
|--------------------------|--------------------------------------|------|
| ①教養コース 「人をつなぐ仕組みを考える」 | 平成27年11月21日～12月5日 毎週土曜日 [全3回] | 79名 |
| ②パソコンコース 「Excel入門」 | 平成27年12月12日(土)・12月19日(土) [2週連続講座] | 38名 |

(13) 講演会・講習会

1) 全学共通科目運営センター

①FD講演会

日 時 平成27年11月18日(水) 13:00～14:30

場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「入学者の現状と背景分析

—207大学入学前教育結果と全国350高校ヒアリング調査から考察する—」

講演者 麻柄真治氏(株式会社ナガセ 執行役員ビジネススクール本部長兼大学事業部長)

②FD研修会

日 時 平成28年2月23日(火) 14:50～16:00

場 所 新座キャンパス2283講義室

テーマ 「本学における語学教育と海外語学研修について」

プログラム 1. 本学の語学教育の概況 石田信一教授

2. 英語教育について 山崎妙准教授

3. 初修外国語教育について 池上貞子教授

4. 海外語学研修について 寺本敬子助教

5. 質疑応答

2) 文学部

①FDワークショップ

日 時 平成27年6月24日(水) 13:00~14:30
 場 所 新座キャンパス2282教室
 テーマ 「多人数科目の授業運営について」
 発表者 笹島雅彦教授、渡邊大輔助教、小坂橋靖夫教授、宮崎圭子教授

3) マネジメント学部

①キャリアデザイン講演会

日 時 (1) 平成27年12月1日(火) 16:30~18:10
 (2) 平成27年12月4日(金) 16:30~18:10
 場 所 (1)(2) 新座キャンパス 花蹊メモリアルホール
 講 師 (1) 川邊彌生氏(合同会社オモテナシズム 代表・マネジングダイレクター)
 (2) 小島貴子氏(グローバル・キャリア教育センター副センター長)
 パネリスト (1) 卒業生2名 (2) 卒業生2名
 コーディネーター (1)(2) 山下奨助教
 テーマ (1) 「自分らしい素敵な生き方を送るために」
 ~女性ならではの柔軟性と共感性を活かし社会に貢献しよう~
 (2) 「自分らしい素敵な生き方を創るために」
 ~女性ならではの柔軟性と共感性を活かし社会に貢献しよう~

②第1回マネジメント学部・観光コミュニティ学部FDワークショップ

日 時 平成27年6月24日(水) 13:00~14:30
 場 所 新座キャンパス1409教室
 テーマ 「初任者に必要な知識の普及」
 講 師 宮崎正浩教授、村上雅巳准教授、塩月亮子教授、石塚正敏教授

③第2回マネジメント学部・観光コミュニティ学部FDワークショップ

日 時 平成27年12月9日(水) 13:00~14:30
 場 所 新座キャンパス3155教室
 テーマ ①研究倫理問題に関する全学の動向
 ②インターンシップ実施上の工夫
 ③研究倫理・倫理教育をめぐって
 講 師 笠原清志教授、石塚正敏教授、篠原靖准教授

④第3回マネジメント学部FDワークショップ

日 時 平成28年2月23日(火) 12:30~13:30
 場 所 新座キャンパス3155教室
 テーマ 「ATOMIアカデミアの新プログラムの解説」
 講 師 鳥咲子准教授、許伸江助教

4) 観光コミュニティ学部

マネジメント学部と合同開催

①第1回マネジメント学部・観光コミュニティ学部FDワークショップ

日 時 平成27年6月24日(水) 13:00~14:30
 場 所 新座キャンパス1409教室
 テーマ 「初任者に必要な知識の普及」
 講 師 宮崎正浩教授、村上雅巳准教授、塩月亮子教授、石塚正敏教授

②第2回マネジメント学部・観光コミュニティ学部FDワークショップ

- 日 時 平成27年12月9日（水）13：00～14：30
 場 所 新座キャンパス3155教室
 テーマ ①研究倫理問題に関する全学の動向
 ②インターンシップ実施上の工夫
 ③研究倫理・倫理教育をめぐる
 講 師 笠原清志教授、石塚正敏教授、篠原靖准教授

5) 人文科学研究科日本文化専攻

①第1回異文化交流フォーラム

- 日 時 平成27年7月11日（土）15：00～17：10
 場 所 文京キャンパス2号館 M2308教室
 テーマ 「海外の研究者の日本文学研究」
 講 師 クルボノヴァ・グルノザ氏（ウズベキスタン、明治大学大学院）
 モハマド・イムラン氏（インド、専修大学大学院）

②第2回異文化交流フォーラム

- 日 時 平成27年12月12日（土）15：00～17：10
 場 所 文京キャンパス2号館 M2409教室
 テーマ 「西洋と東洋の間にある滑りやすい架け橋—禅とZENの語り合い」
 講 師 ダヴァン・ディディエ氏（フランス国立極東学院東京支部代表）

6) 心理教育相談所

①新座相談所 一般対象講習会（全5回）

| 回 | 日 程 | 時 間 | 講 師 | テ ー マ |
|---|----------|-------------|-------|-------------------------------|
| 1 | 7月18日（土） | 13:00～14:30 | 松寄くみ子 | 変化を起こす工夫 —小さなことから コツコツと— |
| 2 | 9月5日（土） | 13:00～14:30 | 宮岡 佳子 | 心のリラクセーション |
| 3 | 9月16日（水） | 10:40～12:10 | 中野 敬子 | 睡眠と夢 |
| 4 | 9月29日（火） | 13:00～14:30 | 酒井 佳永 | 「うつ」からの社会復帰 —本人と家族のとりくみかた— |
| 5 | 10月3日（土） | 13:00～14:30 | 野島 一彦 | 不登校の理解と対応 |

②文京分室ATOMIさくらルーム 一般対象講習会（全5回）

| 回 | 日 程 | 時 間 | 講 師 | テ ー マ |
|---|----------|-------------|-------|-------------------------------|
| 1 | 1月14日（木） | 13:00～14:30 | 中野 敬子 | 睡眠と夢 |
| 2 | 1月21日（木） | 10:30～12:00 | 松寄くみ子 | 変化を起こす工夫 —小さなことから コツコツと— |
| 3 | 1月21日（木） | 13:00～14:30 | 野島 一彦 | 不登校の理解と対応 |
| 4 | 2月6日（土） | 10:30～12:00 | 宮岡 佳子 | 心のリラクセーション |
| 5 | 2月18日（木） | 13:00～14:30 | 酒井 佳永 | 「うつ」からの社会復帰 —本人と家族のとりくみかた— |

③不登校を考える親の会

・新座相談所

平成27年4月24日～平成28年3月4日、第1・第3金曜日に開催。定員：10名。

・文京分室ATOMIさくらルーム

平成27年4月9日～平成28年3月24日、第2・第4木曜日に開催。定員：10名。

(14) 学生による授業評価の実施

1) 春学期

実施日 平成27年7月16日(木)、18日(土)～24日(金)

実施科目数 712科目

履修登録者数 38,436名 回収数 29,707名 回収率 77.3%

2) 秋学期

実施日 平成28年1月15日(金)、21日(木)～27日(水)

実施科目数 726科目

履修登録者数 33,205名 回収数 25,803名 回収率 77.7%

(15) 入試状況

1) 平成28年度入試結果(平成28年3月31日)

①大学院

(単位：名)

| 研究科 | 専攻 | 定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 手続者数 | 入学者数 |
|--------|--------|----|------|------|------|------|------|
| 人文科学 | 日本文化 | 8 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 臨床心理学 | 12 | 37 | 36 | 17 | 15 | 12 |
| マネジメント | マネジメント | 10 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| 合計 | | 30 | 45 | 44 | 25 | 22 | 19 |

②学部

(単位：名)

| 学部 | 学科 | 定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 手続者数 | 入学者数 |
|--------------|-------------|-----|------------|------------|-----------|-----------|---------|
| 文 | 人 文 | 160 | 415 (0) | 400 (0) | 385 (0) | 184 (0) | 139 (0) |
| | 現代文化表現 | 120 | 247 (3) | 236 (3) | 226 (2) | 136 (2) | 126 (2) |
| | コミュニケーション文化 | 110 | 272 (3) | 260 (2) | 249 (2) | 124 (2) | 108 (1) |
| | 臨床心理 | 120 | 328 | 312 | 290 | 158 | 135 |
| マネジメント | マネジメント | 180 | 459 (2) | 443 (2) | 429 (2) | 220 (2) | 193 (2) |
| | 観光マネジメント | — | — (2) | — (2) | — (1) | — (1) | — (1) |
| | 生活環境マネジメント | 80 | 113 (1) | 108 (1) | 103 (0) | 66 (0) | 60 (0) |
| 観光 コミュニティ | 観光デザイン | 120 | 408 | 396 | 345 | 179 | 159 |
| | コミュニティデザイン | 80 | 102 | 100 | 100 | 51 | 45 |
| 合計 | | 970 | 2,344 (11) | 2,255 (10) | 2,127 (7) | 1,118 (7) | 965 (6) |

* () は外数で編入学

(16) 修了者数・卒業者数

1) 平成27年度大学院修了者数 (単位：名)

| 研究科 | 専攻 | 修了者数 |
|-----------|----------|------|
| 人文科学研究科 | 日本文化専攻 | 2 |
| | 臨床心理学専攻 | 15 |
| マネジメント研究科 | マネジメント専攻 | 5 |
| 合計 | | 22 |

※9月修了生を含む。

2) 平成27年度大学卒業者数 (単位：名)

| 学部 | 学科 | 卒業者数 |
|----------|---------------|------|
| 文学部 | 人文学科 | 179 |
| | 現代文化表現学科 | 102 |
| | コミュニケーション文化学科 | 113 |
| | 臨床心理学科 | 133 |
| | (計) | 527 |
| マネジメント学部 | マネジメント学科 | 210 |
| | 観光マネジメント学科 | 102 |
| | 生活環境マネジメント学科 | 69 |
| | (計) | 381 |
| 合計 | | 908 |

※9月卒業生を含む。

(17) 平成27年度進路状況及び業種別就職状況 (平成28年3月18日卒業者)

平成25年12月16日発「文部科学省における大学等卒業者の「就職率」の取り扱いについて (通知)」に基づき下記の通り算出。なお「就職率」公表に際しては「調査時点」「就職希望者」「就職者」などの定義や算出方法の明示が必要である。これにならい、下記の通り定義する。(定義は文部科学省の定義に準じている)

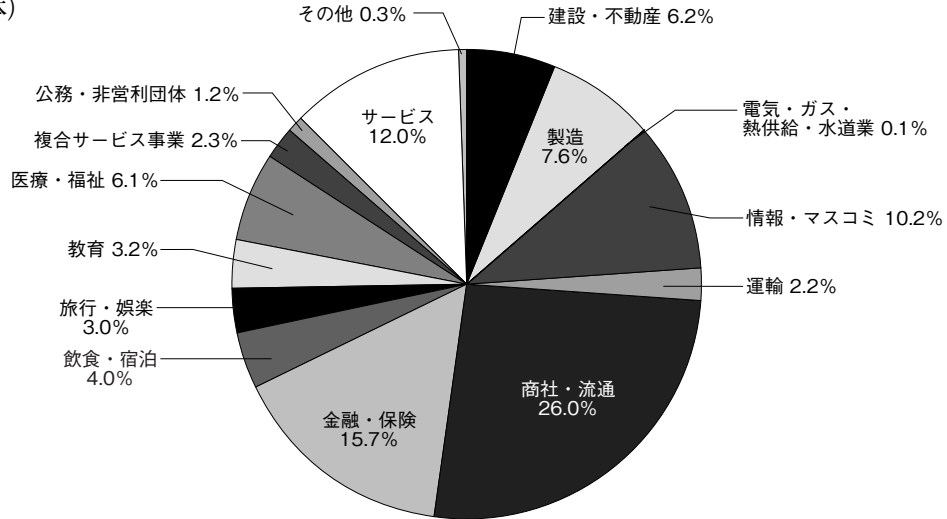
- ①就職率…就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもの。
- ②就職者…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。
- ③就職希望者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- ④調査時点…5月1日現在

【進路状況】(文部科学省基準「就職率」) (単位：名)

| 学部 | 卒業者数 | 就職希望者数 | 就職者数 | 就職率 ※小数第二位を四捨五入 | 進学 | その他 |
|----------|------|--------|------|--------------------|----|-----|
| 文学部 | 527 | 451 | 423 | 93.8% | 21 | 83 |
| マネジメント学部 | 381 | 360 | 353 | 98.1% | 2 | 26 |
| 合計 | 908 | 811 | 776 | 95.7% | 23 | 109 |

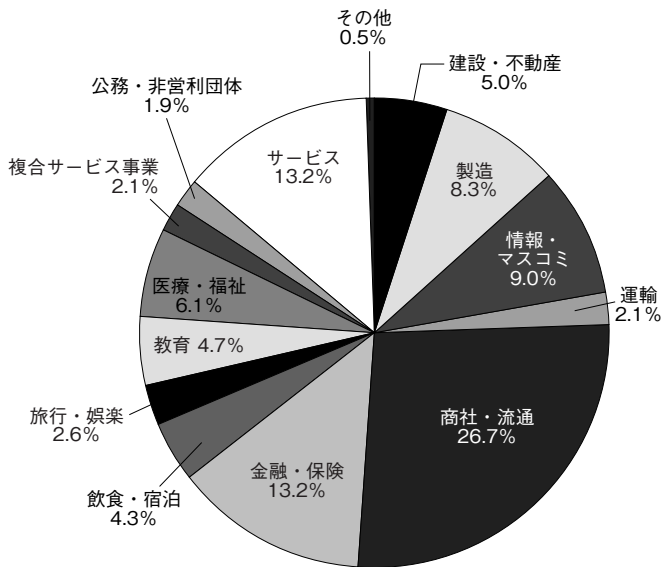
【業種別就職状況】

(全体)

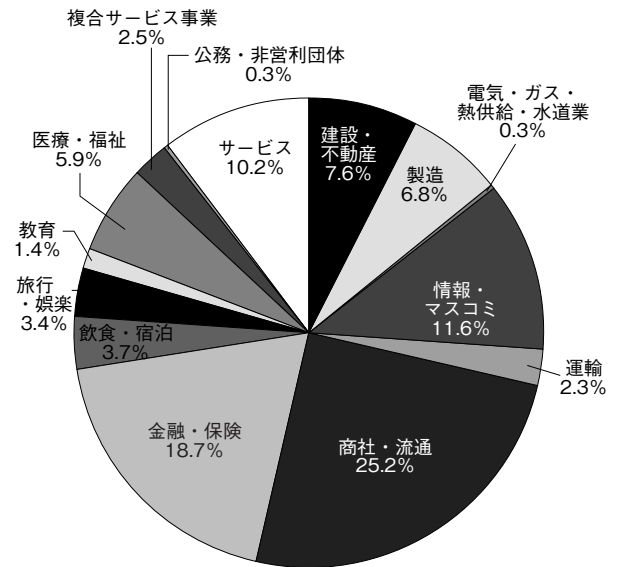


(学部別)

文学部



マネジメント学部



・中学校高等学校

(1) 中学校高等学校の実績

〈※〉印は平成27年度事業計画事業

＜教育目的＞ 〈※〉

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスのとれた発達による全人教育を実践した。男女共同参画社会・生涯学習社会の構築を目指す21世紀の日本を生き抜く女性の育成を目指した。

＜教育目標＞ 〈※〉

上記の目的達成のため以下の教育目標を掲げる。

1 生活指導面

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）

高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

2 学習指導面

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成

高校生：自己の進路目的に向けた応用力の養成

＜教育方針＞

総論 〈※〉

平成27年度は、28年度から全面実施予定のグランドデザインの前倒しをしつつ、特に教育目標達成のために学校運営の可視化と、説明責任を果たすことのできる内実を作り、そのための業務を構築する。さらに、併設型中高一貫校として、6年間を見据えたカリキュラムを再構築した。また、自己点検・自己評価や、さまざまなレベルにおける外部との交流を通し、平成26年度から導入した学校評価・第三者評価をふまえ、事業そのものの改善をはかるように試みた。

各論

1 組織 〈※〉

①命令系統の徹底

・当初の目標通りに実施している。特に4月に進学推進企画室を校務部長のもとに新設した。

②各種会議の機能の徹底

・当初の目標通りに実施している。特に校長は、必要に応じて、教員の意見を聴き、斟酌して物事を決定した。

2 運営 〈※〉

①グランドデザインの前倒し実施 〈※〉

跡見学園中学校高等学校の未来創造の象徴としてのグランドデザインの実施可能な部分の前倒し実施について、習熟度別クラス編成や、カリキュラムについて、具体的な施策となるよう検討を重ねた。

＜新制服の導入＞

現制服の精神を引き継いだ新制服の導入を決定し、6月以来、業者選定、デザイン決定、そして9月中旬には学内外に新制服を披露し、新入生は新制服となった。同時にバックや体操着の変更も行った。

| 日付 | 会議等 | 内容 |
|----------|------------|--------------------|
| 7月1日（水） | 第一回制服製作委員会 | デザイナー・担当者顔合わせ、学校説明 |
| 7月21日（火） | 理事会・評議員会 | 新制服制定報告、承認 |

| 日付 | 会議等 | 内容 |
|----------|------------------------|-------------------|
| 7月23日(木) | 第二回制服製作委員会 | 新制服6提案、説明 |
| 7月31日(金) | 制服製作委員会での意見聴取 | 新制服サンプル案決定 |
| 8月29日(土) | 商議会・学校運営会議 | 制服製作委員会報告・デザイン画披露 |
| 8月31日(月) | 教職員会議 | 制服製作委員会報告・デザイン画披露 |
| 9月1日(火) | 対生徒説明 | 新入生への制服の導入 |
| 9月1日(火) | 経営会議 | 同上、今後の日程についての説明 |
| 9月4日(金) | 対塾への説明 | 新制服についての情報リリース |
| 9月10日(木) | 教職員・学園関係者等対象新制服サンプル披露会 | 新制服サンプル披露 |
| 9月11日(金) | 第三回制服製作委員会 | 新制服案決定 |
| 9月17日(木) | 常務理事会 | 新制服サンプル披露 |
| 9月18日(金) | 対生徒サンプル披露 | 同上 |
| 9月19日(土) | 保護者説明会・学校説明会 | 同上 |
| 9月29日(火) | 経営会議 | 一連の結果報告 |

②業務要綱の整備〈✳〉

- ・各部署に業務報告書の作成を徹底させ、そこで業務内容を集約し、マニュアル化となるように進めた。

③事務組織の立て直しの徹底〈✳〉

- ・庶務と入試・広報の業務区分を明確にしながらも、協力しあい作業を進めた。
- ・会計・経理は原則として教員は関わらず、事務職が行うことを基本に実施した。

④会議のあり方〈✳〉

- ・商議会・学校運営会議・教員会議・教職員会議・学年主任会議・教科主任会議等すべての会議の記録を保管に努めた。また必要に応じて会議録は公開した。
- ・商議会・学校運営会議・教員会議・教職員会議の書記は、事務職が行った。

⑤「学校評価」・自己点検・自己評価を踏まえた改善策の実行〈✳〉

- ・今年度も学校評価アンケートを実施し、分析をする。4月に主任は、部署・教科としての目標を立てている。また、各教員は事業計画・グランドデザインに照らし、分掌・教科の自己目標を立てて業務を進めている。5月から7月にかけて校長は全教員へ面接を行った。

⑥授業時数の確保〈✳〉

- ・授業時数確保のため定期考査後も授業を行った。

⑦「数学」・「理科」の強化〈✳〉

- ・学力推移調査の結果・外部の意見を踏まえ、校務部長の指導のもと数学・理科の教科指導体生の確立を目指した。

⑧「フューチャーセンター」の活用〈✳〉

- ・4月に「フューチャーセンター」構想委員会を設置。生徒達がフューチャーセンターのオープンスペースで意見交換ができるようにした。また、9月に奈良県立櫻井高等学校との交流会を実施し、生徒の活動を支援した。

⑨英国エディンバラ公国際アワード（青少年体験活動制度）への参加

7月に教職員2名が英国エディンバラ公国際アワード・ジャパン、アワードリーダー研修会及び青少年体験活動奨励制度アドバイザー講座（日本語版）を受講し、研修を修了。

9月、今年の英国エディンバラ公国際アワード（青少年体験活動制度）に高2、高1の生徒5名が自発的に応募して参加。現在、研修を終えた教職員2名がアワードリーダーとなり生徒の体験活

動の支援を行った。

結果、3名が英国エディンバラ公国際アワード（青少年体験活動制度）のブロンズを無事修了し、文部科学省で行われた表彰式に参加した。

⑩跡見学園女子大学との施設の相互利用を図る〈※〉

文京キャンパスの大学3号館（旧短大体育館）を中高体育の授業としての利用。プールを大学の授業、中高作法室を文京アカデミーで利用。跡見学園女子大学との施設の相互利用を進めた。

3 事務

①学校汎用システムの導入〈※〉

・校務システムを全面改訂し、新しい校務システムを4月以降導入し、システム内容を現場の運用にあわせて調整中。成績処理関係は12月完成。指導要録は平成28年2月完成。入試システムについてもグランドデザインに沿った形の入試システムになるよう11月までに改良。

②業務の平準化〈※〉

・書式の統一、他機関との整合性を意識して更なる業務の平準化を目指した。

③支出の再考〈※〉

・適正な支出かどうか、常に再考を行い無駄な支出を抑えた。

4 教育

併設型中高一貫校として、カリキュラム・シラバスの見直しを行い、法令に基づいた学校教育運営を行った。

①進学支援の充実〈※〉

進路指導を中心として、BenesseのFINE SYSTEMの利用を全教員に促し、きめ細かなデータに基づく進路指導体制を整備し充実させている。進路指導を中心とした模試のデータ分析や各担任による面談の実施により生徒の実態の把握に努めるとともに、進路指導、教科、学年が組織的に学期中・長期休業中の補習・講習、さらに3年生の受験直前講習の体制を築き、生徒の目標達成に向けて細やかな指導を実施している。キャリア教育を中学3年から実施し、進路についての関心を高めていく工夫をしている。

また、図書館では、より利用者が学習しやすいように、9月より一部放課後利用の図書館のルールを変更し、よりよい学習環境の改善に努めている。

②学力テスト実施状況

下記の通り、学力テストを実施した。

| 日付 | 学年 | テスト | 形式 | 科目 |
|-------|----|------------------|-----|------------------------------|
| 4月21日 | 中3 | 全国学力状況調査 | 記述 | 国語・数学・理科 |
| 4月30日 | 中1 | 学力推移調査 | 記述 | 国語・数学・英語・学習実態調査 (中1は英語なし) |
| | 中2 | | | |
| | 中3 | | | |
| | 高3 | 学力テスト【全統マーク模試】 | マーク | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 5月28日 | 高3 | 学力テスト【総合学力マーク模試】 | マーク | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 7月2日 | 高1 | 学力テスト【総合学力テスト】 | 記述 | 国語・数学・英語 |
| | 高2 | | | |
| | 高3 | | | |

| 日付 | 学年 | テスト | 形式 | 科目 |
|--------|----|---------------------|-----|--------------------|
| 9月1日 | 中1 | 全校一斉学力テスト【全国総合学力診断】 | 記述 | 国語・数学・英語・学習意欲アンケート |
| | 中2 | | | |
| | 中3 | | | |
| | 高1 | 全校一斉学力テスト【スタディサポート】 | 記述 | 国語・数学・英語・学習状況リサーチ |
| | 高2 | | | |
| 9月17日 | 高3 | 学力テスト【ベネッセ・駿台マーク】 | マーク | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 10月8日 | 高3 | 学力テスト【ベネッセ・駿台記述】 | 記述 | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 11月5日 | 中1 | 学力推移調査 | 記述 | 国語・数学・英語・学習実態調査 |
| | 中2 | | | |
| | 中3 | | | |
| | 高1 | 学力テスト【総合学力テスト】 | 記述 | 国語・数学・英語 |
| | 高2 | 学力テスト【総合学力テスト】 | 記述 | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 11月13日 | 高3 | 学力テスト【ベネッセ・駿台マーク】 | マーク | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 1月21日 | 高1 | 学力テスト【総合学力テスト】 | 記述 | 国語・数学・英語 |
| | 高2 | 学力テスト【総合学力テスト】 | 記述 | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |
| 2月12日 | 中1 | 学力推移調査 | 記述 | 国語・数学・英語・学習実態調査 |
| | 中2 | | | |
| | 高2 | 学力テスト【センター試験早期対策模試】 | マーク | 国語・数学・英語・地歴・公民・理科 |

③生活指導〈✳〉

・挨拶、日常生活における礼儀・作法の指導の徹底を図っている。

④国際交流の充実〈✳〉

- 平成27年度は新規で「ターム留学」、「第一回ニュージーランド体験留学」を実施した。
- ターム留学についての私学財団への補助金を獲得した。
- 夏期海外語学研修での訪問先、姉妹校St Rita's collegeの生徒の短期受け入れを12月に実施した。

| 研修名 | 研修先(訪問)先 | 研修期間 | 参加人数 | 概要 |
|-----------------|--|-------------------|------|--|
| ターム留学 | St. Aidan's Anglican Girls' School (オーストラリア) | 7月12日(日)～9月19日(土) | 4名 | オーストラリア、ブリスベンのSt. Aidan's Anglican Girls' Schoolに、高2の生徒4名が10週間(1ターム)、留学生として在籍し、ホームステイ先から通学し学んだ。 |
| 第21回夏期海外語学研修 | St. Rita's College (オーストラリア) | 7月20日(月)～8月4日(火) | 20名 | 高1生徒20名がオーストラリア、ブリスベンにある姉妹校St. Rita's Collegeを訪問した。ホストファミリーとの交流やSt. Rita's College校での授業を通して、現地の方々との友好を深めた。 |
| 第1回ニュージーランド体験留学 | Mt. Mutt College (ニュージーランド) | 8月9日(日)～8月16日(日) | 16名 | 中2・中3の生徒16名が文京区の代表としてニュージーランドの南島を訪れ、アシュバートン郡長やクライストチャーチ市長への表敬訪問、現地学校での授業参加、ホームステイや街探検など多彩な活動を行った。 |

⑤教員研修(学外・学内)の整備〈✳〉

○5月22日(金)・6月11日(木)・7月8日(水)

中学1年、2年教員対象ソーシャルスキルワーク研修を実施した。

○10月23日（金）

全教職員対象研修を実施した。「いじめ問題を考える～法的解釈と教育現場での対応」

⑥課外活動に関わるあり方の再検討〈✳〉

・クラブ活動と学習とのバランスの取れる活動計画を作成した。

5 災害対策の徹底〈✳〉

○4月と9月に防災訓練を実施。

○私立中学高等学校協会の防災週間における学校防災訓練の参加。

9月1日 私立学校安否情報電話訓練へ参加。

9月8日 緊急避難校ネットワーク模擬登録訓練へ参加。

6 入試・広報

①入試の日程及び各回募集人数〈✳〉

平成28年度帰国生入学試験募集人数

| | | |
|-----|--------|------------------|
| 帰国生 | 12月17日 | Iクラス・Pクラス合わせて若干名 |
|-----|--------|------------------|

平成28年度一般入学試験・特別入学試験募集人数

| | | |
|-------|------|-----------------|
| 第1回入試 | 2月1日 | Iクラス20名・Pクラス90名 |
|-------|------|-----------------|

| | | |
|-----|------|---------|
| I選考 | 2月1日 | Iクラス20名 |
|-----|------|---------|

| | | |
|-------|------|-----------------|
| 第2回入試 | 2月2日 | Iクラス20名・Pクラス60名 |
|-------|------|-----------------|

| | | |
|-----|------|---------|
| P選考 | 2月2日 | Pクラス20名 |
|-----|------|---------|

| | | |
|-------|------|-----------------|
| 第3回入試 | 2月3日 | Iクラス10名・Pクラス30名 |
|-------|------|-----------------|

平成28年度編入・転入学試験募集人数

| | | |
|-----|-------|-----|
| 編入学 | 2月18日 | 若干名 |
|-----|-------|-----|

| | | |
|-----|-------|-----|
| 転入学 | 2月18日 | 若干名 |
|-----|-------|-----|

平成28年度入試は、グランドデザインに添った新たな入試として、Iクラス、Pクラスの2コースに分けた募集を行った。

②広報活動の強化〈✳〉

○塾訪問の実施

○校風調査（日能研）の実施

○ミニ説明会（2科目）の実施

③平成28年度入試の反省と29年度入試に向けて広報活動の立案

○グランドデザイン、入学者非入学者アンケート、校風調査結果を踏まえた広報活動の改善

④卒業生を迎えてのシンポジウムの継続

タイトル 跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム

テーマ マイライフ

日時 平成27年11月28日（土）14：00～15：30

場所 跡見李子記念講堂

パネリスト 友末 優子（バイエル薬品株式会社腫瘍・血液領域事業部Ra-223オンコロジーマーケティングマネジャー）

木村真樹子（独立行政法人国際協力機構中部国際センター市民参加協力課職員）

宮内 華子（リゾートトラスト株式会社社会員制本部東京支社営業部）

住川 明子（跡見学園中学校高等学校副校長、社会科教諭）

⑤学校説明会日程表

本校主催学校説明会実績（平成27年度4～1月）

| 実施日 | 名 称 | 場 所 | 来場者（組数） | | | 備 考 |
|------------------|-------------------------------|---------------|----------|-----|-----|----------------------------|
| | | | H27 | H26 | H25 | |
| 4/23（木） | 第1回塾対象説明会（入試報告会） | 本校 | 40 | 144 | — | |
| 4/25（土） | ミニ学校説明会・ミニ体験授業 ・なんでも相談会 | 本校 | 21 | 18 | 19 | 定員は25組 |
| 4/29 （水・祝） | 女子校アンサンブル | 学習院女子 大学 | 53 | 58 | 400 | H25は算出方法 が異なる |
| 5/16（土） | 第1回学校説明会 | 本校 | 233 | 226 | 25 | H25は、ミニ説 明会を開催 |
| 5/17（日） | Discover私立一貫教育 東京私立中合同 相談会 | 東京国際 フォーラム | 76 | 76 | 100 | |
| 5/31（日） | ベネッセ進学フェア | 東京国際 フォーラム | 68 | 53 | 59 | |
| 5/31（日） | 文京区私立中学高等学校連合進学相談会 | 秋葉原 UDXビル | 13 | 12 | 17 | |
| 6/11（木） | 四谷大塚学校説明会 | 本校 | 75 | 92 | 114 | |
| 6/13（土） | クラブ見学会 | 本校 | 97 | 144 | 378 | 帰国生対象説 明会は今年度 から実施 |
| | 帰国生対象説明会 | 本校 | 9 | — | — | |
| 6/13（土） | 私立中学・高校進学相談会in松坂屋上野 店 | 上野松坂屋 | 31 | 28 | 40 | |
| 6/14（日） | 受験なんでも相談会 | 新宿NSビル | 26 | 13 | 40 | |
| 6/28（日） | 日能研フェア | 青山学院 大学 | 78 | 75 | 99 | |
| | 日能研フェア | 神奈川大学 | 3 | 5 | 17 | |
| 7/11（土） | 第2回学校説明会 | 本校 | 302 | 324 | 236 | |
| 7/12（日） | 四谷大塚模試における説明会 | 本校 | 180 | 324 | 300 | |
| 7/16（木） | 栄光ゼミナール学校説明会 | 本校 | 65 | 79 | 82 | |
| 7/25（土） | JOBA学校フェア | JOBA | 4 | 8 | 15 | 帰国生対象 |
| 7/25（土） 26（日） | 2015東京都私立学校展 | 東京国際 フォーラム | 58 | 72 | 100 | |
| 8/1（土） | ミニ学校説明会・ミニ体験授業 ・なんでも相談会 | 本校 | 24 | — | — | 8月のミニ学 校説明会は今 年度から実施 |
| 9/12（土） 13（日） | 文化祭入試広報コーナー（2日間） | 本校 | 27 44 | 29 | 40 | |
| 9/19（土） | 帰国生対象説明会 | 本校 | 21 | — | — | 帰国生対象説 明会は今年度 から実施 |
| | 第3回学校説明会 | 本校 | 323 | 204 | 178 | |
| 9/24（木） | 市進学院学校説明会 | 本校 | 15 | 41 | 42 | 昨年度までは 6月実施 |
| 10/3（土） | サピックス学校説明会 | 本校 | 11 | 71 | 88 | 昨年度までは 5月実施 |
| 10/10（土） | 第4回学校説明会 | 本校 | 349 | — | — | 10月の学校説 明会は今年度 から実施 |
| | ミニ学校説明会・ミニ体験授業 ・なんでも相談会 | 本校 | 18 | 18 | 27 | |
| 10/18（日） | 四谷大塚模試会場における説明会 | 本校 | 213 | 200 | 300 | |
| | 東京私立中学高等学校池袋進学相談会 | 池袋サン シャイン | 47 | 55 | 70 | |

| 実施日 | 名 称 | 場 所 | 来場者 (組数) | | | 備 考 |
|-----------|----------------------------|-----|----------|-----|-----|--------------------------------|
| | | | H27 | H26 | H25 | |
| 10/25 (日) | ホームカミングデー 入試相談会 | 本校 | 0 | — | — | 新制服の質問 多数 学校案内持参 多数 |
| 11/7 (土) | 体験授業 | 本校 | 119 | 211 | 215 | |
| 11/21 (土) | 第5回学校説明会 (入試説明会) | 本校 | 322 | 457 | 563 | 今年度より入 試説明会 学校説明会で 実施 |
| | 第5回学校説明会 (学校説明会) | | 109 | | | |
| 11/28 (土) | シンポジウム『マイライフ』 | 本校 | 35 | 130 | 128 | |
| 12/12 (土) | 第6回学校説明会 (入試説明会) | 本校 | 217 | 292 | 535 | 今年度より入 試説明会 学校説明会で 実施 |
| | 第6回学校説明会 (学校説明会) | | 69 | | | |
| | ミニ学校説明会・ミニ体験授業 ・なんでも相談会 | 本校 | 23 | 13 | 36 | 昨年度までは 11月実施 |
| 1/10 (日) | 第7回学校説明会 | 本校 | 199 | 197 | 62 | H25は、体験授 業を開催 |

○ランドデザインの周知を図るため、塾幹部 (15名) を対象とした「跡見を知っていただく会」を開催した。(9月4日 (金))

7 入試状況

1) 中学校平成28年度入試結果

①帰国生入学試験 ※ () 内の数字は、第2志望での合格者数 (単位: 名)

| | 募集定員 | 出願数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|-------|------|-----|------|-------|--------|
| I クラス | 若干名 | 10 | 10 | 7 (1) | 1 (1) |
| P クラス | 若干名 | 3 | 3 | 5 (4) | 1 (1) |

②一般入学試験 ※ () 内の数字は、第2志望での合格者数 (単位: 名)

| | 募集定員 | 出願数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|-------|------|-----|------|----------|----------|
| I クラス | 50 | 404 | 151 | 76 | 47 |
| P クラス | 180 | 435 | 187 | 216 (68) | 142 (38) |

③特別入学試験 I 選考 (単位: 名)

| | 募集定員 | 出願数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|-------|------|-----|------|------|--------|
| I クラス | 20 | 268 | 261 | 98 | 22 |
| P クラス | | | | 45 | 9 |

④特別入学試験 P 選考 (単位: 名)

| | 募集定員 | 出願数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|--|------|-----|------|------|--------|
| | 20 | 304 | 133 | 85 | 28 |

⑤帰国生編入・転入学試験 (単位: 名)

| | 募集定員 | 出願数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学予定者数 |
|--|------|-----|------|------|--------|
| | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 |

8 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

- ①平成27年度卒業者数（平成28年3月3日） 243名
- ②平成27年度卒業生（平成28年3月26日）大学等合格状況
- | | |
|----------------|---------|
| 4年制大学【国公立】合格者数 | 9名 |
| 4年制大学【私立】合格者数 | 710名 |
| 大学校 | 1名 |
| 短期大学 | 合格者数 2名 |
| 専門学校 | 合格者数 1名 |
| 留学 | 2名 |

- 2) 平成27年度中学校卒業者数（平成28年3月19日） 301名

9 講演会

| | |
|---------------|------------------------|
| カウンセリングルーム 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生 生徒 |
| 講 師 | 大熊雅士氏（東京学芸大学教職大学院特任教授） |
| 月 日 | 平成27年4月10日（金） |
| テーマ | ソーシャルスキルワーク① |

| | |
|-------|-----------------------|
| 校務 主催 | |
| 対 象 | 中学2・3年生 保護者及び生徒 |
| 講 師 | エデュケーショナルネットワーク |
| 月 日 | 平成27年4月11日（土） |
| テーマ | 学校内個別指導（学習支援プログラム）説明会 |

| | |
|---------|-----------------------------|
| 高校3年 主催 | |
| 対 象 | 高校3年生 保護者 |
| 講 師 | 河合塾講師 |
| 月 日 | 平成27年4月25日（土） |
| テーマ | 2015年度入試の結果分析・受験生保護者としての心構え |

| | |
|---------|-----------------------|
| 中学1年 主催 | |
| 対 象 | 中学1年生 生徒 |
| 講 師 | 大塚警察署 防犯課・交通課署員 |
| 月 日 | 平成27年5月7日（木） |
| テーマ | 「セイフティ教室」通学途中における危険回避 |

| | |
|---------|-----------------------------|
| 高校2年 主催 | |
| 対 象 | 高校2年生 保護者 |
| 講 師 | 河合塾講師 |
| 月 日 | 平成27年5月9日（土） |
| テーマ | 2015年度入試の結果分析・受験生保護者としての心構え |

| | |
|---------|-----------------------------|
| 高校1年 主催 | |
| 対 象 | 高校1年生 保護者 |
| 講 師 | 河合塾講師 |
| 月 日 | 平成27年5月16日 (土) |
| テーマ | 2015年度入試の結果分析・受験生保護者としての心構え |

| | |
|---------------|-------------------------|
| カウンセリングルーム 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生 生徒 |
| 講 師 | 大熊雅士氏 (東京学芸大学教職大学院特任教授) |
| 月 日 | 平成27年5月22日 (金) |
| テーマ | ソーシャルスキルワーク② |

| | |
|---------|----------------|
| 中学1年 主催 | |
| 対 象 | 中学1年生 生徒 |
| 講 師 | ベネッセ石坂氏 |
| 月 日 | 平成27年5月28日 (木) |
| テーマ | (夢) 実現にむけて |

| | |
|-------------|---------------|
| 進路指導主催 特別活動 | |
| 対 象 | 高校1年生～3年生 生徒 |
| 講 師 | 上智大学の先生 |
| 月 日 | 平成27年6月2日 (火) |
| テーマ | 上智大学説明会 |

| | |
|-------------|-------------------|
| 進路指導主催 特別活動 | |
| 対 象 | 高校1年生～3年生 生徒・保護者 |
| 講 師 | 大学の先生方17名・ベネッセ講師 |
| 月 日 | 平成27年6月6日 (土) |
| テーマ | 校内大学説明会・グローバルセミナー |

| | |
|-------------|---------------------|
| 進路指導主催 特別活動 | |
| 対 象 | 中学1年生～高校3年生 生徒及び保護者 |
| 講 師 | 跡見学園女子大学の先生方・在校生 |
| 月 日 | 平成27年6月12日 (金) |
| テーマ | 跡見学園女子大学説明会 |

| | |
|---------------|-----------------|
| カウンセリングルーム 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生全員 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成27年7月2日 (木) |
| テーマ | ソーシャルスキルワークショップ |

| | |
|---------------|-----------------|
| カウンセリングルーム 主催 | |
| 対 象 | 中学1年生全員 |
| 講 師 | 大熊雅士氏 |
| 月 日 | 平成27年7月8日(金) |
| テーマ | ソーシャルスキルワークショップ |

| | |
|-------------|--------------|
| 進路指導主催 特別活動 | |
| 対 象 | 高校3年生 生徒 |
| 講 師 | 進路主任 |
| 月 日 | 平成26年9月1日(火) |
| テーマ | センター試験説明会 |

| | |
|-------|--------------|
| 教務 主催 | |
| 対 象 | 高校2年生 生徒 |
| 講 師 | 教務主任 |
| 月 日 | 平成26年9月3日(木) |
| テーマ | 科目選択説明会 |

| | |
|---------|--------------|
| 高校3年 主催 | |
| 対 象 | 高校3年生 生徒 |
| 講 師 | 学年教員 |
| 月 日 | 平成26年9月3日(木) |
| テーマ | 進路説明会 |

| | |
|---------|---------------------------|
| 中学1年 主催 | |
| 対 象 | 中学1年生 生徒 |
| 講 師 | 総務省関東総合通信局 井口善孝氏 |
| 月 日 | 平成27年9月17日(木) |
| テーマ | 携帯電話やインターネットの安心安全な使い方について |

| | |
|-------|---------------|
| 教務 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生 生徒 |
| 講 師 | 教務主任 |
| 月 日 | 平成27年10月3日(土) |
| テーマ | 科目選択説明会 |

| | |
|-------|---------------|
| 教務 主催 | |
| 対 象 | 高校1年生 生徒 |
| 講 師 | 教務主任 |
| 月 日 | 平成27年10月8日(木) |
| テーマ | 科目選択説明会 |

| | |
|---------|-----------------|
| 中学3年 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生 生徒 |
| 講 師 | ベネッセ講師 |
| 月 日 | 平成27年10月29日 (木) |
| テーマ | 進路講演会 |

| | |
|-------|-----------------|
| 進路 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生～高校2年生 生徒 |
| 講 師 | 大学の先生方12名 |
| 月 日 | 平成27年11月14日 (土) |
| テーマ | 分野・系統別校内説明会 |

| | |
|---------|-----------------|
| 高校2年 主催 | |
| 対 象 | 高校2年生 生徒 |
| 講 師 | 進路主任 |
| 月 日 | 平成27年11月19日 (木) |
| テーマ | 進路講演会 |

| | |
|---------|-----------------|
| 国際交流 主催 | |
| 対 象 | 生徒・保護者 |
| 講 師 | 担当教員・旅行担当者 |
| 月 日 | 平成27年11月21日 (土) |
| テーマ | 海外プログラム概要説明会 |

| | |
|--------|-----------------|
| 保健室 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生 生徒 |
| 講 師 | 校医 鈴木真理先生 |
| 月 日 | 平成27年11月26日 (木) |
| テーマ | 校医衛生講話 |

| | |
|-----------|----------------------------|
| 入試・広報室 主催 | |
| 対 象 | 受験生・保護者・一般 |
| 講 師 | 友末優子氏・木村真樹子氏・宮内華子氏 |
| 月 日 | 平成27年11月28日 (土) |
| テーマ | マイライフ 「跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム」 |

| | |
|---------------|----------------|
| PTA連合会 主催 講演会 | |
| 対 象 | 保護者 |
| 講 師 | 三屋裕子氏 |
| 月 日 | 平成27年12月5日 (土) |
| テーマ | 「人生のデザイナー」 |

| | |
|---------|---------------|
| 中学2年 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生 生徒 |
| 講 師 | ベネッセ石坂氏 |
| 月 日 | 平成27年12月9日(水) |
| テーマ | 進路講演会 |

| | |
|---------|-----------------|
| 中学3年 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生 生徒 |
| 講 師 | 中学3年生教員 |
| 月 日 | 平成27年12月9日(水) |
| テーマ | ソーシャルスキルワークショップ |

| | |
|--------|----------------|
| 校務部 主催 | |
| 対 象 | 中高教職員 |
| 講 師 | 大塚警察・小石川消防署 |
| 月 日 | 平成27年12月10日(木) |
| テーマ | AED救急救命講習会 |

| | |
|---------|----------------|
| 高校3年 主催 | |
| 対 象 | 高3保護者 |
| 講 師 | 高3学年主任 |
| 月 日 | 平成27年12月12日(土) |
| テーマ | 保護者対象センター試験説明会 |

| | |
|---------|------------------------|
| 国際交流 主催 | |
| 対 象 | 中学3年生～高校1年生 生徒・保護者 |
| 講 師 | KNT石川氏 |
| 月 日 | 平成28年1月16日(土) |
| テーマ | 夏期海外語学研修説明会(オーストラリア研修) |

| | |
|---------|-------------------------|
| 中学2年 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生 生徒 |
| 講 師 | 関 千枝子氏 |
| 月 日 | 平成28年1月28日(木) |
| テーマ | 著書「広島第二県女二年西組」について・被爆体験 |

| | |
|---------|--------------------|
| 国際交流 主催 | |
| 対 象 | 中学1・2年生 生徒・保護者 |
| 講 師 | 担当教員・旅行担当者 |
| 月 日 | 平成28年2月6日(土) |
| テーマ | 第2回ニュージーランド体験留学説明会 |

| 高校2年 主催 | |
|---------|---------------|
| 対 象 | 高校2年生 生徒 |
| 講 師 | ベネッセ石坂氏 |
| 月 日 | 平成28年2月18日(木) |
| テーマ | 進路講演会 |

| 中学1年 主催 | |
|---------|---------------|
| 対 象 | 中学1年生 保護者 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成28年2月24日(水) |
| テーマ | 学年の様子・進級にむけて他 |

| 中学2年 主催 | |
|---------|---------------|
| 対 象 | 中学2年生 保護者 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成28年2月26日(金) |
| テーマ | 学校の方針・進級にむけて他 |

| 中学3年 主催 | |
|---------|-------------------|
| 対 象 | 中学3年生 保護者 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成28年2月27日(土) |
| テーマ | 卒業に向けて確認事項・高校入学準備 |

| 高校1年 主催 | |
|---------|---------------|
| 対 象 | 高校1年生 保護者 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成28年2月27日(土) |
| テーマ | 進路について |

| 高校2年 主催 | |
|---------|---------------|
| 対 象 | 高校2年生 保護者 |
| 講 師 | 学年の先生方 |
| 月 日 | 平成28年2月27日(土) |
| テーマ | 進路について |

| カウンセリングルーム 主催 | |
|---------------|----------------------------|
| 対 象 | 全教員 |
| 講 師 | 大熊雅士氏 |
| 月 日 | 平成28年3月4日(木) |
| テーマ | ソーシャルスキルワークショップに向け指導法を学び実践 |

| | |
|--------|-------------------|
| 校務部 主催 | |
| 対 象 | 保護者 |
| 講 師 | 担当の先生 |
| 月 日 | 平成28年3月5日(土) |
| テーマ | いじめ防止対策アンケート結果報告会 |

| | |
|--------|-------------------|
| 校務部 主催 | |
| 対 象 | 生徒・教職員 |
| 講 師 | 大塚警察署 |
| 月 日 | 平成28年3月8日(火) |
| テーマ | 不審者侵入対策の防犯教育・防犯訓練 |

| | |
|---------|---------------------|
| 国際交流 主催 | |
| 対 象 | 新高校1・2年生 生徒 |
| 講 師 | ベネッセコーポレーション海外進学担当者 |
| 月 日 | 平成28年3月10日(木) |
| テーマ | 海外留学・進学説明会 |

| | |
|---------|------------------------|
| 中学2年 主催 | |
| 対 象 | 中学2年生 保護者 |
| 講 師 | 東京弁護士会より派遣(女性) |
| 月 日 | 平成28年3月10日(木) |
| テーマ | 弁護士による消費者教育講座について(家庭科) |

| | |
|-----------|-----------------|
| 高校1・2年 主催 | |
| 対 象 | 高校1・2年生 生徒 |
| 講 師 | 高3卒業生(4人) |
| 月 日 | 平成28年3月11日(金) |
| テーマ | 高校3年生による合格体験講演会 |

| | |
|--------|---------------|
| 校務部 主催 | |
| 対 象 | 希望教員・希望生徒 |
| 講 師 | 小石川消防署 |
| 月 日 | 平成28年3月12日(土) |
| テーマ | 救命救急法講習会 |

10 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|--|--------|-------|
| グラウンド側溝蓋交換 [140枚] 側溝の蓋が設置から23年経過して端部から劣化が進行し、安全性に懸念が生じつつあるため、交換を行った。 | 1,512 | 4月 |
| 消防ホース交換 [52本] 工事 平成14年の消防庁告示により、10年経過した消火栓ホースは3年毎の耐圧試験が義務付けられたが、点検コスト等を考慮し、交換を行った。 | 500 | 4月 |
| プール水質監視装置オーバーホール プール水ろ過装置の水質監視装置の部品供給が終了し、故障発生時に迅速に対応できない可能性が生じていたため、オーバーホールを行い現行部品に適合する仕様とした。 | 1,404 | 7月 |
| クロスコネクション検査 平成20年の建築基準法改正に従い、特定行政庁の指定する特殊建築物等として、3年毎の上水・雑用水配管の誤接続確認(着色検査)を行った。 | 243 | 7月 |
| 空調設備改修工事(第4期) 第1・2調理室系統のAHU及び体育教員室、小アリーナ控室のパッケージエアコンが設置から23年経過し老朽化していたため、AHUのオーバーホール及びパッケージエアコンの更新を実施した。 | 15,120 | 7・8月 |
| 電気室主要高圧機器更新工事(引き込みケーブル更新含) 電気室高圧系統の主要機器および引込ケーブルが製造から25年経過し、推奨交換時期を超えていたため、予防保全として更新工事を行った。 | 9,666 | 8月 |
| UGS(地中線用負荷開閉器) 取付工事 学園構内で発生した停電が近隣に波及することを防ぐため、構内停電時に電力会社側の配電網と自動で切り離すUGSを新設した。 | 1,728 | 8月 |
| 校舎外壁・屋上防水改修工事(北西面) 部活動のランニングコースや中庭に面している北西面外壁について、剥落・落下防止のための補修工事を行い、屋上の防水補修工事も合わせて行った。 | 64,584 | 7～9月 |
| 生物準備室冷蔵庫更新 [1台] 故障により使用不可能になったため、更新を行った。 | 195 | 9月 |
| AED5台更新 耐用年数を迎えたAED5台について、1台は閉鎖した新座学生寮から移動し、4台を購入した。また、機種仕様を統一したため、それに適合したAEDトレーナーも2台購入した。 | 1,356 | 6、12月 |
| ボイラー休憩室内装工事 熱源設備の重油からガス式への切替え、および制御システムの更新により、ボイラー室への宿泊日数が僅かとなったので、畳敷きの休憩室を有効活用するため事務室仕様へ改装した。 | 1,296 | 3月 |

②事業計画以外の事業

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|---|-------|------|
| 男女教員ロッカー室、印刷作業室 換気ファン3台交換 男女教員ロッカー室の換気ファン2台に漏電が生じ、印刷作業室の換気ファンも異音が生じていたため、計3台の交換を行った。 | 530 | 8月 |
| 空調等中央制御システム ハードディスク及び監視装置用PC等交換 中央制御システムにおいて、故障が生じたハードディスクおよび機器寿命を迎えた監視装置用パソコン、モニター、UPSバッテリー等の交換を行った。 | 573 | 10月 |
| 地下水槽2ヶ所(3台)排水ポンプ交換 講堂棟の地下水槽2ヶ所で、排水ポンプ3台の経年劣化が進行していたため、交換を行った。 | 847 | 3月 |
| 防災備蓄食料の購入 期限のせまっていた防災備蓄食料について、3日分を想定して入替を行った。 | 1,249 | 3月 |

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|--|-------|------|
| グラウンドスプリンクラー バルブユニット6箇所交換工事 スプリンクラーの開閉操作を行っているバルブユニットの劣化、腐食が進行していたため、ボックスごと交換を行った。 | 767 | 3月 |
| 体育教員室 電気温水設備交換工事 体育教員室のシャワーで使用している電気温水器について、設置から20年以上経過し老朽化が進んだため、交換を行った。 | 886 | 3月 |
| プール器具庫およびトイレ扉交換工事 プール扉2ヶ所（器具庫、トイレ）の駆動部が湿気および塩素により劣化、錆付き、開閉に支障が生じていたため、交換を行った。 | 1,329 | 3月 |
| 第2音楽室ガラスブロック窓 電動カーテン交換工事 高窓の電動カーテンが老朽化し、作動不良が生じていたため、交換を行った。 | 800 | 3月 |

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|--|--------|------|
| 庶務課印刷機更新 [2台] 印刷機の老朽化に伴い、更新を行った。 | 825 | 4月 |
| 学校事務システム更新 平成15年度に導入したオリジナルな校務システムから、成績処理及び管理、進路指導を含めた生徒への指導などに有用なパッケージシステムに必要なカスタマイズを加え、Web合格発表・メール配信システムを含めた校務システムの更新を行った。 | 16,686 | 3月 |

②事業計画以外の事業

(単位：千円)

| 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|--|-----|------|
| 学校110番（非常通報装置）更新 庶務課、第1教員室に設置している学校110番について、メーカーの保守年限を迎えたため更新を行った。 | 249 | 10月 |

3. 管理運営の概要

(1) ガバナンス

学園のガバナンスを高めるため、権限、責任、監視体制を明確にし、学園全体の経営力強化、経営資源の拡充などに取り組むため、各種会議を開催した。

1) 理事会・評議員会

平成27年度理事会、評議員会の開催日、議案は以下のとおりである。

①理事会

| 開催日 | 会議 | 議 案 | |
|--------------|------|-----|----------------------------------|
| 平成27年 5 月26日 | 382回 | 1 | 平成26年度跡見学園事業実績の報告に関する件 |
| | | 2 | 平成26年度跡見学園収支決算報告に関する件 |
| 平成27年 5 月26日 | 383回 | 1 | 有価証券の活用に関する件（1） |
| | | 2 | 有価証券の活用に関する件（2） |
| 平成27年 7 月21日 | 384回 | 1 | 監事及び副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件 |
| | | 2 | 学校法人跡見学園寄附行為施行細則の一部改正に関する件 |
| | | 3 | 中学校の入学検定料の改定に関する件 |
| | | 4 | 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件 |
| | | 5 | 有価証券の活用に関する件（1） |
| | | 6 | 有価証券の活用に関する件（2） |
| 平成27年10月27日 | 385回 | 1 | 有価証券の活用に関する件 |
| | | 2 | 平成28年度授業料等学費改定に関する件 |
| | | 3 | 平成27年度跡見学園収支補正予算に関する件 |
| 平成27年12月 8 日 | 386回 | 1 | 平成27年度跡見学園事業計画の進捗状況の中間報告に関する件 |
| | | 2 | 跡見学園中学校高等学校校長の選任に関する件 |
| | | 3 | 学校法人跡見学園内部監査規程の制定に関する件 |
| 平成28年 3 月22日 | 387回 | 1 | 監事候補者の追加選定に関する件 |
| 平成28年 3 月22日 | 388回 | 1 | 平成28年度跡見学園事業計画に関する件 |
| | | 2 | 平成28年度跡見学園収入支出予算案に関する件 |
| | | 3 | 大学院の学費改定に関する件 |
| | | 4 | 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件 |
| | | 5 | 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件 |
| | | 6 | 寄附行為第8条第3項に規定する理事の追加選任に関する件 |
| | | 7 | 監事の追加選任に関する件 |
| | | 8 | 嶋田英誠常務理事の退任及びこれに伴う退職慰労金の支給に関する件 |
| | | 9 | 常務理事の補欠選任に関する件 |
| | | 10 | 学校法人跡見学園非常勤役員報酬規程の制定に関する件 |

②評議員会

| 開催日 | 会議 | 議 案 | |
|-------------|------|-----|--|
| 平成27年 5月26日 | 330回 | 1 | 平成26年度跡見学園事業実績の報告に関する件 |
| | | 2 | 平成26年度跡見学園収支決算報告に関する件 |
| | | 3 | 有価証券の活用に関する件（1） |
| | | 4 | 有価証券の活用に関する件（2） |
| | | 5 | 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件 |
| 平成27年 7月21日 | 331回 | 1 | 監事及び副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件 |
| | | 2 | 学校法人跡見学園寄附行為施行細則の一部改正に関する件 |
| | | 3 | 中学校の入学検定料の改定に関する件 |
| | | 4 | 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件 |
| | | 5 | 有価証券の活用に関する件（1） |
| | | 6 | 有価証券の活用に関する件（2） |
| 平成27年10月27日 | 332回 | 1 | 有価証券の活用に関する件 |
| | | 2 | 平成28年度授業料等学費改定に関する件 |
| | | 3 | 平成27年度跡見学園収支補正予算に関する件 |
| 平成27年12月 8日 | 333回 | 1 | 平成27年度跡見学園事業計画の進捗状況の中間報告に関する件 |
| | | 2 | 学校法人跡見学園内部監査規程の制定に関する件 |
| 平成28年 3月22日 | 334回 | 1 | 平成28年度跡見学園事業計画に関する件 |
| | | 2 | 平成28年度跡見学園収入支出予算案に関する件 |
| | | 3 | 大学院の学費改定に関する件 |
| | | 4 | 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件 |
| | | 5 | 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件 |
| | | 6 | 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件 |
| | | 7 | 寄附行為第8条第2項に規定する理事の補欠選任に関する件 |
| | | 8 | 寄附行為第9条に規定する監事の追加選任に係る評議員会の意見聴取及び同意に関する件 |
| | | 9 | 寄附行為第19条の2第5号に規定する評議員の補欠選任に関する件 |
| | | 10 | 寄附行為第8条第3項に規定する理事の追加選任に係る評議員会の意見聴取に関する件 |
| | | 11 | 学校法人跡見学園非常勤役員報酬規程の制定に関する件 |

2) 常務理事会

常務理事会は理事長を補佐するため、理事長及び常務理事を構成員とし、人事、労務、財務及び教育計画並びに将来構想その他理事長が必要と認める重要事項を審議した。平成27年度は当初の予定どおり21回開催された。また、常務理事会議事録を外部理事及び監事へ送付している。

3) 経営会議

経営会議は理事会及び評議員会における重要事項の審議及び経営方針、教育計画に関する企画・立案等について総合調整し、又は常務理事会の諮問に応ずることを目的とし、理事会の下に設置された合議制の機関であり、理事長、常務理事、事業理事及び各機関の長並びに女子大学副学長、中学校高等学校副校長及び寄附行為施行細則第2条第1号理事をもって構成している。平成27年度は37回開催された。

4) 理事長、顧問、常務理事、監事、公認会計士との意見交換会

公認会計士による会計監査（年21回実施）の結果について、相互の連携強化を深めるため意見交換会を、年2回、実施している。公認会計士からの指摘事項について、理事長、公認会計士、顧問、常務理事、監事で協議する機会となっている。平成27年度は予定どおり5月14日（木）及び28年1月20日（水）に、理事長、常務理事3名、監事2名、公認会計士2名、計8名の出席のもと開催された。

5) その他の理事・評議員・監事等関係

その他、賀詞交歓会（開学日1月8日）、学園祭等へお誘いし、また、学園情報誌『ブロッサム』（年2回発行）、『学園報』（年2回発行）をお届けすることにより、より学園とのつながりを強められるよう努めている。平成27年度は、7月発行の『ブロッサム第39号』『学園報第60号（本冊・別冊）』、1月発行の『ブロッサム第40号』『学園報61号』を送付している。

(2) 自己点検・評価

学園は、建学の精神を実践し、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動、管理運営等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を踏まえ、不断の改善に努めている。

平成27年度も事業計画に基づき、教育研究活動、管理運営等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を踏まえ、不断の改善に努めた。

1) 大学 自己点検・評価の実施〈✳〉

女子大学の自己点検・評価の実施についてはP.24を参照のこと。

2) 中学校高等学校 学校評価アンケートの実施〈✳〉

中学校高等学校の自己点検・評価の実施と学校評価アンケートの実施についてはP.48を参照のこと。

3) 職員人事評価制度実施に係る評価者会議の実施

①目標難易度設定会議（第1回）

日 時：8月27日（木） 9:15～11:40、法人2階小会議室

参加者：法人事務局長、大学事務局長、中高副校長、法人総務部長

②一次評価者会議

日 時：2月27日（土） 9:15～12:30、法人4階会議室

対 象：法人事務局長（主宰）、中高副校長、大学事務局長、各機関課長職（13）、日本能率協会講師、計17名

③二次評価者会議

日 時：3月28日（月） 13:00～14:30、法人2階中会議室

対 象：法人事務局長（主宰）、学長、副学長、大学事務局長、校長、副校長、法人総務部長、日本能率協会講師、計8名

4) JMA 大学SDフォーラム

日本能率協会研修 27年度大学SDフォーラムへの参加（のべ33名）

| No. | セミナー名称 | 参加人数 | 開催日 |
|-----|---------------------------------|------|----------|
| 1 | 大学における戦略プランニング&マネジメントの方法論体験セミナー | 1 | 9月14日（月） |
| 2 | 業務改善入門セミナー | 3 | 7月13日（月） |
| 3 | タイムマネジメント基礎セミナー | 3 | 7月27日（月） |

| No. | セミナー名称 | 参加人数 | 開催日 |
|-----|---------------------------------|------|-----------|
| 4 | 企画書・報告書の作成ノウハウ基本セミナー | 2 | 6月15日(月) |
| 5 | プレゼンテーションセミナー | 1 | 8月4日(火) |
| 6 | プロジェクトマネジメントセミナー | 3 | 12月8日(火) |
| 7 | ビジネスマナー入門セミナー | 0 | 10月9日(金) |
| 8 | 対人折衝スキル基本セミナー | 3 | 10月21日(水) |
| 9 | ファシリテーションセミナー | 3 | 7月3日(金) |
| 10 | 管理者のためのコーチングセミナー | 2 | 10月28日(水) |
| 11 | 部下指導・OJT入門セミナー | 1 | 7月31日(金) |
| 12 | ストレスマネジメント基礎セミナー | 2 | 8月10日(月) |
| 13 | 高等教育政策と大学改革の動向研究セミナー | 3 | 9月1日(火) |
| 14 | IR(インスティテューショナル・リサーチ)の基本と活用事例研究 | 3 | 8月31日(月) |
| 15 | 学生募集業務基本セミナー | 0 | 10月26日(月) |
| 16 | ID(インストラクション・デザイン)入門セミナー | 2 | 9月18日(金) |
| 17 | 管理者のための人事評価研究ワークショップ | 1 | 10月19日(月) |
| 18 | キャリア支援に関わる政策動向と今後の担当者の役割研究セミナー | 0 | 9月28日(月) |
| 19 | 【大学訪問】ー東京地区<実践女子大渋谷キャンパス> | 0 | 12月8日(火) |

(3) 情報公開

学園は、法令に基づき学生生徒、卒業生、学費負担者、事業関係者、その他一般市民の理解と協力を深め、学園の開かれた公正な運営に資するために、学園の概要、当該年度の事業概要、教育研究の概要、管理運営の概要、その他特徴ある取り組み概要、財務の概要等を、主に学園ホームページを通して、情報公開した。

また、平成26年度学園事業報告書及び収支決算書についてはホームページへの掲載のほか、7月に発行済みの跡見学園報第60号別冊にも掲載し、広く情報を公開した。

1. Webサイト上での情報公開、Webサイトの充実(事業費:2,475千円 実施:適宜)

平成27年4月以降、年度更新による入試情報、学部・学科等のカリキュラム情報、就職先データ等の修正を行った。この他にも大学・中高で行われているイベントに関する情報発信も積極的に行っている。(実施費用1,558千円)

(4) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

○法人事務局関係

(単位:千円)

| 機関 | 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|----|---|-----|------|
| 法人 | 消防ホース交換 [12本] 工事 平成14年の消防庁告示により、10年経過した消火栓ホースは3年毎の耐圧試験が義務付けられたが、点検コスト等を考慮し、交換を行った。 | 116 | 4月 |
| | 高圧進相コンデンサ交換工事 法人棟電気室の高圧進相コンデンサが設置から43年経過し、地絡による停電の不安が高まっていたため、更新を行った。 | 875 | 8月 |

○校外施設

・北軽井沢研修所

(単位：千円)

| 機関 | 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|-------------|---|-------|------|
| 北軽井沢 研修所 | 地上式オイルタンク設置工事 地下タンクが設置から30年経過し、消防法の定めに従い流出事故防止対策が必要となるため、改修費用や今後のメンテナンスを考慮し、地上式オイルタンクに切替え、地下タンクを撤去した。 | 1,923 | 5・6月 |

○その他

なし

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

なし

②それ以外の事業

(単位：千円)

| 機関 | 事業項目 | 事業費 | 実施時期 |
|----|--|-------|------|
| 法人 | 基幹サーバメンテナンスに伴うバッテリー交換作業 基幹サーバに内蔵されているバッテリーが耐用年数に達したため、夏季休業中のサーバメンテナンス日に合わせ交換作業を実施した。また、キャンパス毎に設置しているサーバUPSについても同様の作業を実施した。 | 857 | 8月 |
| | マイナンバー管理システム導入 マイナンバー制度導入に伴い、データセンターにシステムおよび管理サーバを導入した。 | 2,965 | 2月 |

(5) 跡見学園規定等の変更

1) 学園関係

(1) 「寄附行為」の一部改正 (監事の人数変更、副学長の人数指定)

平成27年7月21日 (火) 理事会にて了承

認可日 平成27年9月11日

施行日 平成27年9月11日

(2) 「寄附行為施行細則」の一部改正 (理事会審議事項を第20条として起条、以下条数繰り下げ)

平成27年7月21日 (火) 理事会にて了承

施行日 平成27年7月22日

(3) 「公益通報に関する規程」の制定

平成27年7月21日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成27年7月1日

(4) 「アルバイト職員の雇用について一別表2」の改定 (時給単価の引き上げ)

平成27年9月29日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成28年4月1日

(5) 「跡見学園個人研究費規程」の一部改正 (賃借料、兼務職員人件費の条件付適用を規定)

平成27年10月13日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成27年10月14日

(6) 「個人研究費の執行等に関する内規」の一部改正 (賃借料、兼務職員人件費の条件付適用を規定)

平成27年10月13日（火）経営会議にて了承
施行日 平成27年10月14日

(7) 「学校法人跡見学園内部監査規程」の制定
平成27年12月8日（火）理事会にて了承
施行日 平成27年12月9日

(8) 「学校法人跡見学園組織規程」の一部改正（大学資料室、地域交流セラントーの設置）
平成28年2月9日（火）経営会議にて了承
施行日 平成28年4月1日

(9) 「学校法人跡見学園休職規程」の一部改正（休職期間を最大3年まで可）
平成28年3月15日（火）経営会議にて了承
施行日 平成28年4月1日

(10) 「学校法人跡見学園給与規定」の一部改正（管理職手当に地域交流センター長を追加）
平成28年3月15日（火）経営会議にて了承
施行日 平成28年4月1日

(11) 「非常勤役員報酬規程」の制定
平成28年3月22日（火）理事会にて了承
施行日 平成28年4月1日

2) 大学

(1) 「跡見学園女子大学公的研究費の運営・管理に関する規程」の制定
平成27年7月1日（水）大学評議会にて了承
施行日 平成27年4月1日

(2) 「跡見学園女子大学公的研究費不正使用調査規程」の一部改正
平成27年7月1日（水）大学評議会にて了承
施行日 平成27年4月1日

(3) 「跡見学園女子大学公的研究費不正使用防止計画」の一部改正
平成27年7月1日（水）大学評議会にて了承
施行日 平成27年4月1日

(4) 「跡見学園女子大学公的研究費の運営・管理に関する行動規範」の一部改正
平成27年7月1日（水）大学評議会にて了承
施行日 平成27年4月1日

(5) 「大学院学則」の一部改正（学費減額改定）
平成28年3月22日（火）理事会にて了承
施行日 平成28年4月1日

3) 中学校高等学校

(1) 「中学校学則」の一部改正 (特別入試と検定料)

平成27年7月21日 (火) 理事会にて了承

施行日 平成28年4月1日

(2) 「跡見学園中学校高等学校育英奨学金規程」の一部改正 (中1生に対する減免措置の追加)

平成28年2月9日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成28年4月1日

(3) 「跡見学園中学校高等学校跡見花蹊記念奨学金規程」の一部改正 (第8条にただし書きの追加)

平成28年3月1日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成28年4月1日

(4) 「中学校学則」の一部改正 (第28条の2を新規起条、学費減免)

平成28年3月22日 (火) 理事会にて了承

施行日 平成28年4月1日

(6) 寄附行為の変更について

平成27年7月21日の理事会・評議員会で承認され、8月4日付で監事及び副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更の認可申請を行ったところ、下記のとおり、文部科学大臣の認可を得た。今回、特に留意事項が付されることはなかった。

認可日 平成27年9月11日 (27受文科高第1091号)

認可内容 監事定数及び理事たる副学長に関する件

認可機関 文部科学省

(7) 大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査の提出について

認可時の計画通りに進行している旨を、下記のとおり報告した。

提出物 平成27年度 大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況報告書

基準日 平成27年7月1日

提出先 文部科学省高等教育局私学行政課

提出日 平成27年8月4日

(8) 埼玉県寄附金税額控除法人等の指定について

埼玉県税条例第25条の2第3号ハの既定により、本学園への寄附金が埼玉県の個人住民税控除の対象となるよう届け出を行ったところ、下記のとおり指定を得た。

指定日 平成27年8月18日

指定内容 埼玉県税条例第25条の2第3号ハの既定による指定

本学園への寄附金が個人住民税控除の対象と成り得るよう、埼玉県が指定。

指定機関 埼玉県

(9) 調査

1) 平成26年度補助金（平成26年度補正予算繰越分）の執行に係る現地検査

調査年月日 平成28年2月17日（水）

調査内容 補助金交付前に、事業計画に従い整備されたかどうかの現地調査が行われた。

平成26年度私立学校施設整備費補助金（私立高等学校等施設高機能化整備費）（平成26年度補正予算繰越分）：跡見学園中学校高等学校 校舎北西面外壁・屋根及び屋上防水補修工事（平成27年夏に施工）

調査場所 中学校高等学校校舎

調査機関 東京都生活文化局私学部私学振興課助成係

(10) 学園広報関係（〈※〉印は平成27年度事業計画事業）

1) 学園情報誌『ブロッサム』の発行（17,392,660円）〈※〉

学園広報誌として7月に39号（特集：祝！跡見学園女子大学50周年 私たちが歩んできた道を64,000部、1月に40号（特集：Welcome home Atomi!懐かしの学び舎におかえりなさい!）を64,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。なお、39号には平成26年度 学園の決算を公開したほか、各号とも学園ならびに各設置校の最新情報を掲載した。

2) 『跡見学園報』の発行（643,680円）

学園報第60号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画を公表した。平成28年1月、学園報第61号を発行した（のべ1,400冊）。

3) Web環境の整備〈※〉

- ・学園ホームページに、平成27年7月28日（火）付で、平成26年度事業報告書・平成27年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても39号は平成27年7月27日（月）付、40号は平成28年1月12日（火）付で学園ホームページに公開した。
- ・校友メールマガジン「あとみネット」を、No.676からNo.713まで配信した。（メールマガジン配信システム利用料：388,800円）
- ・平成25年4月にリニューアルした学園3機関（中高・大学・法人）のホームページについては、年度更新による情報の更新や追加を行い、情報を探しやすく使いやすくするための改修を行った。（改修費用：1,044,414円、保守費用：514,080円）

4) イメージ広告等

①交通広告（6,796,440円）〈※〉

学園広告ならびに広く一般に「跡見」の知名度を上げるための広告を、以下の通り掲出した。

| 企画内容 | 実施時期 | 掲出路線・駅等 |
|------------|----------------------|----------------------|
| 東急エチケットボード | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 | 自由が丘・二子玉川・あざみ野・日吉・横浜 |

| 企画内容 | 実施時期 | 掲出路線・駅等 |
|-----------------------------|--|---|
| 大学連合ポスター | 平成27年7月1日～7月7日 | <中吊りポスター>JR上野東京・湘南新宿ライン線、小田急線 |
| | 平成27年7月1日～7月14日 | <窓上ポスター>西武全線 |
| | 平成27年12月上旬～1週間 | <中吊りポスター>東武東上線、西武全線、小田急全線、JR横浜線、中央快速線、総武各駅停車 <駅貼りポスター>首都圏：札幌・青森・弘前・盛岡・秋田・一ノ関・仙台・山形・福島・郡山・新潟・長岡・宇都宮・前橋・高崎・大宮・熊谷・水戸・土浦・船橋・千葉・八王子・松本・長野・池袋・新宿・渋谷・横浜・東京・上野・静岡、中央線快速：新宿・御茶ノ水・吉祥寺・立川・八王子、総武各駅停車：新宿・御茶ノ水・秋葉原・西船橋・千葉 |
| JR武蔵野線、東武東上線、西武線全線大学連合企画 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 | 沿線大学案内窓上 |
| 東京都交通局（都バス）車内アナウンス | 平成27年4月1日～平成28年3月31日（平成28年4月1日以降も継続中） | 「窪町小学校（旧大塚車庫前）」停留所都02（大塚駅～錦糸町駅）都02乙（池袋駅～一ツ橋） |
| 高校卒業式（3/3）及び大学卒業式（3/18）向け企画 | 平成28年2月26日～平成28年3月4日 平成28年2月29日～平成28年3月7日 | 丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター（高校卒業式向け） |
| | 平成28年3月18日～平成27年3月25日 平成28年3月14日～平成27年3月21日 | 丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター（大学卒業式向け） |
| | 平成28年3月14日～平成28年3月21日 | 南北線後楽園駅駅貼りポスター（大学卒業式向け） |

②グッズ制作（7,081,560円）〈※〉

今年度も名入れのシャープペン・ゲルインキボールペン、夏の猛暑対策用の香り付きうちわ（オリジナルデザイン、ローズの香り付き）、オリジナルブロック付箋、オリジナルラベルのナチュラルウォーター、赤手提げ袋（大）を制作した。

③B-ぐるバス時刻表（270,000円）

文京区のコミュニティバス（B-ぐるバス）の時刻表（読売新聞の折込広告）に学園広告を掲出した。

④その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出（12,759,326円）〈※〉

受験生・保護者が見ることを想定し、新聞の連合広告・受験雑誌等に広告を掲出した。

⑤文京区ホームページへの学園バナー広告掲出（192,000円）

学園知名度をアップさせることを目的とし、文京区ホームページに学園のバナー広告を掲出（継続）した。

⑥『歴史街道』2015年2月号 抜き刷り製作<在版増刷>（561,600円）

昨年度制作したPHP研究所発行の雑誌『歴史街道』2月号に掲載された「女子大学創立者ものがたり」から学祖跡見花蹊の部分の抜き刷り冊子を20,000部在版増刷した。

⑦館報『ミュージアム・データ19』の購入（20,000円）

森鷗外自筆原稿「舞姫」のプレス発表にあたり、学祖跡見花蹊と森鷗外の関係についての情報が掲載されている森鷗外記念館の館報『ミュージアム・データ19』を50冊購入して来場者に配布した。

⑧『日経プラス1』抜き刷りの制作（537,840円）

日本経済新聞朝刊『日経プラス1』2/27掲載の「何でもランキング」に跡見学園女子大学の新座キャンパスが「一度は歩きたい大学の桜名所」の東日本第1位になったので、この抜き刷りを10,000部制作した。

⑨<大学用>ロゴ入り「ウインドブレイカー」の製作 (272,160円)

大学の学生が地域連携等で外に出て行く際に着用するために、オリジナルのロゴ入り「ウインドブレイカー」を製作した。

⑩駅看板デザイン制作、校章(ロゴマーク)開発・制作費用 (864,000円)

駅看板デザイン変更にあたって、デザインを変更する駅看板のデザイン制作を岡本一宣デザイン事務所に依頼し、合わせて、校章を使った場合のロゴマーク仕様書を制作した。

⑪中高のDVD制作 (4,546,800円)

平成28年4月から中高の制服が新しくなることなどを踏まえ、デザイナーの廣川玉枝氏や卒業生の大淵愛子氏にご出演いただいて、今後の学校説明会・相談会等で使用できるDVDを制作した。

5) 駅看板ほか (✳)

学園及び大学の広報の一環として、駅看板掲出(16駅)を行った。なお東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅、副都心線渋谷駅については看板のデザインを変更した。(看板掲出費用等: 15,407,886円)

| 企画内容 | 実施時期 | 掲出路線・駅等 |
|----------------|--|---|
| 駅看板 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | 東京メトロ 丸ノ内線池袋駅・茗荷谷駅・御茶ノ水駅、有楽町線護国寺駅、副都心線渋谷駅 ※茗荷谷駅・護国寺駅・渋谷駅はデザイン変更を行った。(デザイン変更のための制作・取付費用: 588,600円) ※御茶ノ水駅は平成28年3月2日から掲出開始 JR 武蔵野線(北朝霞駅・新座駅・新松戸駅・西国分寺駅・武蔵浦和駅・新秋津駅)、中央線(御茶ノ水駅)、京浜東北線(南浦和駅)、総武線(西船橋駅)東武東上線 志木駅、川越駅 ※御茶ノ水駅は平成28年1月21日で撤去 ※川越駅は平成28年3月1日から掲出開始 |
| 駅立て看板 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | JR武蔵野線駅 改札外 |
| ビルサイン広告 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | 東京メトロ茗荷谷駅 改札外柱 |
| ナビタ (駅周辺案内) | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | 東京メトロ有楽町線 護国寺駅 |
| | 平成27年11月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | JR武蔵野線 新座駅 |
| 消火栓標識 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (平成28年4月1日以降も継続中) | 東京メトロ有楽町線 護国寺駅付近の消火栓 |

(11) 各種補助金の獲得について

| 交付元 | 補助金名 | 対象 | 内容 | 交付額※ |
|----------------|--|----------|-----------------------------------|------------|
| 文部科学省 | 平成26年度 私立学校施設設備費補助金 | 中高 | 校舎北西面外壁・屋根補修工事 | 8,900,000円 |
| 東京都私学財団 | 平成27年度 私立学校非構造部材耐震対策工事費助成事業 | 中高 | 校舎北西面外壁・屋根補修工事 | 8,899,000円 |
| 東京都私学財団 | 平成27年度 私立学校安全推進事業助成金 | 中高 | AED 4台更新および非常通報装置(学校110番通報装置)更新 | 586,000円 |
| 低炭素エネルギー技術事業組合 | 平成27年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(二酸化炭素削減ポテンシャル診断事業) | 大学 | 新座キャンパス二酸化炭素削減ポテンシャル診断事業 | 540,000円 |
| 東京都 | 平成27年度 結核予防費都費補助金 | 大学 高校 | 健康診断(胸部X線)を受診した1年生及び編入生に対する人数分の補助 | 425,516円 |

| 交付元 | 補助金名 | 対象 | 内 容 | 交付額※ |
|-------|--------------------|----|------------|--------------|
| 東京都 | 平成27年度 私立学校経常費補助金 | 中高 | 一般補助及び特別補助 | 445,323,900円 |
| 私学事業団 | 平成27年度 私立大学等経常費補助金 | 大学 | 一般補助及び特別補助 | 245,671,000円 |

※実績額の確定は次年度となる場合がある。

(12) 学園創立140周年記念事業について

1. 学園創立140周年記念ホームカミングデーについて

学園創立140周年を記念して、学園と卒業生との絆を一層深め、これを将来に確実につなげるためホームカミングデーを企画し、校友会、後援会と連携し、実施に向け準備中である。企画内容は以下のとおりである。

(1) 日 時 10月25日 (日) 9:30~16:00

開催地 中学校高等学校、文京キャンパス

対 象 中学校高等学校卒業生・短期大学卒業生

内 容 ・茶話会

- ・森鷗外『舞姫』自筆草稿展示、旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）ジオラマ等展示
- ・古内東子トークショー
- ・Psyche(原八千代) トーク&パフォーマンス
- ・中高生徒発表（演劇部・器楽部）
- ・マンドリンコンサート（紫音会アンサンブル（短大卒業生））
- ・校舎見学
- ・跡見煎餅、どら焼き等の販売
- ・跡見グッズ・校友会記念品のプレゼント
- ・サバイバルグッズ（アークⅢ）のプレゼント

(2) 日 時 10月31日 (土) 10:00~16:00

開催地 新座キャンパス

対 象 女子大学卒業生

内 容 ・山崎一穎理事長特別講演会「森鷗外と3人の画家—原田直次郎・大下藤次郎・宮芳

- 平— 付鷗外自筆・跡見花蹊画 森志げ宛絵葉書」
- ・森鷗外『舞姫』自筆草稿展示、旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）写真パネル等展示
- ・学園祭（ゆかり祭）見学
- ・校舎見学
- ・『跡見学園女子大学五十年史』（冊子）とDVD、跡見煎餅販売
- ・学園祭プログラム、ホームカミングデー食券（2,000円分）プレゼント
- ・跡見グッズ・校友会記念品のプレゼント
- ・サバイバルグッズ（アークⅢ）のプレゼント

2. 国登録文化財（「旧伊勢屋質店」）の購入

学園創立140周年を記念し、文京区内にある「旧伊勢屋質店」の土地と建物を取得した。「旧伊勢屋質店」は文京ゆかりの文人・樋口一葉が生活に困窮したときに通った質店であり、その当時の建物が残る数少ない文学史跡としても大変貴重な建造物である。明治時代の貴重な文化財の維持・保存を図るとともに、教育施設としての活用や、文京区との地域連携事業、一般公開などを行なっている。

なお、この建物は平成28年3月1日「文京区指定有形文化財（建造物）」に指定された。

3. 稀覯資料（森鷗外『舞姫』の自筆草稿）の購入

学園創立140周年を記念し、森鷗外『舞姫』の自筆草稿を取得した。今春の国際ブックフェアに出品され、文学的歴史的価値の高い稀覯資料が海外に流失する危機となり、森鷗外と跡見学園との間にくつかりの縁があることから取得を決定した。教育的活用はもとより、地域住民への公開などで、文京区と連携し、学術的な貢献に活かしていく予定である。

(13) 跡見学園教育環境充実資金募金について

1. 平成27年度「跡見学園教育環境充実資金募金」の寄付状況について

平成28年3月31日現在、在学生保護者からの募金総額は3,200万円であった。機関別募金内訳は下表のとおりである。

| 機関 | 件数 | 金額 |
|------------|----------------|------------------------|
| 中学 | 151件 | 17,600千円 |
| 高等学校 | 67件 | 8,800千円 |
| 大学・大学院 | 55件 | 5,600千円 |
| 合計（昨年度同時期） | 273件 (316件) | 32,000千円 (38,760千円) |

2. 寄付者に対する顕彰について

寄付者に対する顕彰として、それぞれの文化祭の案内状ならびに食券を郵送した。

郵送数は、中高寄付者215名、大学寄付者47名、合計262名であった。

(14) 委員会報告

1. 花蹊記念資料館運営委員会

- ＜委員長＞ 女子大学 村田 宏（人文学科教授）
 ＜委員＞ 女子大学 横田 恭三（館長、人文学科教授）
 矢島 新（人文学科教授）
 中学校高等学校 廣瀬 里美（国語科教諭）
 法人事務局 森 進（施設管理課長）

下表のとおり花蹊記念資料館運営委員会は2回開催された。また、平成27年10月27日（火）経営会議において、村田 宏委員長より、花蹊記念資料館運営委員会の活動について、中間報告がなされた。

| 回 | 開催日 | 内容 |
|-----|----------|---|
| 第1回 | 5月13日（水） | <ul style="list-style-type: none"> ・出席者自己紹介 ・委員長選出 ・平成26年度活動報告について （展示活動、印刷物作成、刊行物販売、入館者数、購入品、寄贈品、資料貸出し、修復作業、デジタル撮影、学芸員課程授業等） ・平成27年度事業計画案について （平成27年度事業基本方針（展示スケジュール・展示日程・印刷物作成・デジタル写真撮影）、中高展示等） |
| 第2回 | 10月7日（水） | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第1回花蹊記念資料館運営委員会議事録の確認 ・平成27年度活動報告及び未事業予定計画について （展示活動、印刷物作成、入館者数、購入品、寄贈品、資料貸出し、収蔵品写真撮影・デジタル化、資料修復・調査状況等） ・平成28年度事業計画について （平成28年度事業基本方針（展示スケジュール・開館日程）、印刷物作成、購入作品、中高展示等） |

2. 広報委員会

- <座 長> 女子大学 イシカワ カズ (マネジメント学科教授)
 <委 員> 女子大学 富川 淳子 (現代文化表現学科教授)
 宮田 伸一 (庶務課長) 4/1～7/31
 小又 幸 (庶務課長代理) 8/1～現在
 中学校高等学校 渡部 進 (校務部長)
 志村 聡 (入試・広報主任)
 法人事務局 詫磨 学 (事務局次長)
 大森 一枝 (庶務課長)

下表のとおり広報委員会は4回開催された。また、平成27年11月10日(火)経営会議において、イシカワカズ座長より、広報委員会の活動について、中間報告がなされた。

| 回 | 開催日 | 内 容 |
|-----|----------|---|
| 第1回 | 4月17日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末に実施した卒業式企画の報告について ・『歴史街道』の抜き刷りの完成について(10,000部) ・26年度委員会総括と27年度の方針について ・平成27年度予算について ・東急線エチケットボード掲出デザイン(Aロゴ)の変更について ・大学用香り付きうちわの作成(5,000枚)について ・7月期 大学連合企画について (上野東京ライン、西武全線、小田急全線) ・『ブロッサム39号(7月発行)』の構成案について |
| 第2回 | 5月22日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・4/28経営会議での「昨年度活動報告」及び「本年度活動方針」について ・東急線エチケットボードのデザインについて ・B-ぐるバス時刻表への広告掲載について (継続、区内読売折込16,000部) |
| 第3回 | 6月26日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・東急線エチケットボードの取付完了について ・B-ぐるバス時刻表(高速バス時刻表入)への広告掲載について ・郵便報知通信社からの郵便料金表への広告掲載について → 実施せず ・『婦人画報7月号』の特別付録「創刊号完全復刻版」について ・赤の手提げ袋の増刷について |
| 第4回 | 9月29日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・広報委員の交代について(宮田→小又へ) ・次年度の広報委員会予算案について ・高校卒業式(3/3)、大学卒業式(3/18)向けの茗荷谷駅・後樂園駅への卒業式企画について ・12月期の大学連合企画について(7月期の路線に中央・総武線緩行を追加) ・朝日新聞埼玉版ならびに朝日小学生新聞への中高広告掲出の件 ・『ブロッサム40号(1月発行)』の構成案について ・新座駅の看板の件(下りホーム看板撤去に伴う措置、構内電飾看板ナビタへの広告掲載) ・各機関報告のうち、中高に関する件 ・『歴史街道』の抜き刷りの増刷について(半年でほぼ1万部を配布) |

Ⅲ. 財 務 の 概 要

(1) 決算の概要

①収支計算書の状況

ア) 資金収支計算書事業活動収支計算書

(単位：円)

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|-----------|----------------|----------------|------------------|
| 収入の部合計 | 14,138,760,000 | 27,276,754,776 | △ 13,137,994,776 |
| 当年度資金収入 | 7,513,841,000 | 20,651,834,965 | △ 13,137,993,965 |
| 前年度繰越支払資金 | 6,624,919,000 | 6,624,919,811 | |
| 支出の部合計 | 14,138,760,000 | 27,276,754,776 | △ 13,137,994,776 |
| 当年度資金支出 | 8,093,115,000 | 21,109,566,053 | △ 13,016,451,053 |
| 翌年度繰越支払資金 | 6,045,645,000 | 6,167,188,723 | △ 121,543,723 |

平成27年度の収入の部合計は27,276,754,776円でした。一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、21,109,566,053円でした。その結果、翌年度繰越支払資金は、6,167,188,723円となりました。前年度繰越支払資金が6,624,919,811円であったので、平成27年度決算の支払資金としては、平成26年度末と比べて457,731,088円（約6.91%）の減少となりました。

また、前受金収入1,064,373,000円（平成28年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成27年度における実質的な翌年度繰越支払資金は5,102,815,723円となりました。

イ) 事業活動収支計算書

(単位：円)

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 教育活動収支差額 | △ 295,071,000 | 177,815,611 | △ 472,886,611 |
| 教育活動外収支差額 | 36,844,000 | 30,520,474 | 6,323,526 |
| 経常収支差額 | △ 258,227,000 | 208,336,085 | △ 466,563,085 |
| 特別収支差額 | 40,810,000 | 37,280,866 | 3,529,134 |
| 〔予備費〕 | 50,000,000 | | 50,000,000 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | △ 267,417,000 | 245,616,951 | △ 513,033,951 |
| 基本金組入額合計 | △ 270,956,000 | △ 180,555,128 | △ 90,400,872 |
| 当年度収支差額 | △ 538,373,000 | 65,061,823 | △ 603,434,823 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 3,710,450,000 | △ 3,710,449,006 | △ 994 |
| 基本金取崩額 | 0 | 21,706,484 | △ 21,706,484 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 4,248,823,000 | △ 3,623,680,699 | △ 625,142,301 |

(参考)

| | | | |
|---------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動収入計 | 6,476,987,000 | 6,556,861,069 | △ 79,874,069 |
| 事業活動支出計 | 6,744,404,000 | 6,311,244,118 | 433,159,882 |

学校法人会計基準の改正により、平成27年度より消費収支計算書は事業活動収支計算書に改められました。

教育活動収支は、事業活動収入の部では学生生徒等納付金が予算額を下回り、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入が予算額を上回ったため、教育活動収入計では81,498,264円増の6,479,641,264円となりました。事業活動支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費が予算額を下回りました。また、予算計上していない徴収不能額等は4,534,000円の支出額となり、教育活動支出計では391,388,347円減の6,301,825,653円となりました。これにより教育活動収支差額は、予算額を上回

り177,815,611円の収入超過となりました。

教育活動外収支は、事業活動収入の部では、受取利息・配当金、その他の教育活動外収入ともに予算額を6,323,526円下回り30,520,474円となりました。事業活動支出の部では借入金等利息、その他の教育活動外支出ともに予算額及び決算額は0円であります。これにより教育活動外収支差額は、30,520,474円の収入超過となりました。

これにより、経常収支差額は予算額を466,563,085円上回り、208,336,085円の収入超過となりました。

特別収支は、事業活動収入の部では現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額が予算額を上回ったため、特別収入計は予算額を上回り4,699,331円増の46,699,331円となりました。事業活動支出の部では資産処分差額、過年度修正額が予算額を8,228,465円上回り、9,418,465円となりました。これにより、特別収支差額は、予算額を3,529,134円下回り、37,280,866円の収入超過となりました。なお、予備費50,000,000円は未執行でした。

以上のとおり、経常収支差額及び特別収支差額がともに収入超過であったため、基本金組入前当年度収支差額（帰属収支差額）はその合計額245,616,951円の収入超過となりました。

一方で基本金組入額は、予算額を90,400,872円下回り、180,555,128円となったことにより、当年度収支差額は65,061,823円の収入超過（黒字）となりました。

この結果、前年度繰越収支差額3,710,449,006円から当年度収支差額64,871,558円が減算され、さらに基本金取崩額21,706,484円が減算されて、翌年度繰越収支差額は、3,623,680,699円となり、前年度より86,768,307円累積赤字が解消されました。

②貸借対照表の状況

(単位：円)

| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 固定資産 | 25,267,632,051 | 24,919,120,335 | 348,511,716 |
| 流動資産 | 7,064,403,733 | 7,348,826,427 | △ 284,422,694 |
| 資産の部合計 | 32,332,035,784 | 32,267,946,762 | 64,089,022 |
| 固定負債 | 1,580,942,362 | 1,700,690,407 | △ 119,748,045 |
| 流動負債 | 1,310,761,775 | 1,372,541,659 | △ 61,779,884 |
| 負債の部合計 | 2,891,704,137 | 3,073,232,066 | △ 181,527,929 |
| 基本金 | 33,064,012,346 | 32,905,163,702 | 158,848,644 |
| 繰越収支差額 | △ 3,623,680,699 | △ 3,710,449,006 | 86,768,307 |
| 純資産の部合計 | 29,440,331,647 | 29,194,714,696 | 245,616,951 |
| 負債及び純資産の合計 | 32,332,035,784 | 32,267,946,762 | 64,089,022 |

固定資産のうち、有形固定資産は、施設、設備の取得等より、減価償却及び除却額（音羽駐車場構築物、心理教育相談所AV設備等の除却）が上回ったことにより、有形固定資産の期末残高は451,449,684円減少し、16,174,549,141円となりました。特定資産については、建物償却引当特定資産及び法人維持特定資産への積立により、全体で800,000,000円増加し、9,058,040,000円となりました。その他の固定資産については、減価償却費が38,600円減少し、35,042,910円となりました。流動資産については、主に現金預金の減少により、全体で284,422,964円減少し、7,064,403,733円となりました。これらにより、資産の部の合計は、64,089,022円増加し、32,332,035,784円となりました。

固定負債の退職給与引当金が149,748,045円減少し、流動負債のうち前受金が34,880,000円減少するなど、流動負債全体で61,779,884円減少したことにより、負債の部の合計は、181,527,929円減少し、2,891,704,137円となりました。

基本金は158,848,644円増加し、33,064,012,346円となりました。また、翌年度繰越収支差額は、事業活動収支計算書における当年度収支差額（65,061,823円）と基本金取崩額（21,706,484円）の合計額86,768,307円増加し、3,623,680,699円となりました。

(2) 経年比較

①収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

(単位：千円)

| 収入の部 | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 5,462,494 | 5,429,705 | 5,477,956 | 5,357,256 |
| 手数料収入 | 98,139 | 110,656 | 100,382 | 93,557 |
| 寄付金収入 | 165,532 | 156,316 | 147,875 | 146,324 |
| 補助金収入 | 723,561 | 820,922 | 728,833 | 702,736 |
| 資産運用収入 | 43,816 | 37,556 | 33,985 | 34,642 |
| 資産売却収入 | 0 | 0 | 100,000 | 1,000,000 |
| 事業収入 | 119,754 | 118,212 | 120,571 | 107,773 |
| 雑収入 | 204,805 | 137,575 | 193,910 | 122,075 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 1,230,868 | 1,316,160 | 1,208,693 | 1,099,253 |
| その他の収入 | 8,226,208 | 9,622,675 | 11,412,671 | 12,075,666 |
| 資金収入調整勘定 | △1,515,261 | △1,480,776 | △1,556,473 | △1,360,215 |
| 前年度繰越支払資金 | 7,800,411 | 7,688,405 | 6,957,426 | 6,764,711 |
| 収入の部合計 | 22,560,327 | 23,957,406 | 24,925,829 | 26,143,778 |

| 収入の部 | 本年度末 |
|-------------|------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 5,266,411 |
| 手数料収入 | 90,906 |
| 寄付金収入 | 182,619 |
| 補助金収入 | 761,798 |
| 資産売却収入 | 800,000 |
| 付随事業・収益事業収入 | 55,943 |
| 受取利息・配当金収入 | 30,520 |
| 雑収入 | 222,386 |
| 借入金等収入 | 0 |
| 前受金収入 | 1,064,373 |
| その他の収入 | 13,485,678 |
| 資金収入調整勘定 | △1,308,990 |
| 前年度繰越支払資金 | 6,624,920 |
| 収入の部合計 | 27,276,564 |

| 支出の部 | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費支出 | 3,674,128 | 3,596,779 | 3,689,344 | 3,581,069 |
| 教育研究経費支出 | 1,181,541 | 1,221,270 | 1,187,662 | 1,189,950 |
| 管理経費支出 | 671,688 | 701,780 | 719,964 | 757,979 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 349,852 | 753,149 | 117,092 | 307,307 |
| 設備関係支出 | 109,367 | 251,132 | 115,351 | 240,491 |
| 資産運用支出 | 2,431,640 | 4,101,190 | 5,918,390 | 7,099,040 |
| その他の支出 | 6,573,818 | 6,519,647 | 6,579,552 | 6,500,981 |
| 資金支出調整勘定 | △120,112 | △144,967 | △166,237 | △157,959 |
| 次年度繰越支払資金 | 7,688,405 | 6,957,426 | 6,764,711 | 6,624,920 |
| 支出の部合計 | 22,560,327 | 23,957,406 | 24,925,829 | 26,143,778 |

| 支出の部 | 本年度末 |
|-----------|------------|
| 人件費支出 | 3,908,341 |
| 教育研究経費支出 | 1,217,770 |
| 管理経費支出 | 610,901 |
| 借入金等利息支出 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 |
| 施設関係支出 | 101,224 |
| 設備関係支出 | 220,646 |
| 資産運用支出 | 8,493,600 |
| その他の支出 | 6,711,169 |
| 資金支出調整勘定 | △154,276 |
| 翌年度繰越支払資金 | 6,167,189 |
| 支出の部合計 | 27,276,564 |

イ) 活動区分資金収支計算書

基準改正前は作成なしのため省略

ウ) 事業活動収支計算書

(消費収支計算書)

(単位：千円)

(事業活動収支計算書)

| 消費収入の部 | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 学生生徒等納付金 | 5,462,494 | 5,429,705 | 5,477,956 | 5,357,256 |
| 手数料 | 98,139 | 110,656 | 100,382 | 93,557 |
| 寄付金 | 171,285 | 163,864 | 162,152 | 163,898 |
| 補助金 | 723,561 | 820,922 | 728,833 | 702,736 |
| 資産運用収入 | 43,816 | 37,556 | 33,985 | 34,642 |
| 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業収入 | 119,754 | 118,212 | 120,571 | 107,773 |
| 雑収入 | 160,136 | 106,962 | 98,069 | 98,371 |
| 帰属収入合計 | 6,779,185 | 6,787,877 | 6,721,948 | 6,558,233 |
| 基本金組入額合計 | △348,268 | △799,665 | △171,954 | △309,792 |
| 消費収入の部合計 | 6,430,917 | 5,988,212 | 6,549,994 | 6,248,441 |

(略)

| 消費支出の部 | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費 | 3,525,705 | 3,542,280 | 3,748,990 | 3,471,572 |
| 教育研究経費 | 1,865,745 | 1,919,223 | 1,906,986 | 1,928,533 |
| 管理経費 | 727,151 | 769,371 | 795,226 | 835,124 |
| 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 資産処分差額 | 685 | 26,061 | 9,844 | 15,331 |
| 徴収不能額 | 8,029 | 5,722 | 7,589 | 4,101 |
| 消費支出の部合計 | 6,127,315 | 6,262,657 | 6,468,635 | 6,254,661 |
| 当年度消費収支超過額 | 303,602 | △274,445 | 81,359 | △6,220 |
| 前年度繰越消費収支超過額 | △3,852,503 | △3,548,901 | △3,823,346 | △3,704,229 |
| 基本金取崩額 | 0 | 0 | 37,758 | 0 |
| 翌年度繰越消費収支超過額 | △3,548,901 | △3,823,346 | △3,704,229 | △3,710,449 |

②貸借対照表

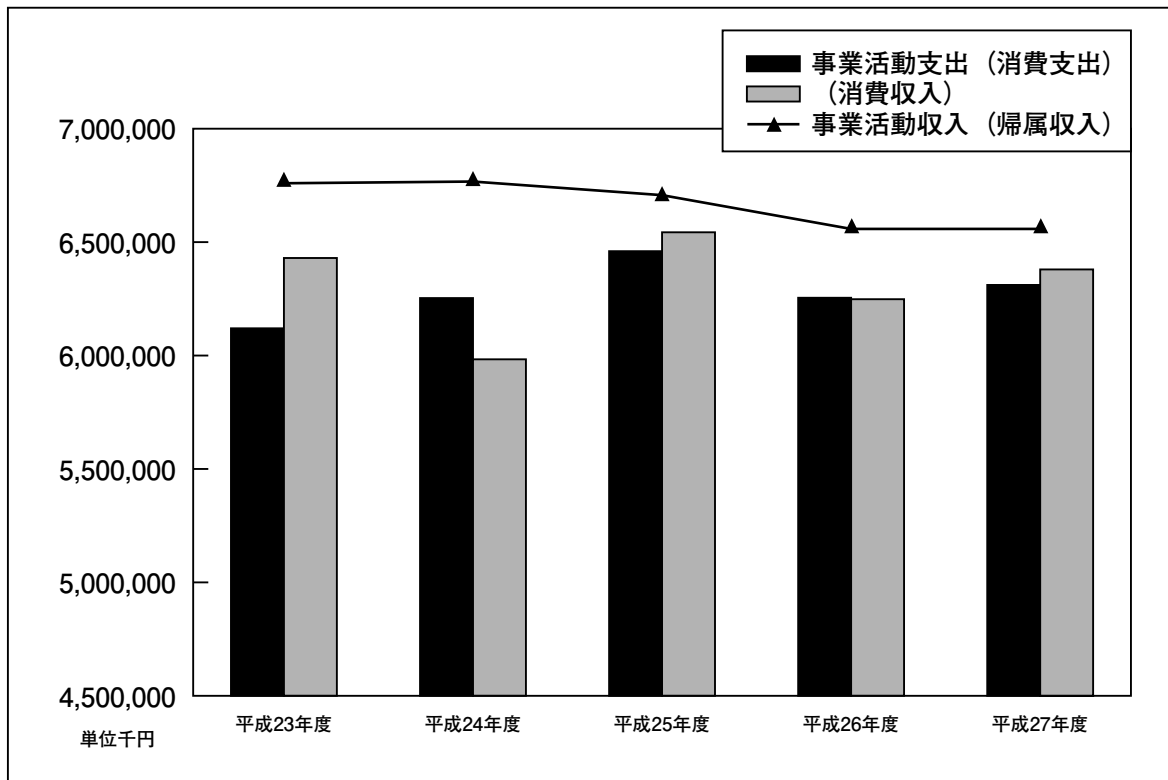
(単位：千円)

(単位：千円)

| | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 |
|------------------------|------------|------------|------------|------------|
| 固定資産 | 23,287,091 | 24,242,157 | 24,784,692 | 24,919,120 |
| 流動資産 | 7,940,796 | 7,595,949 | 7,389,007 | 7,348,827 |
| 資産の部合計 | 31,227,887 | 31,838,106 | 32,173,699 | 32,267,947 |
| 固定負債 | 1,652,195 | 1,628,622 | 1,786,368 | 1,700,690 |
| 流動負債 | 1,463,081 | 1,571,653 | 1,496,187 | 1,372,542 |
| 負債の部合計 | 3,115,276 | 3,200,275 | 3,282,555 | 3,073,232 |
| 基本金の部合計 | 31,661,512 | 32,461,177 | 32,595,372 | 32,905,164 |
| 消費収支差額の部合計 | △3,548,901 | △3,823,346 | △3,704,228 | △3,710,449 |
| 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 31,227,887 | 31,838,106 | 32,173,699 | 32,267,947 |

| | 本年度末 |
|-------------|------------|
| 固定資産 | 25,267,632 |
| 流動資産 | 7,064,403 |
| 資産の部合計 | 32,332,035 |
| 固定負債 | 1,580,942 |
| 流動負債 | 1,310,952 |
| 負債の部合計 | 2,891,894 |
| 基本金 | 33,064,012 |
| 繰越収支差額 | △3,623,871 |
| 純資産の部合計 | 29,440,141 |
| 負債及び純資産の部合計 | 32,332,035 |

③収支決算の推移グラフ

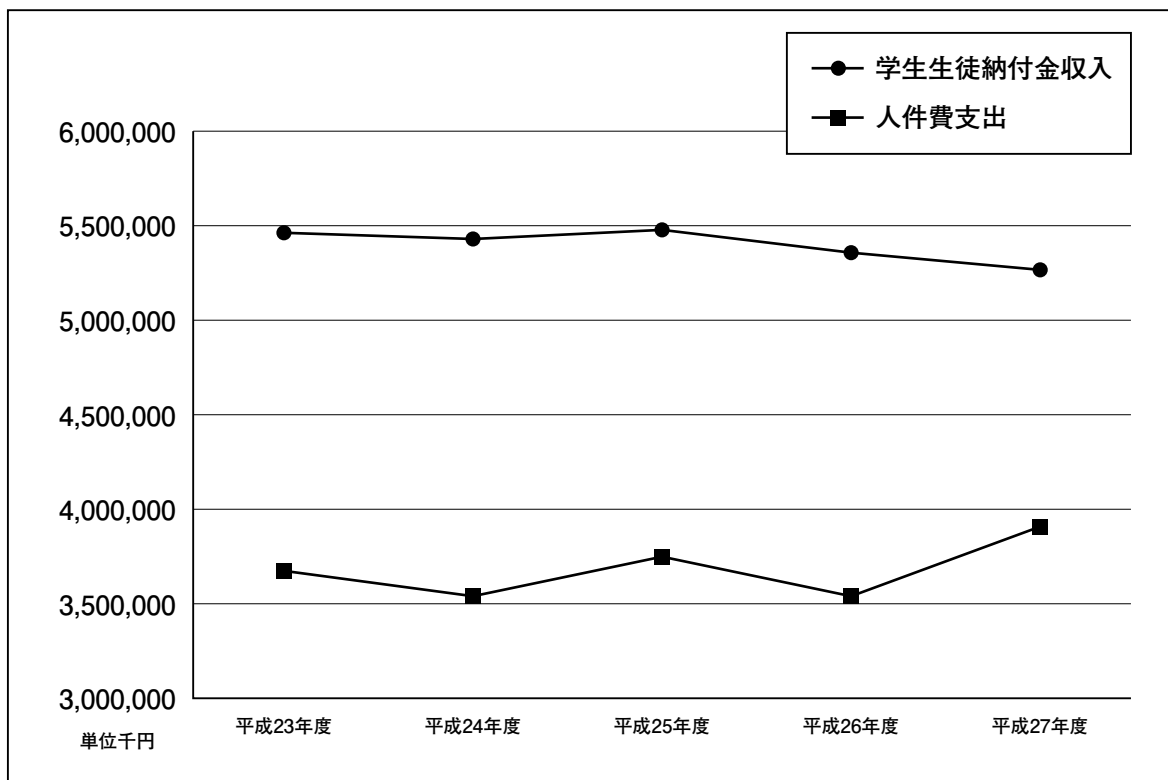


事業活動収入 (帰属収入)：負債とならない収入である。

(消費収入)：事業活動収入から基本金組入額を控除した収入で、事業活動支出に充てられる収入である。(新学校法人会計基準では表示されない。)

事業活動支出 (消費支出)：消費する資産の取得価額及び用役の対価である。

④学生生徒納付金収入と人件費支出の推移グラフ



(3) 主な財務比率

(単位：%)

(単位：%)

| 比率名 | 算式 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 帰属収支差額比率 | $\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$ | 9.6 | 7.7 | 3.8 | 4.6 |
| 消費収支比率 | $\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$ | 95.3 | 104.6 | 98.8 | 95.5 |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$ | 80.6 | 80.0 | 81.5 | 81.7 |
| 人件費比率 | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$ | 52.0 | 52.2 | 55.8 | 52.9 |
| 教育研究経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$ | 27.5 | 28.3 | 28.4 | 29.4 |
| 管理経費比率 | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$ | 10.7 | 11.3 | 11.8 | 12.7 |
| 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ | 542.7 | 483.3 | 507.7 | 535.4 |
| 負債比率 | $\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金} \times 1}$ | 11.1 | 11.2 | 11.4 | 10.5 |
| 自己資金構成比率 | $\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金} \times 2}$ | 90.0 | 89.9 | 89.8 | 90.5 |
| 基本金比率 | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| 比率名 | 算式 | 本年度 |
|--------------|--|-------|
| 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入計}}$ | 3.7 |
| 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入計}-\text{基本金組入額}}$ | 99.0 |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入} \times 3}$ | 80.9 |
| 人件費比率 | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入} \times 3}$ | 56.8 |
| 教育研究経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入} \times 3}$ | 29.4 |
| 管理経費比率 | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入} \times 3}$ | 10.5 |
| 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ | 539.0 |
| 負債比率 | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$ | 9.8 |
| 純資産構成比率 | $\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$ | 91.1 |
| 基本金比率 | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ | 100.0 |
| 教育活動資金収支差額比率 | $\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$ | 10.8 |

※ 1 自己資金＝基本金＋消費収支差額

※ 2 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額

※ 3 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

(4) その他

①有価証券の状況

| 区分 | 銘柄 | 数量 | 帳簿価額 | 時価 | 表示科目 | 摘要 |
|----|------------|----|--------------|--------------|------|----|
| 債券 | エクイティ・リンク債 | 2口 | 300,000,000円 | 240,255,000円 | 有価証券 | |
| | ユーロ円EB | 2口 | 300,000,000円 | 182,080,000円 | 有価証券 | |
| 計 | | | 600,000,000円 | 422,335,000円 | | |

(5) 計算書類

① 資金収支計算書

平成27年 4月1日から

平成28年 3月31日まで

(単位：円)

| 収入の部 | | | |
|------------|---------------|---------------|------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 5,322,326,000 | 5,266,411,390 | 55,914,610 |
| 授業料収入 | 3,846,293,000 | 3,803,404,950 | 42,888,050 |
| 入学金収入 | 340,550,000 | 340,562,500 | △ 12,500 |
| 実験実習料収入 | 21,491,000 | 19,748,940 | 1,742,060 |
| 施設設備資金収入 | 1,055,592,000 | 1,044,487,000 | 11,105,000 |

| | | | |
|-------------------|---------------|----------------|------------------|
| 教育充実費収入 | 10,460,000 | 10,460,000 | 0 |
| 冷暖房費収入 | 47,940,000 | 47,748,000 | 192,000 |
| 手数料収入 | 89,309,000 | 90,906,350 | △ 1,597,350 |
| 入学検定料収入 | 82,525,000 | 84,160,000 | △ 1,635,000 |
| 証明手数料収入 | 2,161,000 | 2,175,700 | △ 14,700 |
| 大学入試センター試験実施手数料収入 | 4,623,000 | 4,570,650 | 52,350 |
| 寄付金収入 | 149,710,000 | 182,618,912 | △ 32,908,912 |
| 特別寄付金収入 | 58,794,000 | 58,794,000 | 0 |
| 一般寄付金収入 | 90,916,000 | 123,824,912 | △ 32,908,912 |
| 補助金収入 | 722,181,000 | 761,798,466 | △ 39,617,466 |
| 国庫補助金収入 | 217,072,000 | 255,111,000 | △ 38,039,000 |
| 地方公共団体補助金収入 | 501,344,000 | 498,195,416 | 3,148,584 |
| 都私学財団補助金収入 | 3,765,000 | 8,492,050 | △ 4,727,050 |
| 資産売却収入 | 800,000,000 | 800,000,000 | 0 |
| 有価証券売却収入 | 800,000,000 | 800,000,000 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 48,452,000 | 55,942,543 | △ 7,490,543 |
| 補助活動収入 | 43,496,000 | 48,283,543 | △ 4,787,543 |
| 受託事業収入 | 2,236,000 | 7,659,000 | △ 5,423,000 |
| 収益事業収入 | 2,720,000 | 0 | 2,720,000 |
| 受取利息・配当金収入 | 34,124,000 | 30,520,474 | 3,603,526 |
| その他の受取利息・配当金収入 | 34,124,000 | 30,520,474 | 3,603,526 |
| 雑収入 | 212,831,000 | 222,575,971 | △ 9,744,971 |
| 施設設備利用料収入 | 0 | 149,480 | △ 149,480 |
| 東京都私学財団交付金収入 | 101,946,000 | 99,909,427 | 2,036,573 |
| 私立大学退職金財団交付金収入 | 97,876,000 | 111,627,600 | △ 13,751,600 |
| その他の雑収入 | 13,009,000 | 10,858,784 | 2,150,216 |
| 過年度修正収入 | 0 | 30,680 | △ 30,680 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 1,272,775,000 | 1,064,373,000 | 208,402,000 |
| 授業料前受金収入 | 643,685,000 | 493,816,000 | 149,869,000 |
| 入学金前受金収入 | 337,700,000 | 330,900,000 | 6,800,000 |
| 実験実習料前受金収入 | 11,040,000 | 9,140,000 | 1,900,000 |
| 施設設備資金前受金収入 | 280,350,000 | 230,505,000 | 49,845,000 |
| 冷暖房費前受金収入 | 0 | 12,000 | △ 12,000 |
| その他の収入 | 151,521,000 | 13,485,677,687 | △ 13,334,156,687 |
| 退職給与引当特定資産取崩収入 | 0 | 514,700,000 | △ 514,700,000 |
| 建物償却引当特定資産取崩収入 | 0 | 4,000,000,000 | △ 4,000,000,000 |
| 法人維持特定資産取崩収入 | 0 | 2,278,900,000 | △ 2,278,900,000 |
| 前期末未収入金収入 | 151,521,000 | 147,353,469 | 4,167,531 |
| 仮払金回収収入 | 0 | 127,980,295 | △ 127,980,295 |
| 前渡金回収収入 | 0 | 466,862 | △ 466,862 |
| 預り金受入収入 | 0 | 1,753,814,166 | △ 1,753,814,166 |

| | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 修学旅行費預り金受入収入 | 0 | 54,150,833 | △ 54,150,833 |
| 仮受金受入収入 | 0 | 4,608,312,062 | △ 4,608,312,062 |
| 資金収入調整勘定 | △ 1,289,388,000 | △ 1,308,989,828 | 19,601,828 |
| 期末未収入金 | △ 190,135,000 | △ 209,736,828 | 19,601,828 |
| 前期末前受金 | △ 1,099,253,000 | △ 1,099,253,000 | 0 |
| 前年度繰越支払資金 | 6,624,919,000 | 6,624,919,811 | |
| 収入の部合計 | 14,138,760,000 | 27,276,754,776 | △ 13,137,994,776 |

(単位 円)

| 支出の部 | | | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 3,992,966,000 | 3,908,341,417 | 84,624,583 |
| 教員人件費支出 | 2,631,415,000 | 2,544,341,904 | 87,073,096 |
| 職員人件費支出 | 1,084,387,000 | 1,056,356,580 | 28,030,420 |
| 役員報酬支出 | 34,942,000 | 34,072,435 | 869,565 |
| 退職金支出 | 242,222,000 | 273,570,498 | △ 31,348,498 |
| 教育研究経費支出 | 1,362,847,000 | 1,217,769,820 | 145,077,180 |
| 準備品費支出 | 1,200,000 | 3,419,294 | △ 2,219,294 |
| 消耗品費支出 | 146,096,000 | 106,773,725 | 39,322,275 |
| 光熱水費支出 | 133,900,000 | 124,677,009 | 9,222,991 |
| 通信運搬費支出 | 25,086,000 | 22,687,110 | 2,398,890 |
| 福利費支出 | 24,748,000 | 22,341,707 | 2,406,293 |
| 出版物費支出 | 53,891,000 | 51,747,779 | 2,143,221 |
| 印刷製本費支出 | 52,866,000 | 43,094,225 | 9,771,775 |
| 旅費交通費支出 | 47,543,000 | 40,945,144 | 6,597,856 |
| 奨学費支出 | 59,704,000 | 55,083,280 | 4,620,720 |
| 修繕費支出 | 134,727,000 | 136,105,931 | △ 1,378,931 |
| 保険料支出 | 3,531,000 | 3,380,661 | 150,339 |
| 賃借料支出 | 30,051,000 | 27,927,325 | 2,123,675 |
| 諸会費支出 | 8,777,000 | 8,153,247 | 623,753 |
| 学生・生徒会補助金支出 | 3,535,000 | 3,262,011 | 272,989 |
| 広告費支出 | 5,874,000 | 5,177,302 | 696,698 |
| 会議費支出 | 149,000 | 166,871 | △ 17,871 |
| 食事費支出 | 5,240,000 | 3,886,245 | 1,353,755 |
| 支払手数料支出 | 8,795,000 | 7,593,587 | 1,201,413 |
| 教育実習謝礼支出 | 1,198,000 | 622,500 | 575,500 |
| 渉外費支出 | 4,161,000 | 2,600,311 | 1,560,689 |
| 業務委託費支出 | 611,016,000 | 547,408,668 | 63,607,332 |
| 雑費支出 | 759,000 | 715,888 | 43,112 |
| 管理経費支出 | 659,886,000 | 610,900,760 | 48,985,240 |
| 準備品費支出 | 96,000 | 206,505 | △ 110,505 |
| 消耗品費支出 | 30,565,000 | 19,350,358 | 11,214,642 |
| 光熱水費支出 | 16,118,000 | 13,394,565 | 2,723,435 |

| | | | |
|------------------|-------------------|---------------|-----------------|
| 通信運搬費支出 | 10,722,000 | 7,749,495 | 2,972,505 |
| 福利費支出 | 9,791,000 | 8,957,704 | 833,296 |
| 出版物費支出 | 1,219,000 | 845,964 | 373,036 |
| 印刷製本費支出 | 18,390,000 | 16,488,947 | 1,901,053 |
| 旅費交通費支出 | 10,747,000 | 11,302,130 | △ 555,130 |
| 修繕費支出 | 21,340,000 | 26,477,915 | △ 5,137,915 |
| 保険料支出 | 1,309,000 | 1,132,193 | 176,807 |
| 賃借料支出 | 1,589,000 | 1,137,206 | 451,794 |
| 公租公課支出 | 721,000 | 180,050 | 540,950 |
| 諸会費支出 | 8,410,000 | 6,926,565 | 1,483,435 |
| 広告費支出 | 131,800,000 | 125,047,984 | 6,752,016 |
| 会議費支出 | 1,094,000 | 971,515 | 122,485 |
| 食事費支出 | 4,120,000 | 3,047,727 | 1,072,273 |
| 支払手数料支出 | 14,024,000 | 11,828,257 | 2,195,743 |
| 渉外費支出 | 5,379,000 | 5,580,590 | △ 201,590 |
| 業務委託費支出 | 367,973,000 | 345,584,373 | 22,388,627 |
| 私立大学等経常費補助金返還金支出 | 775,000 | 775,000 | 0 |
| 雑費支出 | 3,704,000 | 3,906,997 | △ 202,997 |
| 過年度修正支出 | 0 | 8,720 | △ 8,720 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 144,870,000 | 101,224,437 | 43,645,563 |
| 建物支出 | 142,946,000 | 96,656,037 | 46,289,963 |
| 構築物支出 | 1,924,000 | 4,568,400 | △ 2,644,400 |
| 設備関係支出 | 239,821,000 | 220,646,482 | 19,174,518 |
| 教育研究用機器備品支出 | 169,504,000 | 150,203,001 | 19,300,999 |
| 管理用機器備品支出 | 3,687,000 | 3,886,512 | △ 199,512 |
| 図書支出 | 66,630,000 | 66,556,969 | 73,031 |
| 資産運用支出 | 1,700,000,000 | 8,493,600,000 | △ 6,793,600,000 |
| 有価証券購入支出 | 900,000,000 | 900,000,000 | 0 |
| 退職給与引当特定資産繰入支出 | 0 | 514,700,000 | △ 514,700,000 |
| 建物償却引当特定資産繰入支出 | 500,000,000 | 4,500,000,000 | △ 4,000,000,000 |
| 法人維持特定資産繰入支出 | 300,000,000 | 2,578,900,000 | △ 2,278,900,000 |
| その他の支出 | 131,291,000 | 6,711,359,455 | △ 6,580,068,455 |
| 仮払金支払支出 | 0 | 155,325,161 | △ 155,325,161 |
| 前渡金支払支出 | 0 | 466,862 | △ 466,862 |
| 前払金支払支出 | 24,000,000 | 28,128,141 | △ 4,128,141 |
| 仮受金支払支出 | 0 | 4,608,312,062 | △ 4,608,312,062 |
| 預り金支払支出 | 0 | 1,757,685,832 | △ 1,757,685,832 |
| 修学旅行費預り金支払支出 | 0 | 54,150,833 | △ 54,150,833 |
| 前期末未払金支出 | 107,291,000 | 107,290,564 | 436 |
| [予備費] | (0) 50,000,000 | | 50,000,000 |

| | | | |
|-----------|----------------|----------------|------------------|
| 資金支出調整勘定 | △ 188,566,000 | △ 154,276,318 | △ 34,289,682 |
| 期末未払金 | △ 134,000,000 | △ 122,446,061 | △ 11,553,939 |
| 前期末前払金 | △ 54,566,000 | △ 31,830,257 | △ 22,735,743 |
| 翌年度繰越支払資金 | 6,045,645,000 | 6,167,188,723 | △ 121,543,723 |
| 支出の部合計 | 14,138,760,000 | 27,276,754,776 | △ 13,137,994,776 |

② 事業活動収支計算書

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

(単位：円)

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|----------|---------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 5,322,326,000 | 5,266,411,390 | 55,914,610 |
| | | 授業料 | 3,846,293,000 | 3,803,404,950 | 42,888,050 |
| | | 入学金 | 340,550,000 | 340,562,500 | △ 12,500 |
| | | 実験実習料 | 21,491,000 | 19,748,940 | 1,742,060 |
| | | 施設設備資金 | 1,055,592,000 | 1,044,487,000 | 11,105,000 |
| | | 教育充実費 | 10,460,000 | 10,460,000 | 0 |
| | | 冷暖房費 | 47,940,000 | 47,748,000 | 192,000 |
| | | 手数料 | 89,309,000 | 90,906,350 | △ 1,597,350 |
| | | 入学検定料 | 82,525,000 | 84,160,000 | △ 1,635,000 |
| | | 証明手数料 | 2,161,000 | 2,175,700 | △ 14,700 |
| | | 大学入試センター試験実施手数料 | 4,623,000 | 4,570,650 | 52,350 |
| | | 寄付金 | 149,710,000 | 182,618,912 | △ 32,908,912 |
| | | 特別寄付金 | 58,794,000 | 58,794,000 | 0 |
| | | 一般寄付金 | 90,916,000 | 123,824,912 | △ 32,908,912 |
| | | 経常費等補助金 | 680,181,000 | 719,212,466 | △ 39,031,466 |
| | | 国庫補助金 | 217,072,000 | 255,111,000 | △ 38,039,000 |
| | | 地方公共団体補助金 | 459,344,000 | 455,609,416 | 3,734,584 |
| | | 都私学財団補助金 | 3,765,000 | 8,492,050 | △ 4,727,050 |
| | | 付随事業収入 | 45,732,000 | 55,942,543 | △ 10,210,543 |
| | | 補助活動収入 | 43,496,000 | 48,283,543 | △ 4,787,543 |
| | | 受託事業収入 | 2,236,000 | 7,659,000 | △ 5,423,000 |
| | | 雑収入 | 110,885,000 | 164,549,603 | △ 53,664,603 |
| | | 施設設備利用料 | 0 | 149,480 | △ 149,480 |
| | | 私立大学退職金財団交付金 | 97,876,000 | 111,627,600 | △ 13,751,600 |
| | | その他の雑収入 | 13,009,000 | 10,937,858 | 2,071,142 |
| | | 退職給与引当金戻入額 | 0 | 41,834,665 | △ 41,834,665 |
| 教育活動収入計 | 6,398,143,000 | 6,479,641,264 | △ 81,498,264 | | |
| 事業活動支出の部 | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 人件費 | 3,900,744,000 | 3,700,518,610 | 200,225,390 |
| | | 教員人件費 | 2,631,415,000 | 2,544,341,904 | 87,073,096 |
| | | 職員人件費 | 1,084,387,000 | 1,056,356,580 | 28,030,420 |

| | | | | | |
|--------|----------|------------|---------------|---------------|-------------|
| 教育活動収支 | 事業活動支出の部 | 役員報酬 | 34,942,000 | 34,072,435 | 869,565 |
| | | 退職金 | 0 | 9,875,000 | △ 9,875,000 |
| | | 退職給与引当金繰入額 | 150,000,000 | 55,872,691 | 94,127,309 |
| | | 教育研究経費 | 2,061,054,000 | 1,915,012,928 | 146,041,072 |
| | | 準備品費 | 1,200,000 | 3,419,294 | △ 2,219,294 |
| | | 消耗品費 | 146,096,000 | 106,773,725 | 39,322,275 |
| | | 光熱水費 | 133,900,000 | 124,677,009 | 9,222,991 |
| | | 通信運搬費 | 25,086,000 | 22,687,110 | 2,398,890 |
| | | 福利費 | 24,748,000 | 22,341,707 | 2,406,293 |
| | | 出版物費 | 53,891,000 | 51,747,779 | 2,143,221 |
| | | 印刷製本費 | 52,866,000 | 43,094,225 | 9,771,775 |
| | | 旅費交通費 | 47,543,000 | 40,945,144 | 6,597,856 |
| | | 奨学費 | 59,704,000 | 55,083,280 | 4,620,720 |
| | | 修繕費 | 134,727,000 | 136,105,931 | △ 1,378,931 |
| | | 保険料 | 3,531,000 | 3,380,661 | 150,339 |
| | | 賃借料 | 30,051,000 | 27,927,325 | 2,123,675 |
| | | 諸会費 | 8,777,000 | 8,153,247 | 623,753 |
| | | 学生生徒会補助金 | 3,535,000 | 3,262,011 | 272,989 |
| | | 広告費 | 5,874,000 | 5,177,302 | 696,698 |
| | | 会議費 | 149,000 | 166,871 | △ 17,871 |
| | | 食事費 | 5,240,000 | 3,886,245 | 1,353,755 |
| | | 支払手数料 | 8,795,000 | 7,593,587 | 1,201,413 |
| | | 教育実習謝礼 | 1,198,000 | 622,500 | 575,500 |
| | | 渉外費 | 4,161,000 | 2,600,311 | 1,560,689 |
| | | 業務委託費 | 611,016,000 | 547,408,668 | 63,607,332 |
| | | 雑費 | 759,000 | 715,888 | 43,112 |
| | | 減価償却額 | 698,207,000 | 697,243,108 | 963,892 |
| | | 管理経費 | 731,416,000 | 681,760,115 | 49,655,885 |
| | | 準備品費 | 96,000 | 206,505 | △ 110,505 |
| | | 消耗品費 | 30,565,000 | 19,350,358 | 11,214,642 |
| | | 光熱水費 | 16,118,000 | 13,394,565 | 2,723,435 |
| | | 通信運搬費 | 10,722,000 | 7,749,495 | 2,972,505 |
| | | 福利費 | 9,791,000 | 8,957,704 | 833,296 |
| | | 出版物費 | 1,219,000 | 845,964 | 373,036 |
| | | 印刷製本費 | 18,390,000 | 16,488,947 | 1,901,053 |
| | | 旅費交通費 | 10,747,000 | 11,302,130 | △ 555,130 |
| | | 修繕費 | 21,340,000 | 26,477,915 | △ 5,137,915 |
| | | 保険料 | 1,309,000 | 1,132,193 | 176,807 |
| | | 賃借料 | 1,589,000 | 1,137,206 | 451,794 |
| | | 公租公課 | 721,000 | 180,050 | 540,950 |
| | | 諸会費 | 8,410,000 | 6,926,565 | 1,483,435 |
| | | 広告費 | 131,800,000 | 125,047,984 | 6,752,016 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|-------------------|---------------|---------------|-------------|
| 教育活動収支 | 事業活動支出の部 | 会議費 | 1,094,000 | 971,515 | 122,485 |
| | | 食事費 | 4,120,000 | 3,047,727 | 1,072,273 |
| | | 支払手数料 | 14,024,000 | 11,828,257 | 2,195,743 |
| | | 渉外費 | 5,379,000 | 5,580,590 | △ 201,590 |
| | | 業務委託費 | 367,973,000 | 345,584,373 | 22,388,627 |
| | | 私立大学等経常費補助金返還金 | 775,000 | 775,000 | 0 |
| | | 雑費 | 3,704,000 | 3,906,997 | △ 202,997 |
| | | 減価償却額 | 71,530,000 | 70,868,075 | 661,925 |
| | | 徴収不能額等 | 0 | 4,534,000 | △ 4,534,000 |
| | | 徴収不能額 | 0 | 4,534,000 | △ 4,534,000 |
| | | 教育活動支出計 | 6,693,214,000 | 6,301,825,653 | 391,388,347 |
| 教育活動収支差額 | | △ 295,071,000 | 177,815,611 | △ 472,886,611 | |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 受取利息・配当金 | 34,124,000 | 30,520,474 | 3,603,526 |
| | | その他の受取利息・配当金 | 34,124,000 | 30,520,474 | 3,603,526 |
| | | その他の教育活動外収入 | 2,720,000 | 0 | 2,720,000 |
| | | 収益事業収入 | 2,720,000 | 0 | 2,720,000 |
| | 教育活動外収入計 | 36,844,000 | 30,520,474 | 6,323,526 | |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収支差額 | | 36,844,000 | 30,520,474 | 6,323,526 | |
| 経常収支差額 | | △ 258,227,000 | 208,336,085 | △ 466,563,085 | |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 42,000,000 | 46,699,331 | △ 4,699,331 |
| | | 現物寄付 | 0 | 4,082,651 | △ 4,082,651 |
| | | 施設設備補助金 | 42,000,000 | 42,586,000 | △ 586,000 |
| | | 過年度修正額 | 0 | 30,680 | △ 30,680 |
| | 特別収入計 | 42,000,000 | 46,699,331 | △ 4,699,331 | |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 資産処分差額 | 1,190,000 | 9,409,745 | △ 8,219,745 |
| | | 教育研究用機器備品処分差額 | 150,000 | 286,471 | △ 136,471 |
| | | 管理用機器備品処分差額 | 40,000 | 0 | 40,000 |
| | | 図書処分差額 | 1,000,000 | 9,123,274 | △ 8,123,274 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 8,720 | △ 8,720 |
| 過年度修正額 | | 0 | 8,720 | △ 8,720 | |
| 特別支出計 | 1,190,000 | 9,418,465 | △ 8,228,465 | | |
| 特別収支差額 | | 40,810,000 | 37,280,866 | 3,529,134 | |
| 〔予備費〕 | | (0) 50,000,000 | | 50,000,000 | |

| | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 基本金組入前当年度収支差額 | △ 267,417,000 | 245,616,951 | △ 513,033,951 |
| 基本金組入額合計 | △ 270,956,000 | △ 180,555,128 | △ 90,400,872 |
| 当年度収支差額 | △ 538,373,000 | 65,061,823 | △ 603,434,823 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 3,710,450,000 | △ 3,710,449,006 | △ 994 |
| 基本金取崩額 | 0 | 21,706,484 | △ 21,706,484 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 4,248,823,000 | △ 3,623,680,699 | △ 625,142,301 |

(参考)

| | | | |
|---------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動収入計 | 6,476,987,000 | 6,556,861,069 | △ 79,874,069 |
| 事業活動支出計 | 6,744,404,000 | 6,311,244,118 | 433,159,882 |

③ 貸借対照表

平成28年 3月31日

(単位：円)

| 資産の部 | | | |
|------------|----------------|----------------|---------------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定資産 | 25,267,632,051 | 24,919,120,335 | 348,511,716 |
| 有形固定資産 | 16,174,549,141 | 16,625,998,825 | △ 451,449,684 |
| 土地 | 1,955,108,121 | 1,955,108,121 | 0 |
| 建物 | 10,792,445,848 | 11,223,861,860 | △ 431,416,012 |
| 構築物 | 116,638,097 | 136,274,710 | △ 19,636,613 |
| 教育研究用機器備品 | 430,430,900 | 470,325,014 | △ 39,894,114 |
| 管理用機器備品 | 73,149,074 | 93,798,042 | △ 20,648,968 |
| 図書 | 2,806,466,430 | 2,746,182,331 | 60,284,099 |
| 車両 | 310,671 | 448,747 | △ 138,076 |
| 特定資産 | 9,058,040,000 | 8,258,040,000 | 800,000,000 |
| 退職給与引当特定資産 | 927,600,000 | 927,600,000 | 0 |
| 建物償却引当特定資産 | 4,500,000,000 | 4,000,000,000 | 500,000,000 |
| 法人維持特定資産 | 3,630,440,000 | 3,330,440,000 | 300,000,000 |
| その他の固定資産 | 35,042,910 | 35,081,510 | △ 38,600 |
| 敷金 | 15,428,580 | 15,428,580 | 0 |
| 電話加入権 | 13,566,079 | 13,566,079 | 0 |
| 商標権 | 48,251 | 86,851 | △ 38,600 |
| 収益事業元入金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 長期貸付金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 流動資産 | 7,064,403,733 | 7,348,826,427 | △ 284,422,694 |
| 現金預金 | 6,167,188,723 | 6,624,919,811 | △ 457,731,088 |
| 修学旅行費預り資産 | 22,983,559 | 31,167,274 | △ 8,183,715 |
| 未収入金 | 205,270,328 | 147,420,969 | 57,849,359 |
| 仮払金 | 28,451,093 | 1,106,227 | 27,344,866 |
| 前払金 | 40,510,030 | 44,212,146 | △ 3,702,116 |
| 有価証券 | 600,000,000 | 500,000,000 | 100,000,000 |
| 資産の部合計 | 32,332,035,784 | 32,267,946,762 | 64,089,022 |

(単位：円)

| 負債の部 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定負債 | 1,580,942,362 | 1,700,690,407 | △ 119,748,045 |
| 退職給与引当金 | 1,550,942,362 | 1,700,690,407 | △ 149,748,045 |
| 預り敷金 | 30,000,000 | 0 | 30,000,000 |
| 流動負債 | 1,310,761,775 | 1,372,541,659 | △ 61,779,884 |
| 未払金 | 122,446,061 | 107,290,564 | 15,155,497 |
| 前受金 | 1,064,373,000 | 1,099,253,000 | △ 34,880,000 |
| 仮受金 | 0 | 30,045,950 | △ 30,045,950 |
| 預り金 | 100,959,155 | 104,784,871 | △ 3,825,716 |
| 修学旅行費預り金 | 22,983,559 | 31,167,274 | △ 8,183,715 |
| 負債の部合計 | 2,891,704,137 | 3,073,232,066 | △ 181,527,929 |
| 純資産の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 基本金 | 33,064,012,346 | 32,905,163,702 | 158,848,644 |
| 第1号基本金 | 32,524,012,346 | 32,365,163,702 | 158,848,644 |
| 第4号基本金 | 540,000,000 | 540,000,000 | 0 |
| 繰越収支差額 | △ 3,623,680,699 | △ 3,710,449,006 | 86,768,307 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 3,623,680,699 | △ 3,710,449,006 | 86,768,307 |
| 純資産の部合計 | 29,440,331,647 | 29,194,714,696 | 245,616,951 |
| 負債及び純資産の部合計 | 32,332,035,784 | 32,267,946,762 | 64,089,022 |

④活動区分資金収支計算書

平成27年4月 1日から
平成28年3月31日まで

(単位：円)

| | | 科 目 | 金 額 |
|----------------|------------------------------|----------------|---------------|
| 教育活動による資金収支 | 収入 | 学生生徒等納付金収入 | 5,266,411,390 |
| | | 手数料収入 | 90,906,350 |
| | | 特別寄付金収入 | 58,794,000 |
| | | 一般寄付金収入 | 123,824,912 |
| | | 経常費等補助金収入 | 719,212,466 |
| | | 付随事業収入 | 55,942,543 |
| | | 雑収入 | 222,545,291 |
| | | 教育活動資金収入計 | 6,537,636,952 |
| | 支出 | 人件費支出 | 3,908,341,417 |
| | | 教育研究経費支出 | 1,217,769,820 |
| | | 管理経費支出 | 610,892,040 |
| | | 教育活動資金支出計 | 5,737,003,277 |
| | | 差引 | 800,633,675 |
| | | 調整勘定等 | △ 92,973,196 |
| | 教育活動資金収支差額 | 707,660,479 | |
| 施設整備等活動による資金収支 | 科 目 | | 金 額 |
| | 収入 | 施設設備補助金収入 | 42,586,000 |
| | | 建物償却引当特定資産取崩収入 | 4,000,000,000 |
| | | 施設整備等活動資金収入計 | 4,042,586,000 |
| | 支出 | 施設関係支出 | 101,224,437 |
| | | 設備関係支出 | 220,646,482 |
| | | 建物償却引当特定資産繰入支出 | 4,500,000,000 |
| | | 施設整備等活動資金支出計 | 4,821,870,919 |
| | | 差引 | △ 779,284,919 |
| | | 調整勘定等 | 14,567,450 |
| | 施設整備等活動資金収支差額 | △ 764,717,469 | |
| | 小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | △ 57,056,990 | |
| その他の活動による資金収支 | 科 目 | | 金 額 |
| | 収入 | 有価証券売却収入 | 800,000,000 |
| | | 退職給与引当特定資産取崩収入 | 514,700,000 |
| | | 法人維持特定資産取崩収入 | 2,278,900,000 |
| | | 仮払金回収収入 | 127,980,295 |
| | | 前渡金回収収入 | 466,862 |
| | | 預り金受入収入 | 1,753,814,166 |
| | | 修学旅行費預り金受入収入 | 54,150,833 |
| | | 仮受金受入収入 | 4,608,312,062 |
| 小計 | 10,138,324,218 | | |

| | | | | |
|---------------|---------------------------|---------------|----------------|----------------|
| その他の活動による資金収支 | 収入 | 受取利息・配当金収入 | 30,520,474 | |
| | | 過年度修正収入 | 30,680 | |
| | | その他活動資金収入計 | 10,168,875,372 | |
| | 支出 | | 有価証券購入支出 | 900,000,000 |
| | | | 退職給与引当特定資産繰入支出 | 514,700,000 |
| | | | 法人維持特定資産繰入支出 | 2,578,900,000 |
| | | | 仮払金支出 | 155,325,161 |
| | | | 前渡金支払支出 | 466,862 |
| | | | 仮受金支出 | 4,608,312,062 |
| | | | 預り金支出 | 1,757,685,832 |
| | | | 修学旅行費預り金支払支出 | 54,150,833 |
| | | | 小計 | 10,569,540,750 |
| | | | 過年度修正支出 | 8,720 |
| | | | その他の活動資金支出計 | 10,569,549,470 |
| | | | 差引 | △ 400,674,098 |
| | | | 調整勘定等 | 0 |
| | | | その他活動収支差額 | △ 400,674,098 |
| | 支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額） | △ 457,731,088 | | |
| | 前年度繰越支払資金 | 6,624,919,811 | | |
| | 翌年度繰越支払資金 | 6,167,188,723 | | |

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：円)

| 項目 | 資金収支 計算書計上額 | 教育活動 による資金収支 | 施設整備等活動 による資金収支 | その他の活動 による資金収支 |
|-----------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------|
| 前受金収入 | 1,064,373,000 | 1,064,373,000 | 0 | 0 |
| 前期末未収入金収入 | 147,353,469 | 129,641,469 | 17,712,000 | 0 |
| 期末未収入金 | △ 209,736,828 | △ 209,736,828 | 0 | 0 |
| 前期末前受金 | △ 1,099,253,000 | △ 1,099,253,000 | 0 | 0 |
| 収入計 | △ 97,263,359 | △ 114,975,359 | 17,712,000 | 0 |
| 前期末未払金支出 | 107,290,564 | 103,902,960 | 3,387,604 | 0 |
| 前払金支払支出 | 28,128,141 | 28,128,141 | 0 | 0 |
| 期末未払金 | △ 122,446,061 | △ 122,203,007 | △ 243,054 | 0 |
| 前期末前払金 | △ 31,830,257 | △ 31,830,257 | 0 | 0 |
| 支出計 | △ 18,857,613 | △ 22,002,163 | 3,144,550 | 0 |
| 収入計－支出計 | △ 78,405,746 | △ 92,973,196 | 14,567,450 | 0 |

財 産 目 録

平成28年 3月31日

| | |
|------------|-----------------|
| I 資産総額 | 32,332,035,784円 |
| 内 (一) 基本財産 | 16,174,549,141円 |
| (二) 運用財産 | 16,157,486,643円 |
| II 負債総額 | 2,891,704,137円 |
| III 正味財産 | 29,440,331,647円 |

| 区分 | 金額 |
|------------------|----------------------------|
| 一 資産 | |
| (一) 基本財産 | |
| 1 土地 | 233,254.38㎡ 1,955,108,121円 |
| (1) 校地 | 233,254.38㎡ 1,955,108,121円 |
| 2 建物 | 74,723.34㎡ 10,792,445,848円 |
| (1) 校舎 | 70,816.43㎡ 10,547,546,588円 |
| (2) 校外 | 2,157.26㎡ 171,028,165円 |
| (3) 法人棟 | 1,749.65㎡ 73,871,095円 |
| 3 教具、校具、備品 | 34,323点 503,579,974円 |
| 4 図書 | 543,794冊 2,806,466,430円 |
| 5 その他 | 116,948,768円 |
| (二) 運用財産 | |
| 1 現金預金 | 6,167,188,723円 |
| 2 積立金 | 9,058,040,000円 |
| 3 その他 | 932,257,920円 |
| 総額 | 32,332,035,784円 |
| 二 負債 | |
| (一) 固定負債 | |
| 1 退職給与引当金 | 1,550,942,362円 |
| 2 預り敷金 | 30,000,000円 |
| (二) 流動負債 | |
| 1 前受金 | 1,064,373,000円 |
| 2 未払金 | 122,446,061円 |
| 3 その他 | 123,942,714円 |
| 総額 | 2,891,704,137円 |
| 正味財産 (資産総額-負債総額) | 29,440,331,647円 |

Ⅳ. 収 益 事 業 の 概 要

(1) 概 要

平成27年度の収益事業部（以下「事業部」という。）は、引継のために前任者が4月の1ヶ月間を重ねて在職したことを除き、前年度から引き続き専任職員1名（新任）、アルバイト職員1名及び派遣職員1名が業務を担当し、例年どおり主として中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸業務等を行った。加えて、学園創立140周年記念ホームカミングデーに出店し、周年企画の盛り上げに貢献した。

平成27年度は、次年度から中学新入生の制服がリニューアルされることから、従来のナポリヤとの取引をオンワード商事及び三越伊勢丹との取引に変更するための基本契約の再締結、制服関連品取扱い業者及び商品の変更・入替等に取り組み、新契約の下においても適正な事業収益を確保しつつ、円滑に事業内容の移行を行った。

賃貸料及び地代収入については、平成25年12月20日から小日向テニスコートの敷地を駐車場（時間貸し26台、月極22台）として銀泉寮に賃貸したことから生じる賃貸料（年間12,960千円）、及び音羽校地に平成27年4月1日から開設された学生寮（メゾン音羽）の敷地の土地を株共立メンテナンスに賃貸（定期借地）することから生じる地代（年間5,000千円）の収入を得た。ナポリヤに代わって三越伊勢丹から得る制服採寸会場提供等に係る新たな販売手数料（2,600千円）については、当該年度の後半期分が翌年度になって納付されることから、当初である今期は貸借対照表で未収入金として半期分が計上されている。

賃貸料及び地代収入以外の事業部の主たる業務である中学高校の学用品販売（教科書・副教材等その他指定用品）については、体操着の取扱いをナポリヤから事業部の直販に切り替えたことから、商品売上が伸張したが、前年度に続き中学入学予定者数が減少したこと及び指導書の切替に伴う校費での購入増（売上が立たない内部取引に該当）に伴い、書籍仕入に対して書籍売上が伸び悩んだ。

また、平成27年度は、4月の人事異動、前任者の4月末日退職、及び新たな学用品販売体制への新規対応に伴い、給与手当の増加や退職金の計上があり、このため、それぞれ経常利益や税引前当期純利益に影響を及ぼすこととなった。

以上により、平成27年度は、寄付金計上前で税引前当期純利益が1,731千円となるが、これには販売手数料収入1,404千円が未収入金に含まれることも勘案して、今期の学園への寄付金は見送ることとし、その結果、経常利益3,040千円（前年度1,362千円）、当期純利益1,547千円（前年度1,362千円）となり、これに繰越利益剰余金期首残高10,665千円（前年度9,303千円）を加算して得られる平成27年度の繰越利益剰余金期末残高は12,212千円（前年度10,665千円）となった。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
 - 中・高生学用品販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸、厚生貸付
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備
中学校・高校文化祭・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売

- 中学校新入生用学用品発注
ホームカミングデー出店
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷、中・高生冬期補習用テキスト販売
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等
中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
中学校新入生学用品配布
中・高生新学期用物品等準備、中・高生春期補習用テキスト販売
棚卸し（月末）
予算編成

(2) 貸借対照表について

| | |
|---------|--------------------------|
| 資産の部合計 | 48,498千円で、前年度比19,127千円の増 |
| 負債の部合計 | 33,285千円で、前年度比17,579千円の増 |
| 純資産の部合計 | 15,212千円で、前年度比 1,547千円の増 |

平成23年度に、流動負債の未払金9,678千円を学園に返金し、また純資産の部の繰越利益剰余金についても、平成22年度の△5,784千円の赤字が解消されて1,359千円の黒字となって以来、純資産とその資産に占める割合の増加が平成26年度まで進んできた。しかし、平成27年度は業容が拡大して資産と負債が増加する中であって、純資産が伸び悩んだ結果、純資産の資産に占める割合は31.3%（前年度46.5%）に縮小した。

(3) 損益計算書について

平成27年度は、体操着の取扱いをナポリヤから事業部の直販に切り替えたことから、商品売上が伸張したが、前年度に続き中学入学予定者数が減少したこと及び指導書の切替に伴う校費での購入増（売上が立たない内部取引に該当）に伴い、書籍仕入に対して書籍売上が伸び悩んだ。

保険取扱手数料については、平成29年3月に向けて損保の代理店業務を段階的に縮小していくため、収入減となっている。

賃貸料及び地代収入については、平成25年12月20日からは小日向テニスコートの敷地を駐車場（時間貸し26台、月極22台）として銀泉(株)に賃貸することから生じる賃貸料（年間12,960千円）、及び音羽校地に平成27年4月1日から開設された学生寮（メゾン音羽）の敷地の土地を(株)共立メンテナンスに賃貸（定期借地）することから生じる地代（年間5,000千円）の収入を得た。ナポリヤに代わって三越伊勢丹から得る制服採寸会場提供等に係る新たな販売手数料（税抜2,600千円）については、当該年度の後半期分が翌年度になって納付されることから、当初である今期は販売手数料収入として半期分1,404千円が計上されているが、これは貸借対照表では未収入金として計上されている。

この結果、売上高合計が99,100千円となり、前年度比で13,289千円の増額となった。

一方、商品及び書籍仕入増に伴い売上原価も増加したため、売上総利益は33,935千円（前年度32,948千円）となり、前年度とほとんど変わらない結果（販売手数料収入1,404千円を含む。）となった。

売上総利益から販売費及び一般管理費32,489千円を控除した営業利益は1,445千円（前年度△49千円）となった。この販売費及び一般管理費については、学園への寄付金を見送り、給与手当の増額を含むものである。

営業外利益は1,595千円（前年度1,411千円）であったので、平成27年度の経常利益は3,040千円（前年度1,362千円）の黒字となった。しかし、平成27年度は特別損失として退職金1,309千円が計上されることにより、税引前当期純利益は1,731千円（前年度1,362千円）に留まることとなった。

この結果、法人税・住民税及び事業税は183千円となることから、当期純利益1,547千円（前年度1,362千円）に繰越利益剰余金期首残高10,665千円（前年度9,303千円）を加算すると、平成27年度の繰越利益剰余金期末残高は12,212千円（前年度10,665千円）となり、前年度より1,547千円（前年度1,362千円）の増加となった。

平成27年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

| | |
|------------|------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | 48,151,083 |
| 固定資産 | 347,502 |
| 資産の部合計 | 48,498,585 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | 30,285,821 |
| 固定負債 | 3,000,000 |
| 負債の部合計 | 33,285,821 |
| 純資産の部 | |
| 元入金 | 3,000,000 |
| 剰余金・欠損金 | 12,212,764 |
| 繰越利益剰余金 | 12,212,764 |
| 純資産の部合計 | 15,212,764 |
| 負債・純資産の部合計 | 48,498,585 |

平成27年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

| | |
|--------------|------------|
| 経常損益の部 | |
| 営業損益 | |
| 営業収益 | 99,100,061 |
| 営業費用 | 65,164,815 |
| 売上総利益 | 33,935,246 |
| 販売費及び一般管理費 | 32,489,496 |
| 営業利益 | 1,445,750 |
| 営業外損益（収益） | 1,595,240 |
| 経常利益 | 3,040,990 |
| 特別損益の部 | |
| 特別損失 | 1,309,752 |
| 税引前当期純利益 | 1,731,238 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 183,900 |
| 当期純利益 | 1,547,338 |
| 繰越利益剰余金期首残高 | 10,665,426 |
| 繰越利益剰余金期末残高 | 12,212,764 |

(4) 経年比較

貸借対照表

(単位：千円)

| | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 | 本年度末 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 流動資産 | 24,365 | 23,091 | 29,687 | 29,064 | 48,151 |
| 固定資産 | 488 | 268 | 248 | 307 | 348 |
| 資産合計 | 24,853 | 23,359 | 29,935 | 29,371 | 48,499 |
| 流動負債 | 17,493 | 12,285 | 14,632 | 12,706 | 30,286 |
| 固定負債 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 3,000 |
| 負債合計 | 20,493 | 15,285 | 17,632 | 15,706 | 33,286 |
| 純資産合計 | 4,360 | 8,074 | 12,303 | 13,665 | 15,213 |
| 負債・純資産合計 | 24,853 | 23,359 | 29,935 | 29,371 | 48,499 |

損益計算書

(単位：千円)

| | 23年度末 | 24年度末 | 25年度末 | 26年度末 | 本年度末 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 89,175 | 87,415 | 94,203 | 85,811 | 99,100 |
| 売上原価 | 54,343 | 49,990 | 56,039 | 52,863 | 65,164 |
| 販売管理費 | 27,976 | 33,638 | 33,872 | 32,998 | 32,489 |
| 営業外損益 | 1,190 | 1,451 | 1,517 | 1,412 | 1,595 |
| 特別損益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,310 |
| 当期純損益 | 7,145 | 3,714 | 4,229 | 1,362 | 1,547 |


監 査 報 告 書

平成28年5月12日

学校法人 跡見学園
 理 事 会 御 中
 評 議 員 会 御 中

学校法人 跡見学園


監事

金井 淳 清 

監事

坪澤 辰雄 

監事

今野 雅裕 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人跡見学園寄附行為第10条の規定に基づき、平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角諭、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上